

---

---

杉戸町

健康づくりと食育に関するアンケート調査報告書

---

---

令和8年3月

杉戸町



# 目 次

I. 調査の概要 .....	1
1. 調査の概要 .....	3
II. 調査結果 .....	5
1. 基本属性 .....	7
2. 健康状態などについて .....	10
3. 栄養・食生活について .....	24
4. 運動について .....	40
5. 歯や口腔の健康について .....	47
6. 飲酒について .....	53
7. 喫煙について .....	56
8. 休養・こころの健康について .....	61
9. 自殺について .....	78
10. 町の健康づくり事業等について .....	83
11. グループ活動の取組について .....	89
12. 生活状況について .....	92
13. 医療ニーズについて .....	95
14. 自由記述 .....	102



---

---

# I. 調査の概要

---

---



# 1. 調査の概要

## (1) 目的

第2次杉戸町健康増進計画・食育推進計画及び第3期杉戸町自殺対策計画の策定にあたり、町民の皆様より日頃の生活習慣や健康づくり・食育に関するお考えをお聞きし、計画づくりの基礎資料として活用するためのアンケート調査を実施しました。

## (2) 調査対象者・調査方法

調査種別	調査対象者・調査方法
一般（20歳以上）調査	町内在住の20歳以上の方から無作為抽出し、調査票を郵送いたしました。（Web調査あり）
16～19歳調査	町内在住の16～19歳の方から無作為抽出し、調査票を郵送いたしました。（Web調査あり）
幼児保護者調査	町内在住の1歳6か月児健診・3歳児健診対象者に配布いたしました。
小学生調査	町立小学校の5年生に配布いたしました。
中学生調査	町立中学校の2年生に配布いたしました。

## (3) 調査期間

令和7年11月5日（水）～令和7年11月26日（水）

※幼児保護者調査は、令和7年10月29日（水）～令和8年2月4日（水）

## (4) 配布数及び回収数

調査種別	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
一般（20歳以上） 調査	1,000件	郵送：205件	郵送：20.5%	郵送：205件	郵送：20.5%
		Web：167件	Web：16.7%	Web：167件	Web：16.7%
		計：372件	計：37.2%	計：372件	計：37.2%
16～19歳調査	400件	郵送：41件	郵送：10.3%	郵送：41件	郵送：10.3%
		Web：69件	Web：17.3%	Web：69件	Web：17.3%
		計：110件	計：27.5%	計：110件	計：27.5%
幼児保護者調査	147件	139件	94.6%	139件	94.6%
小学生調査	318件	313件	98.4%	313件	98.4%
中学生調査	296件	262件	88.5%	262件	88.5%

## (5) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示しています。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示しています。したがって、合計値が100%にならない場合もあります。
- ・本報告書では、回答合計の表記を単一（○は1つ）回答は「合計」、複数（あてはまるものすべてに○）回答は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。また、割合を設定している項目名について、単一回答は「構成比」、複数回答は「比率」と表記しています。

## (6) 居住地区について

居住地区については、回答者が記載した丁名を以下5つの地区に区分しています。

西地区	下野、下高野、茨島、大島、高野台東、高野台南、高野台西
中央地区	杉戸、内田、清地、倉松、本島
南地区	堤根、本郷
東地区	遠野、広戸沼、佐左工門、並塚、才羽、北蓮沼、大塚
泉地区	屏風、深輪、椿、木津内、目沼、宮前、鷺巣、木野川

---

---

## II. 調査結果

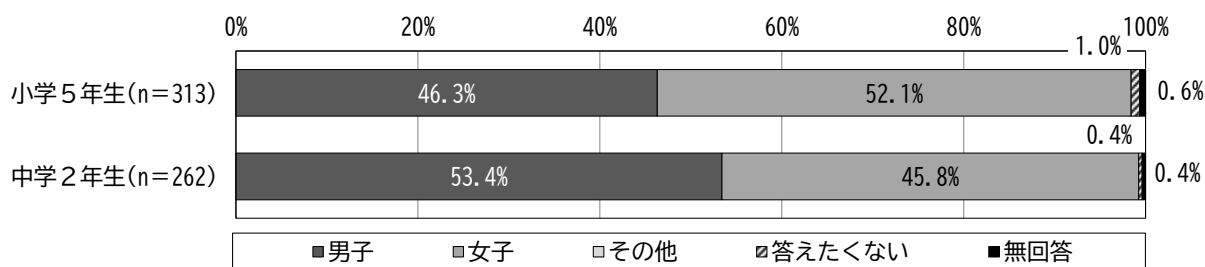
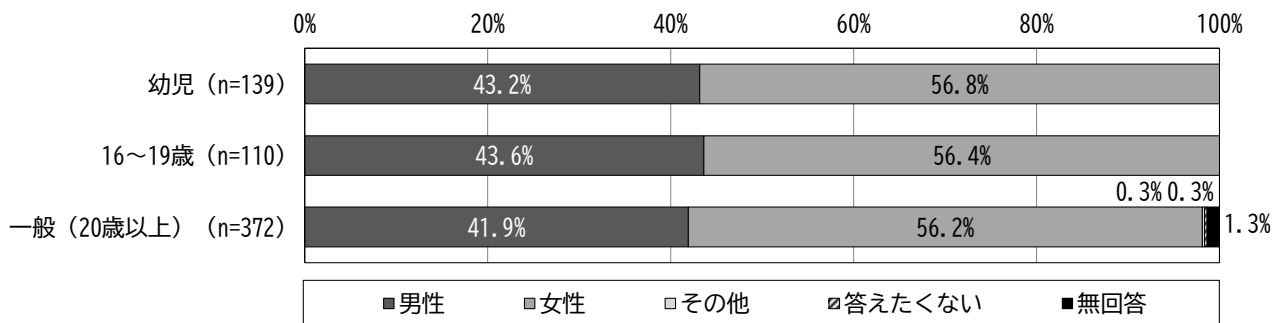
---

---

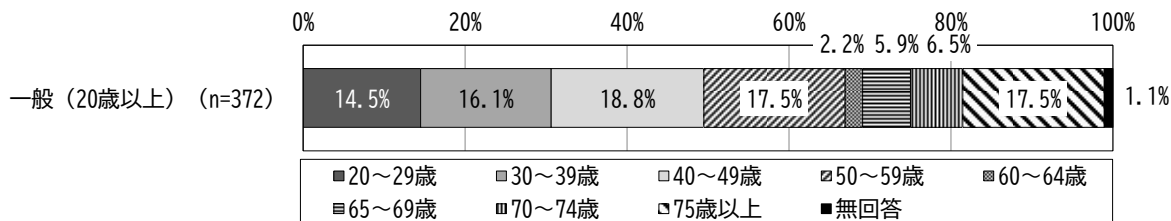


# 1. 基本属性

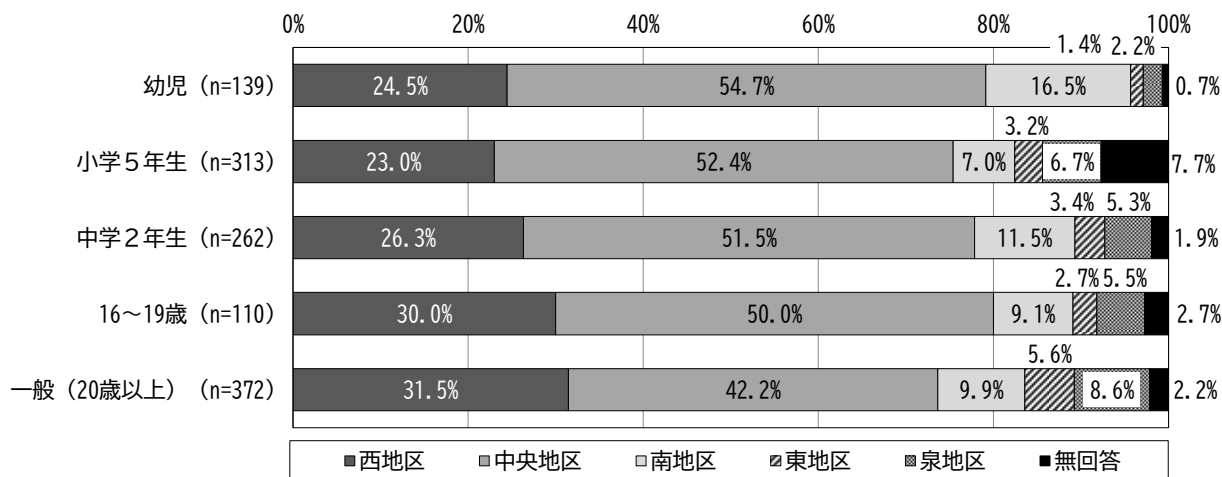
## (1) 性別



## (2) 年齢



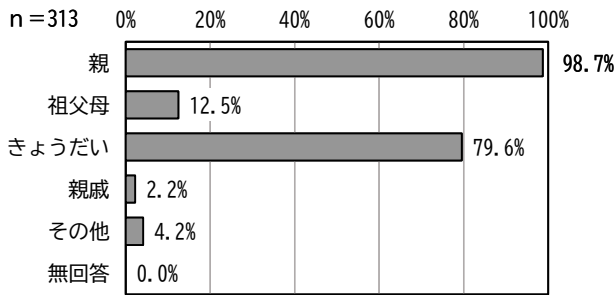
## (3) 居住地区



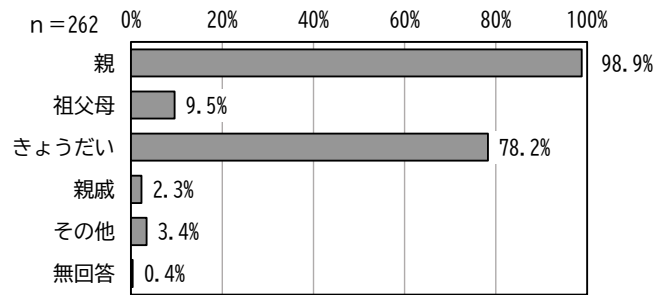
## Ⅱ. 調査結果

### (4) 同居人

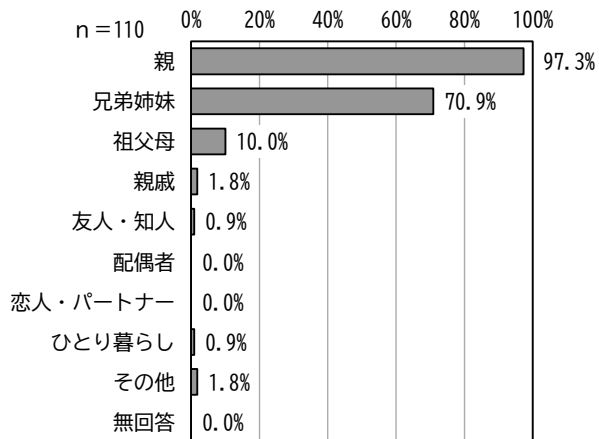
#### 【小学5年生】



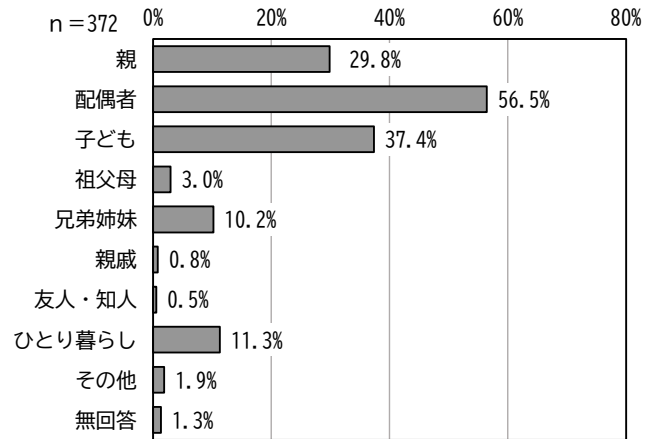
#### 【中学2年生】



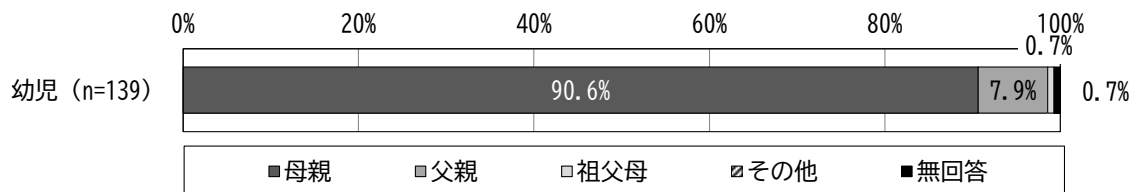
#### 【16～19歳】



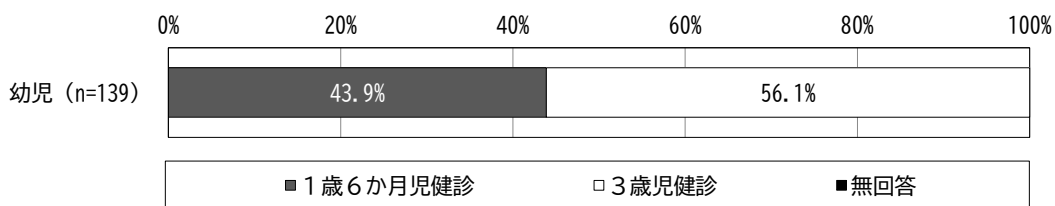
#### 【一般 (20歳以上)】



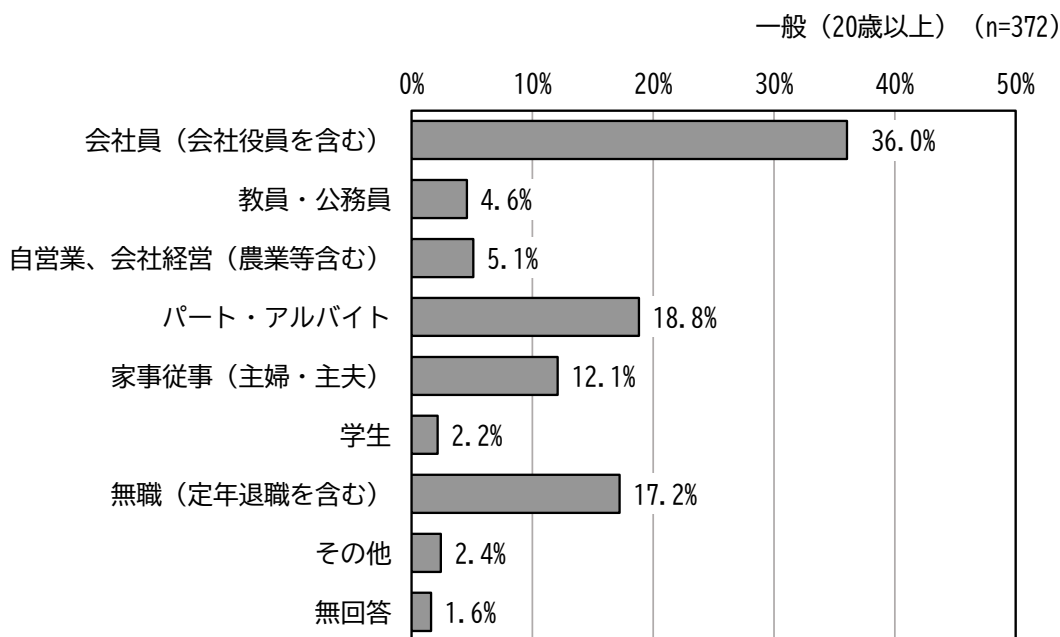
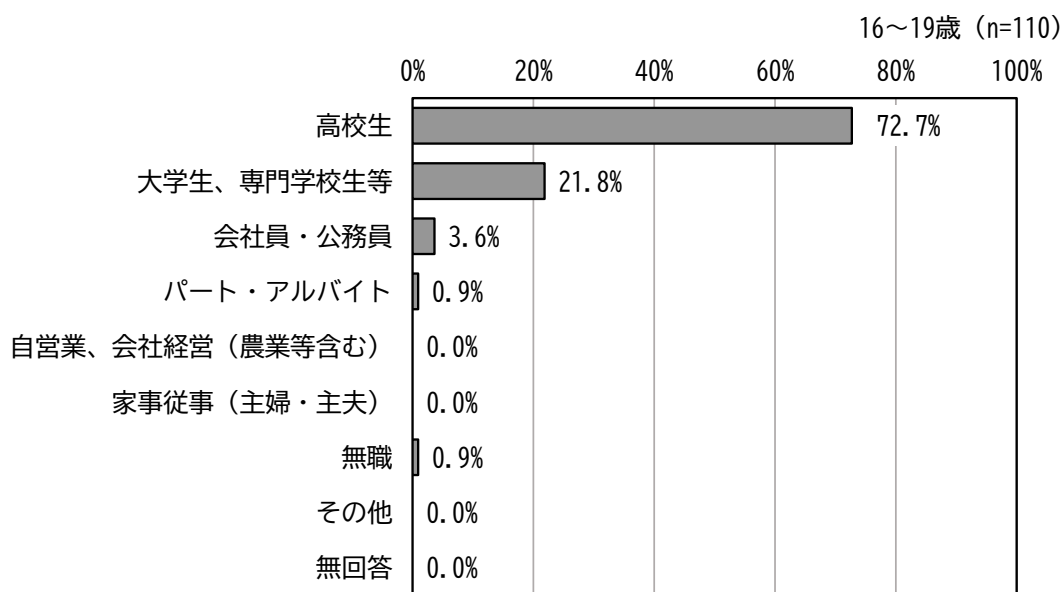
### (5) 保護者 (回答者) の続柄



(6) 対象健診



(7) 職業



## Ⅱ. 調査結果

### 2. 健康状態などについて

#### (1) 現在の健康状態

問 あなたの現在の健康状態について、どう思いますか。(○は1つ)【幼児・小学生・中学生・16～19歳・一般】

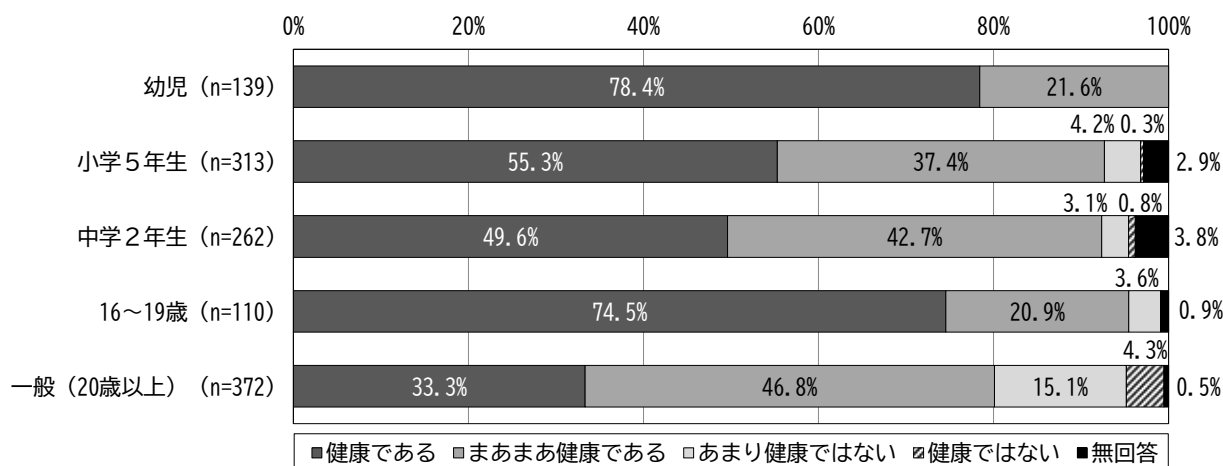
幼児の現在の健康状態については「健康である」、「まあまあ健康である」を合わせた『健康である』が100.0%となっています。

小学5年生では、『健康である』が92.7%に対し、「あまり健康ではない」、「健康ではない」を合わせた『健康ではない』が4.5%となっています。

中学2年生では、『健康である』が92.3%に対し、『健康はでない』が3.9%となっています。

16～19歳では、『健康である』が95.4%に対し、『健康ではない』が3.6%となっています。

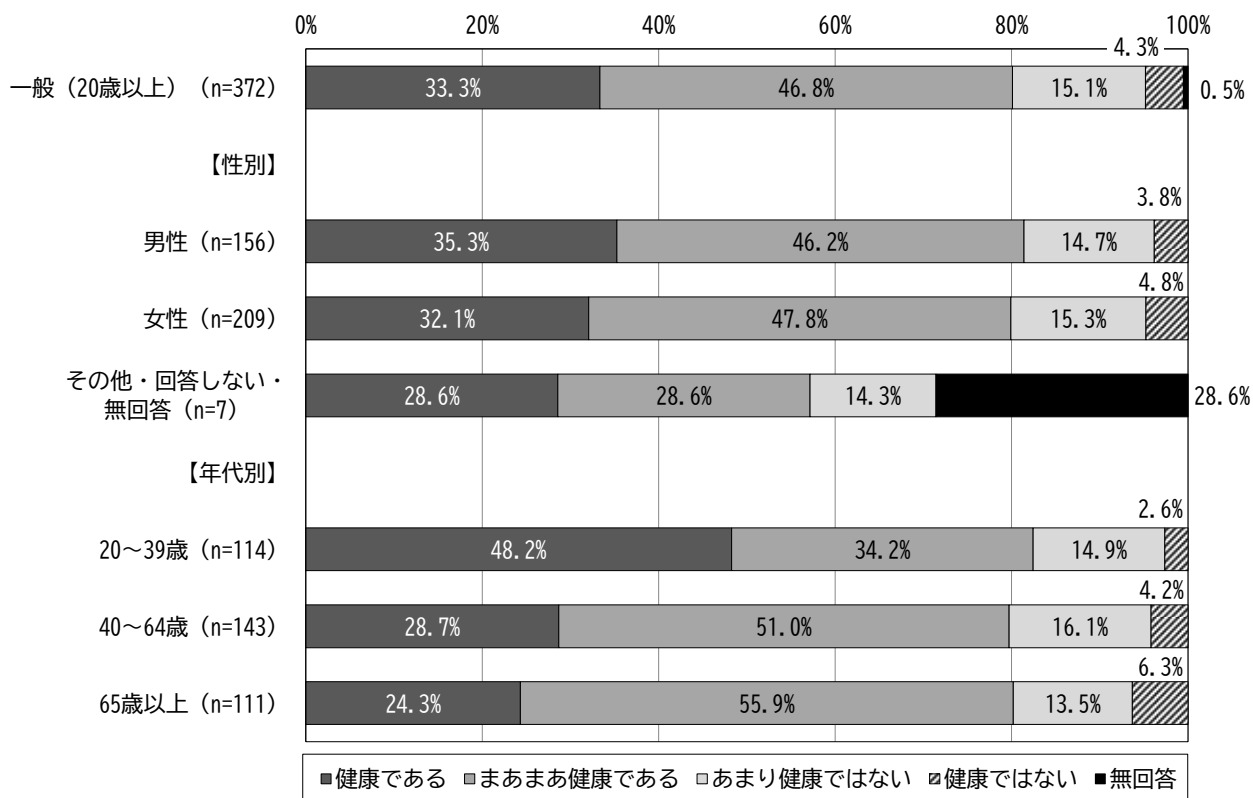
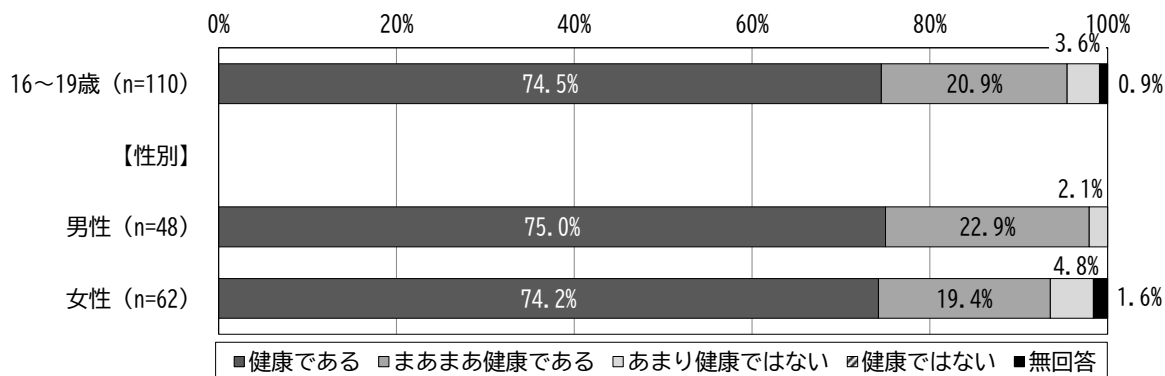
一般(20歳以上)では、『健康である』が80.1%に対し、『健康ではない』が19.4%となっています。



【性別・年代別】

16～19歳を性別にみると、男女ともに『健康である』が9割を超えて多くなっています。一般（20歳以上）を性別にみると、男女ともに『健康である』が7割を超えて多くなっています。

年代別にみると、『健康である』がいずれの年代でも7割を超え、20～39歳では「健康である」が48.2%と他年代と比べて最も多くなっています。

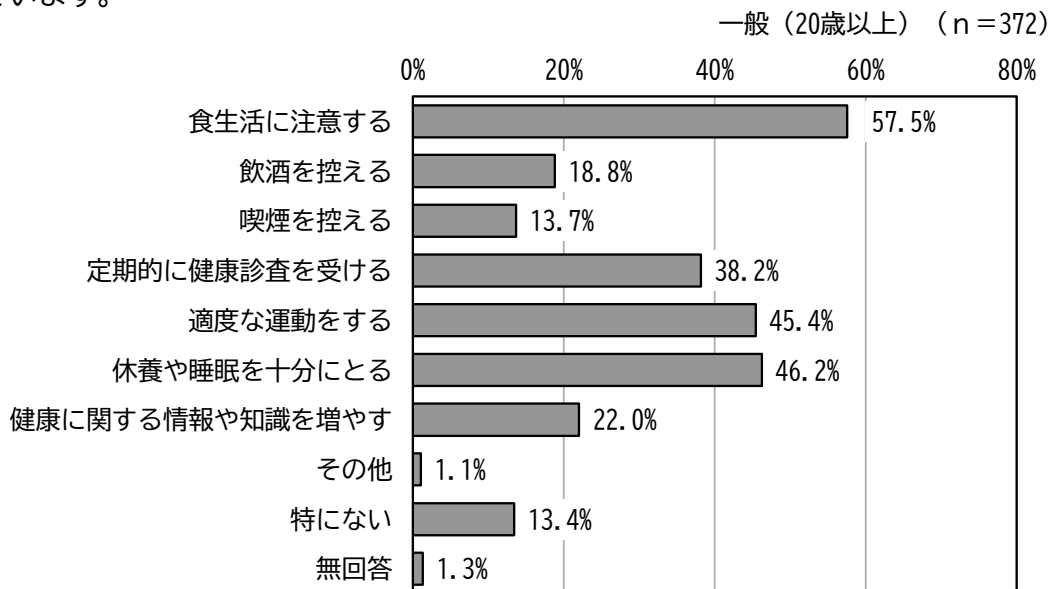


## Ⅱ. 調査結果

### (2) 健康のために行っていること

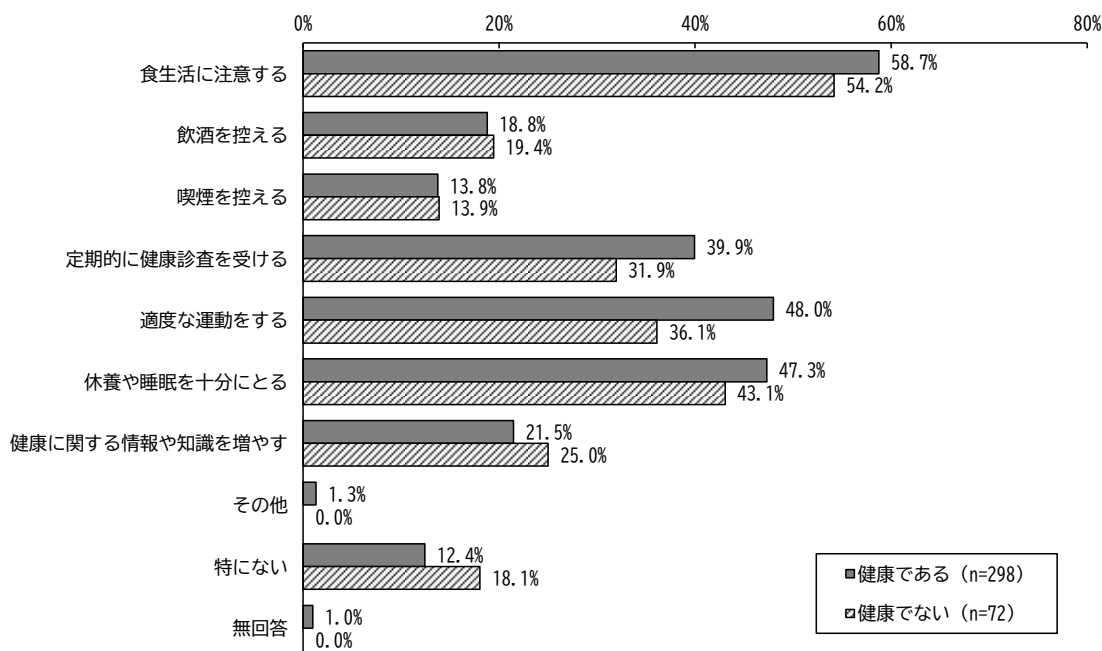
問 健康のためどのようなことを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般(20歳以上)の健康のために行っていることについては、「食生活に注意する」が57.5%と最も多く、次いで、「休養や睡眠を十分にとる」が46.2%、「適度な運動をする」が45.4%となっています。



#### 【健康状態】

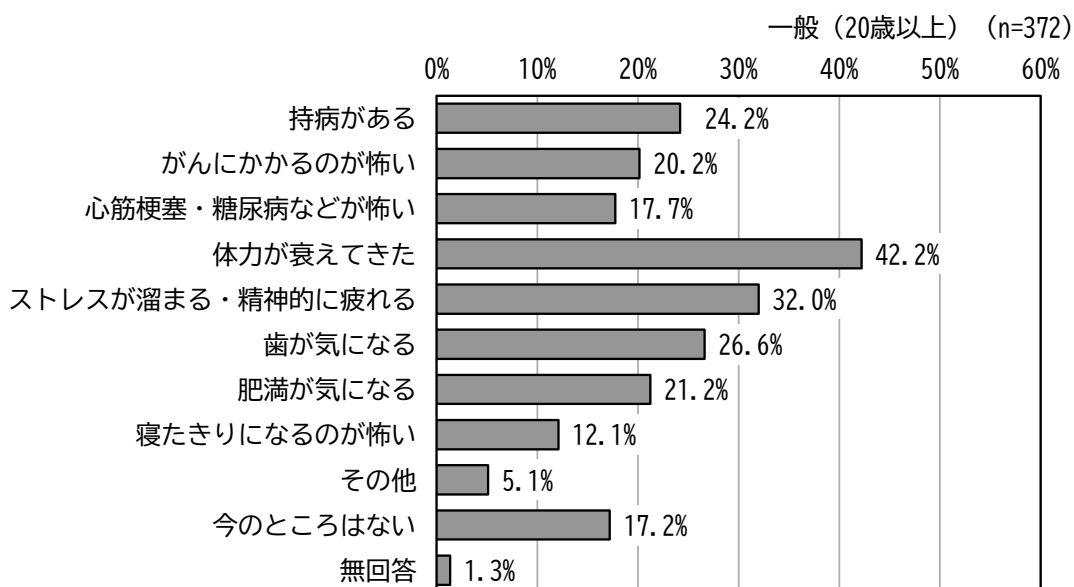
一般(20歳以上)を健康状態別にみると、『健康である』は「食生活に注意する」、「適度な運動をする」、「休養や睡眠を十分にとる」といった日常の項目の割合が『健康でない』より多くなっています。



(3) 健康に関する不安

問 あなたは現在かかえている健康に関する不安は、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般（20歳以上）の現在かかえている健康に関する不安については、「体力が衰えてきた」が42.2%と最も多く、次いで、「ストレスが溜まる・精神的に疲れる」が32.0%、「歯が気になる」が26.6%となっています。



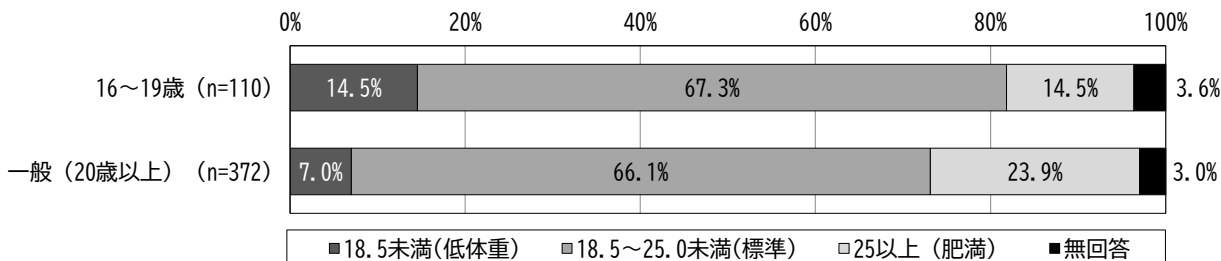
## Ⅱ. 調査結果

### (4) BMI (体格指数)

問 あなたの身長と体重を教えてください。(おおよそで結構です) BMI (体重 kg ÷ (身長 m)<sup>2</sup>) 【16～19 歳・一般】

16～19 歳の BMI については、「18.5～25.0 未満(標準)」が 67.3%と最も多く、次いで、「18.5 未満(低体重)」、「25 以上(肥満)」がともに 14.5%となっています。

一般 (20 歳以上) では、「18.5～25.0 未満(標準)」が 66.1%と最も多く、次いで、「25 以上(肥満)」が 23.9%、「低体重(18.5 未満)」が 7.0%となっています。

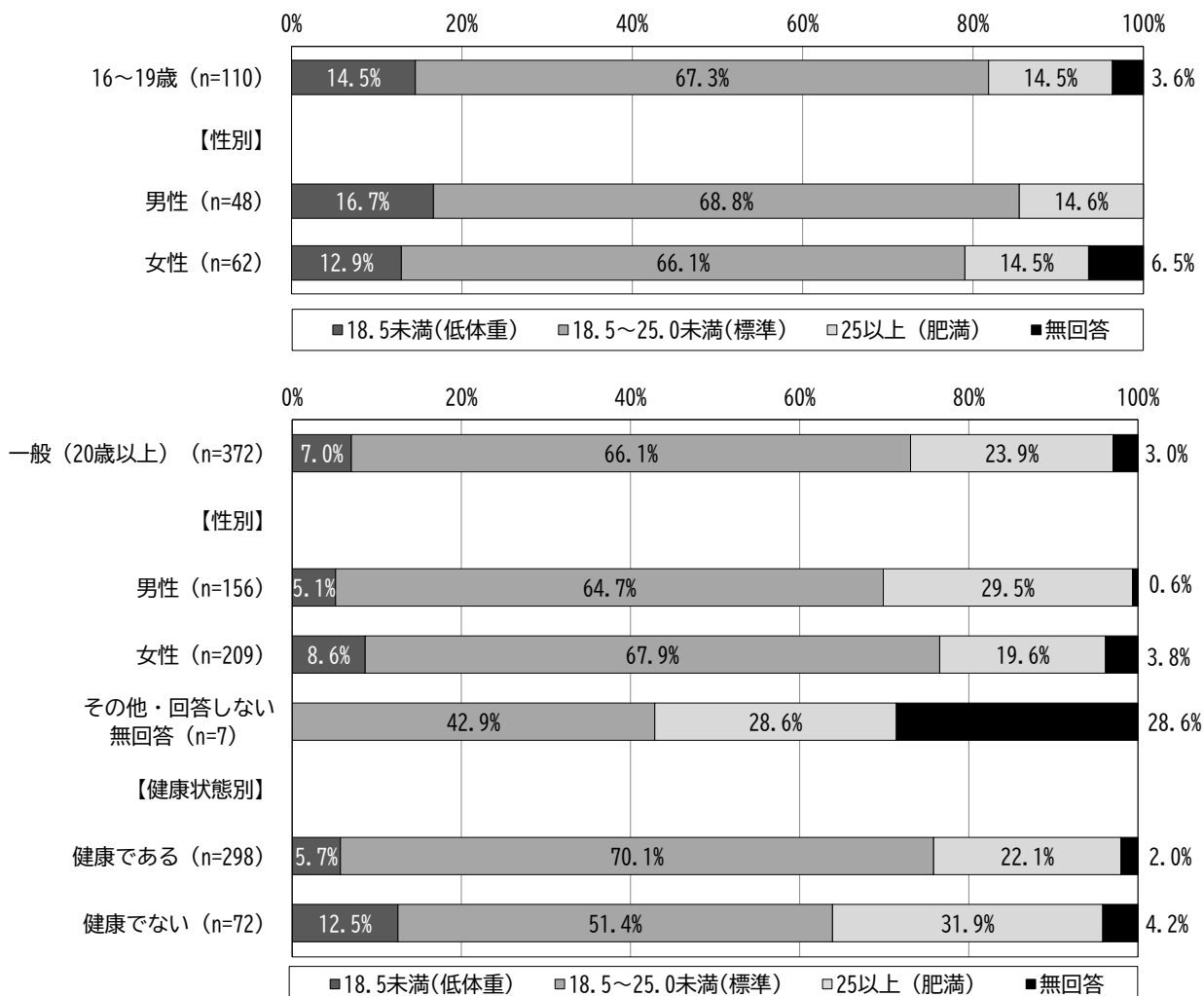


#### 【性別・健康状態別】

16～19 歳を性別にみると、「BMI18.5 未満」の男性で 16.7%に対し女性が 12.9%と男性が 3.8 ポイント上回っています。

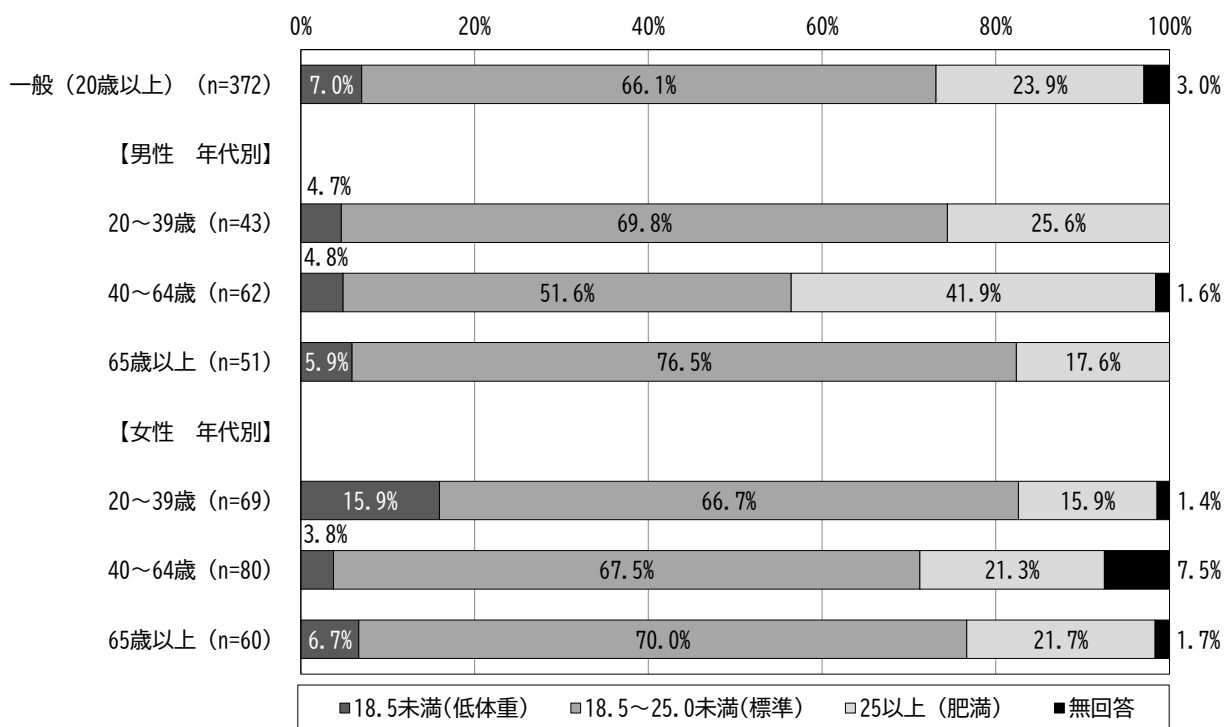
一般 (20 歳以上) を性別にみると、「BMI25 以上」の女性が 19.6%に対し、男性が 29.5%と多くなっています。

一般 (20 歳以上) を健康状態別にみると、「BMI25 以上」の『健康でない』が 31.9%に対し、『健康である』が 22.1%と『健康でない』が 9.8 ポイント上回っています。



【性別×年代別】

一般(20歳以上)を各性別の年代別にみると、「BMI18.5未満」では女性の20～39歳が15.9%と他年代と比べて最も多くなっており、「BMI25以上」では男性の40～64歳で41.9%と4割を超えて多くなっています。



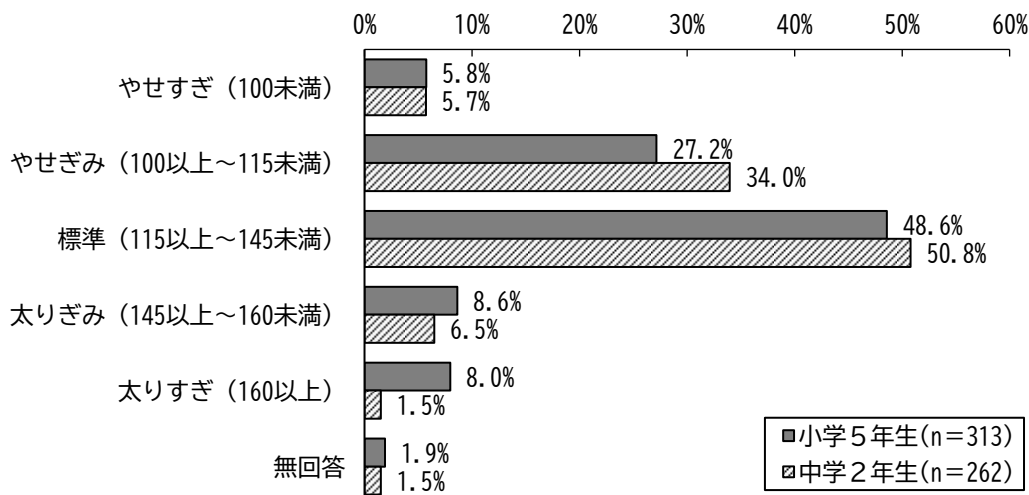
## Ⅱ. 調査結果

### (5) ローレル指数（体格指数）

問 あなたの身長と体重を教えてください。ローレル値（体重÷身長<sup>3</sup>×107）【小学生・中学生】

小学5年生のローレル値については、「標準（115以上～145未満）」が48.6%と最も多く、次いで、「やせぎみ（100以上～115未満）」が27.2%、「太りぎみ（145以上～160未満）」が8.6%となっています。

中学2年生のローレル値については、「標準（115以上～145未満）」が50.8%と最も多く、次いで、「やせぎみ（100以上～115未満）」が34.0%、「太りぎみ（145以上～160未満）」が6.5%となっています。



### (6) 自身の体型

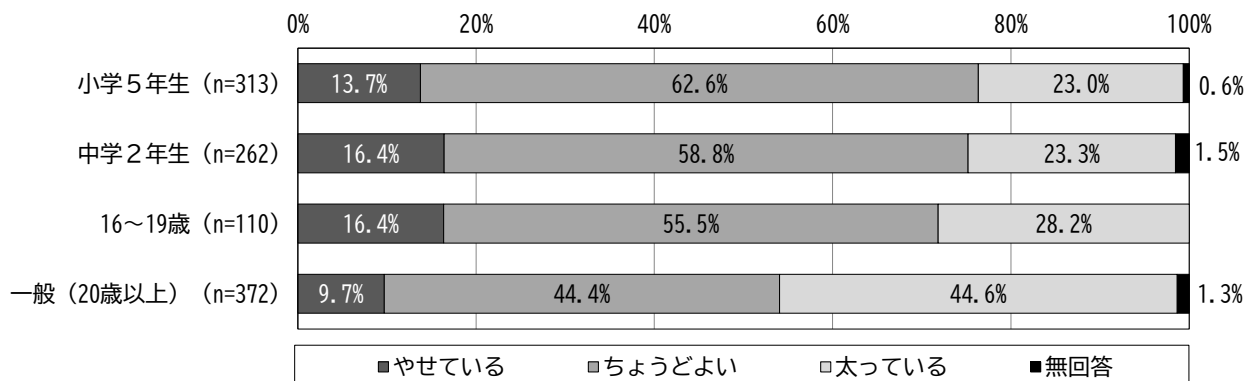
問 あなたは、自分の体型についてどう思いますか。(○は1つ)【小学生・中学生・16～19歳・一般】

小学5年生の自分の体型についてどう思うかについては、「ちょうどよい」が62.6%と最も多く、次いで、「太っている」が23.0%、「やせている」が13.7%となっています。

中学2年生では、「ちょうどよい」が58.8%と最も多く、次いで、「太っている」が23.3%、「やせている」が16.4%となっています。

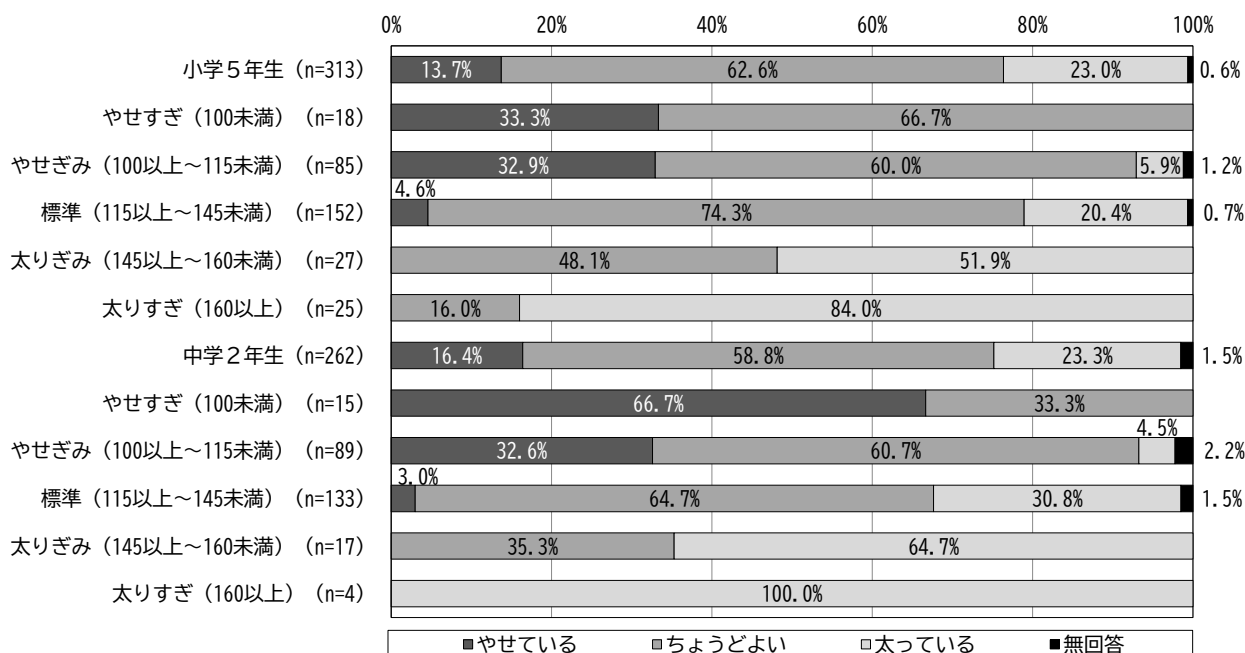
16～19歳では、「ちょうどよい」が55.5%と最も多く、次いで、「太っている」が28.2%、「やせている」が16.4%となっています。

一般（20歳以上）では、「太っている」が44.6%と最も多く、次いで、「ちょうどよい」が44.4%、「やせている」が9.7%となっています。



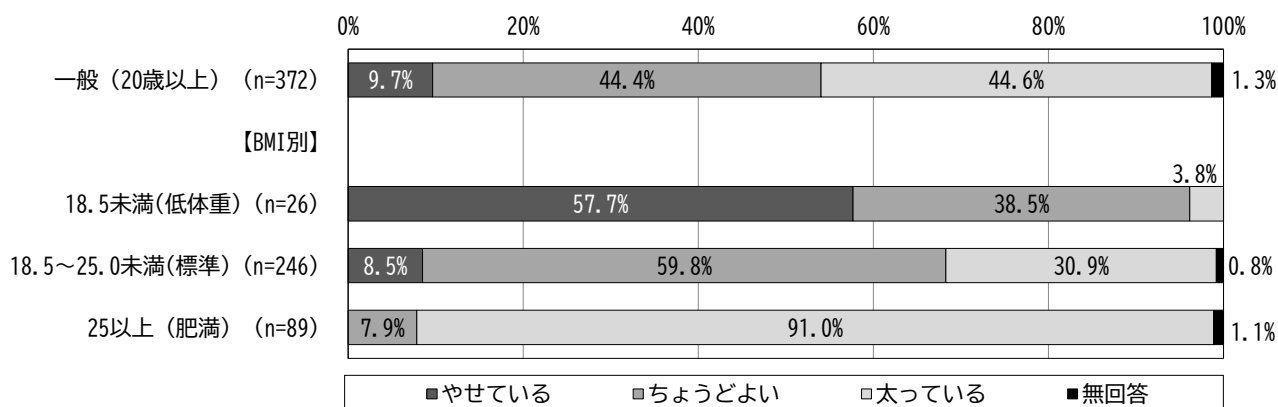
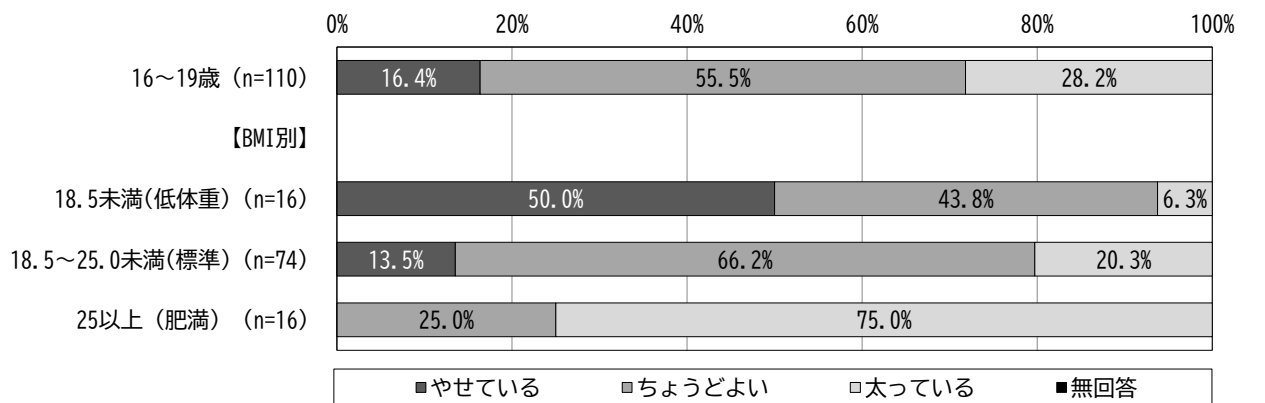
【ローレル指数別】

ローレル指数別にみると、小学5年生、中学2年生ともにローレル指数にあった体型を認識している傾向となっています。



【BMI 別】

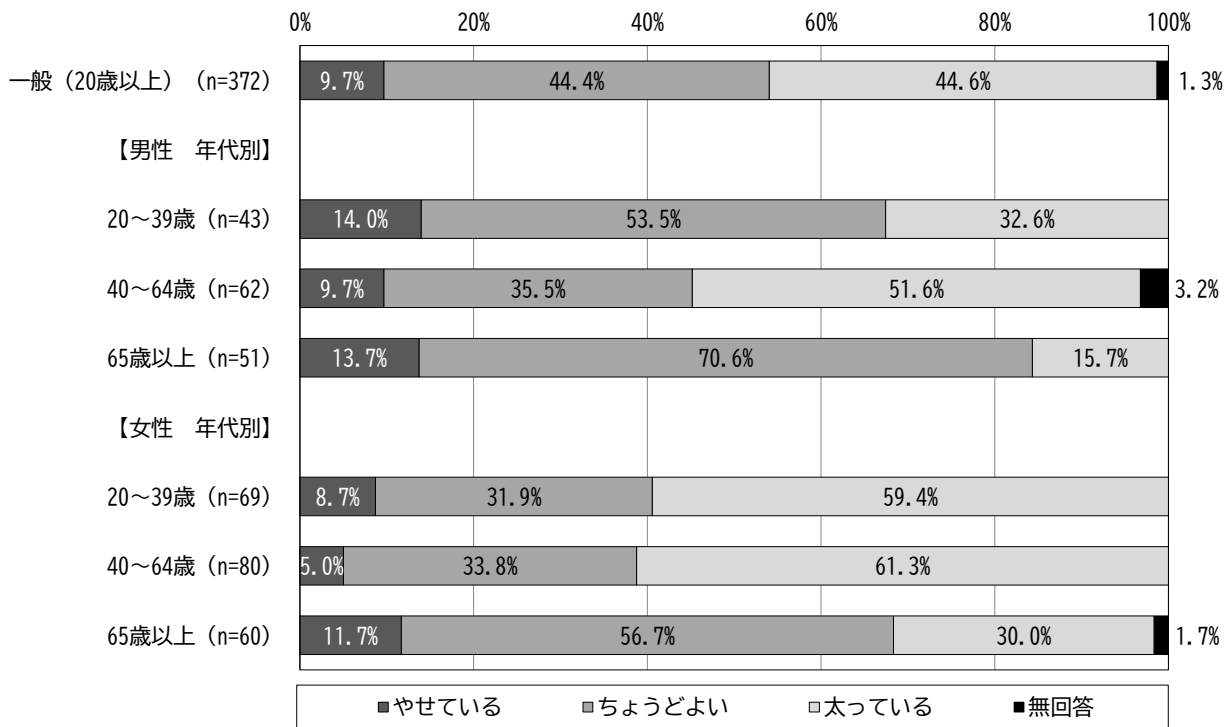
BMI 別にみると、16~19歳、一般 (20歳以上) ともに BMI の指数にあった体型を認識している傾向となっています。



## Ⅱ. 調査結果

### 【性別×年代別】

一般（20歳以上）を各性別の年代別にみると、女性の64歳以下と男性の40～64歳で「太っている」が5割を超えて多くなっています。



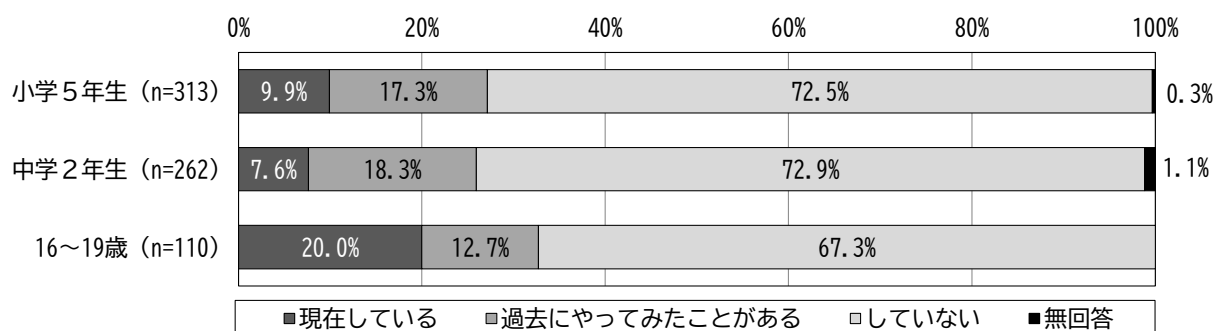
(7) ダイエット・適正体重のための行動

問 あなたは、ダイエットをしていますか。(○は1つ)【小学生・中学生・16～19歳】

小学5年生のダイエットをしているかについては、「していない」が72.5%と最も多く、次いで、「過去にやってみたことがある」が17.3%、「現在している」が9.9%となっています。

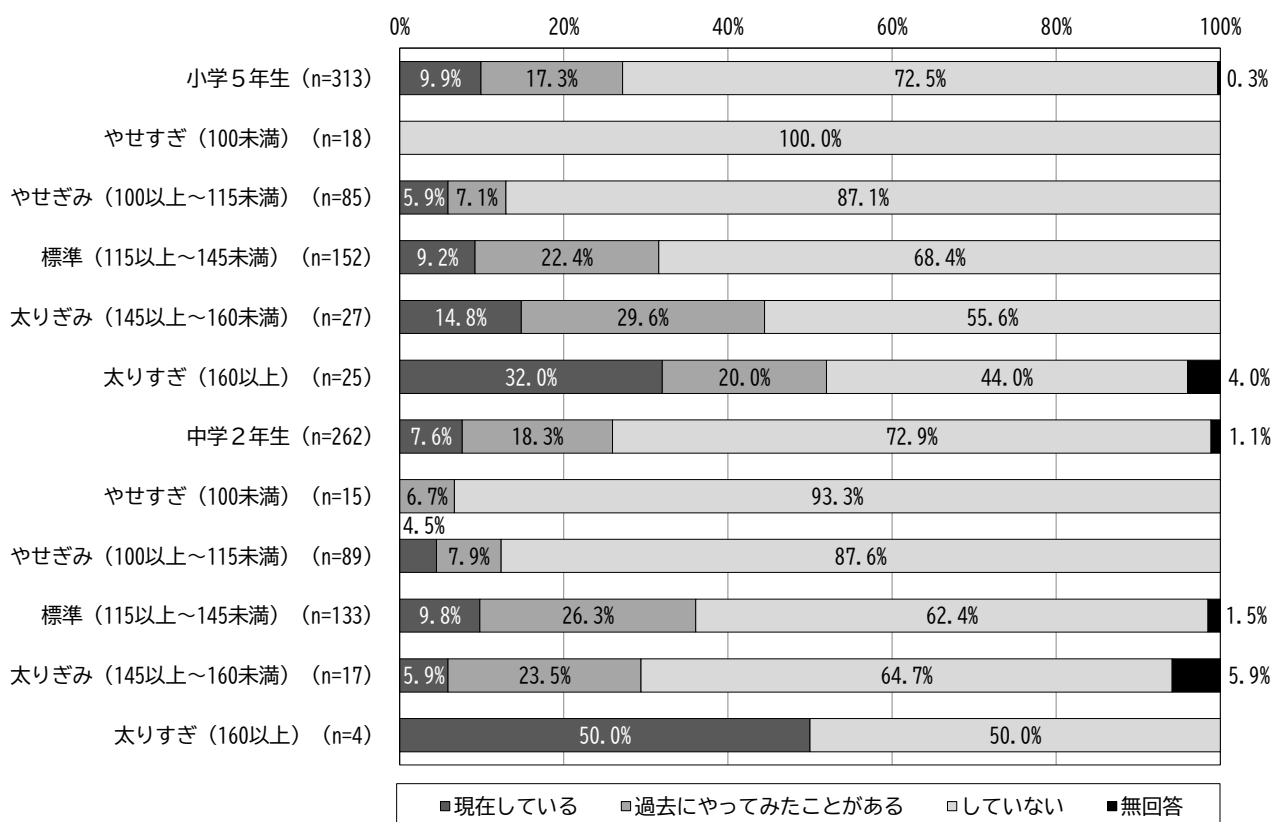
中学2年生では、「していない」が72.9%と最も多く、次いで、「過去にやってみたことがある」が18.3%、「現在している」が7.6%となっています。

16～19歳では、「していない」が67.3%と最も多く、次いで、「現在している」が20.0%、「過去にやってみたことがある」が12.7%となっています。



【ローレル指数別】

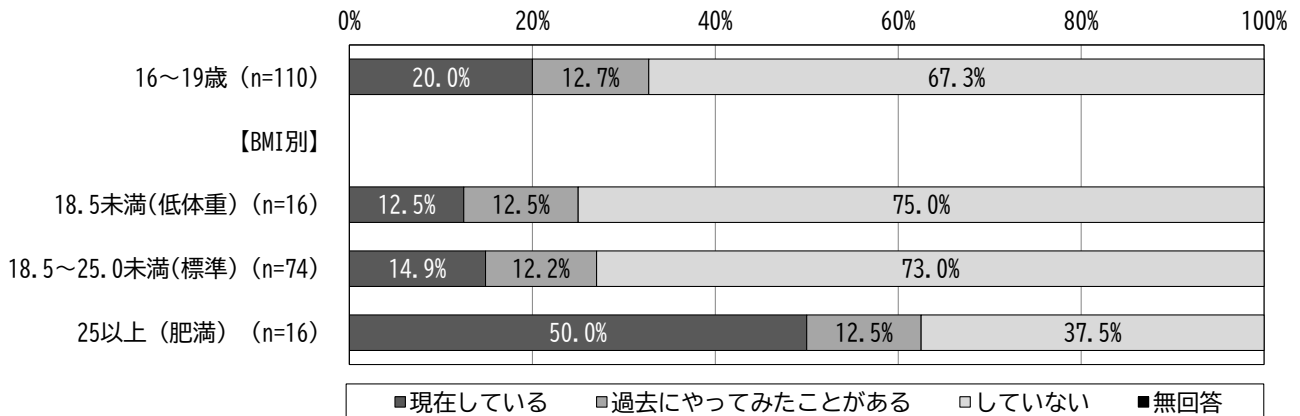
学生をローレル指数別にみると、小学5年生、中学2年生ともに「太りすぎ」でダイエットを「現在している」の割合が多くなっております。



## II. 調査結果

### 【BMI 別】

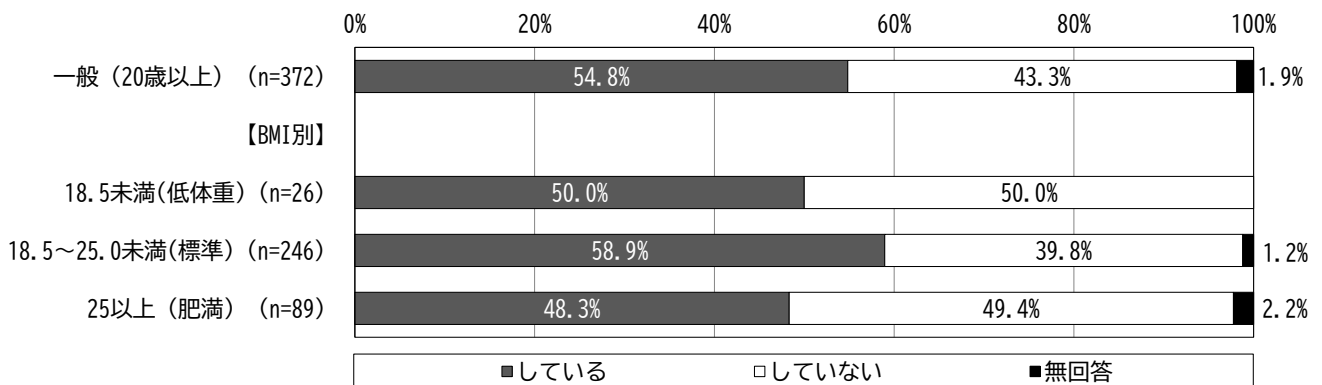
16～19歳を BMI 別にみると、BMI25 以上でダイエットを「現在している」の割合が5割と多くなっています。



### 問 あなたは、ご自分の体重を適正に維持するため、または適正な体重に近づけるため、食生活の工夫や運動などを継続的にしていますか。(○は1つ)【一般】

一般 (20歳以上) で体重を適正に維持するため、または適正な体重に近づけるため、食生活の工夫や運動などを継続的にしているかについては、「している」が54.8%に対し、「していない」が43.3%となっています。

BMI 別にみると、BMI18.5～25.0 未満で「している」が58.9%と最も多くなっています。



(8) 健診・検診

問 あなたは、この1年間（乳がん・子宮頸がん検診については2年間）に健康診査や人間ドック、がん検診を受けましたか。（○は1つ）【一般】

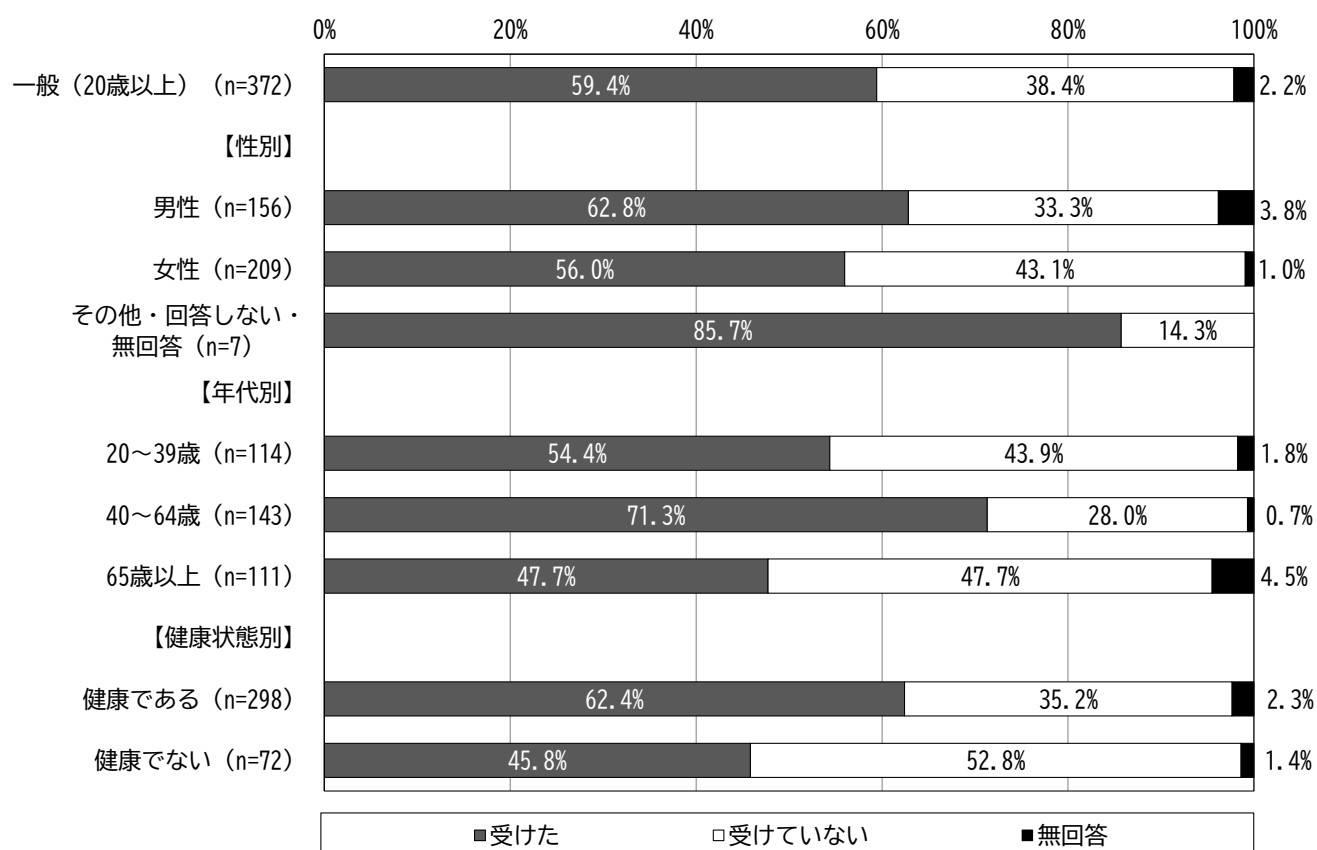
※妊産婦健診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は、健診に含みません。

一般（20歳以上）の健康診査や人間ドック、がん検診の受診については、「受けた」が59.4%に対し、「受けていない」が38.4%となっています。

性別にみると、受診者が男女ともに5割を超えております。

年代別にみると、受診者が40～64歳で71.3%と他年代より多くなっています。

健康状態別にみると、受診者が『健康である』で62.4%に対し、『健康でない』が45.8%と『健康である』が16.6ポイント上回っています。



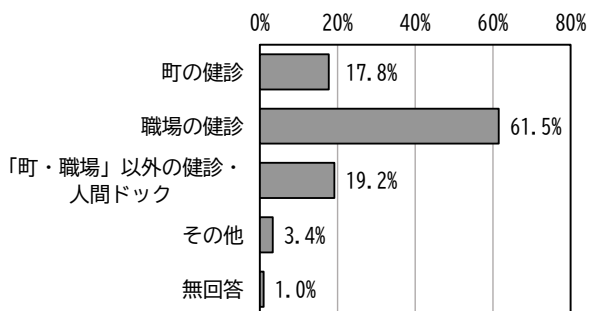
## II. 調査結果

健康診査や人間ドック、がん検診の間で「受けた」を選択した方のみ回答

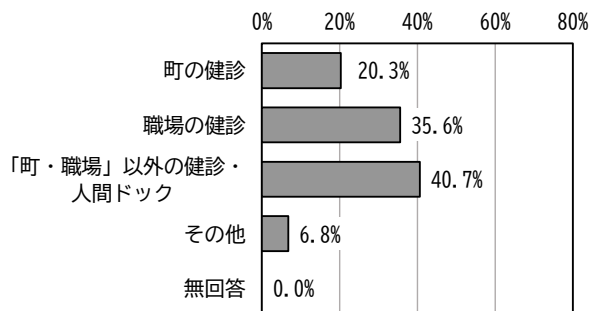
問 受けた健診（検診）は何ですか。また、どこで受けましたか。（それぞれあてはまるものすべてに○）【一般】

健診・検診の受診については、健康診査、大腸がん検診では「職場の健診」、胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診では『「町・職場」以外の健診・人間ドック』、子宮頸がん検診では「町の健診」と『「町・職場」以外の健診・人間ドック』が最も高くなっています。

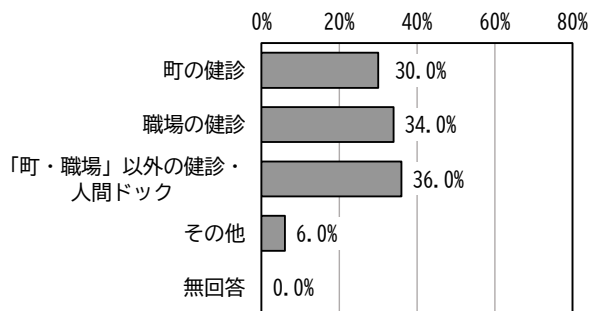
【健康診査（n=208）】



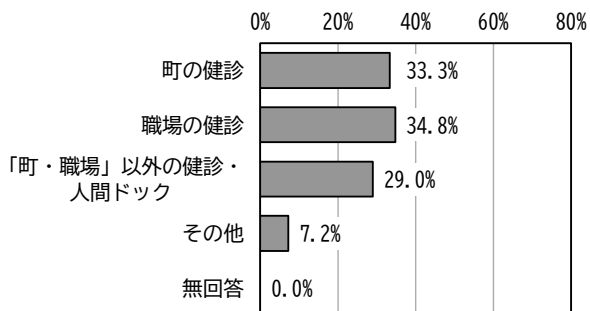
【胃がん検診（n=59）】



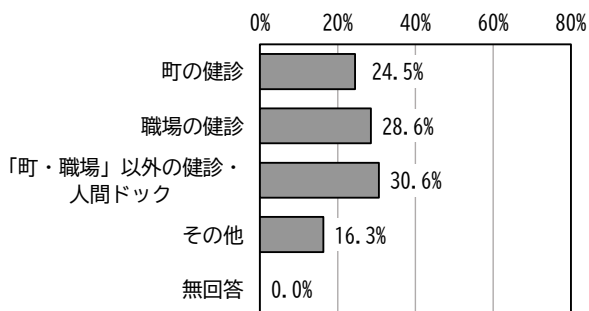
【肺がん診査（n=50）】



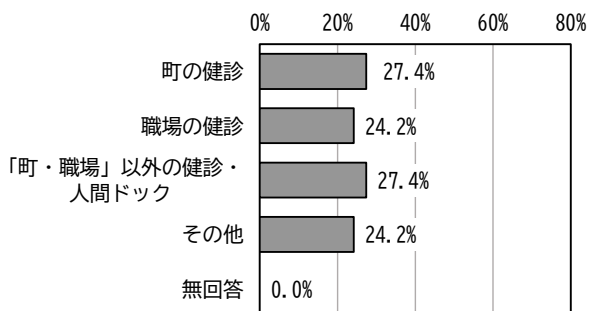
【大腸がん検診（n=69）】



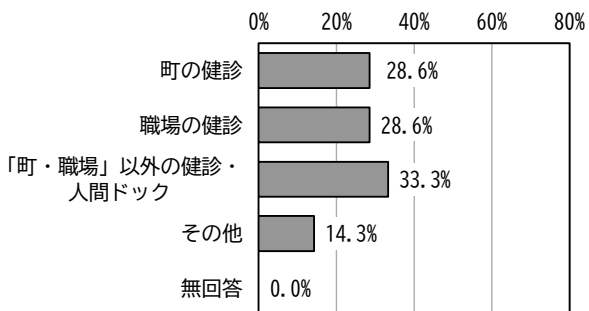
【乳がん診査（n=49）】



【子宮頸がん検診（n=62）】



【前立腺がん診査（n=21）】

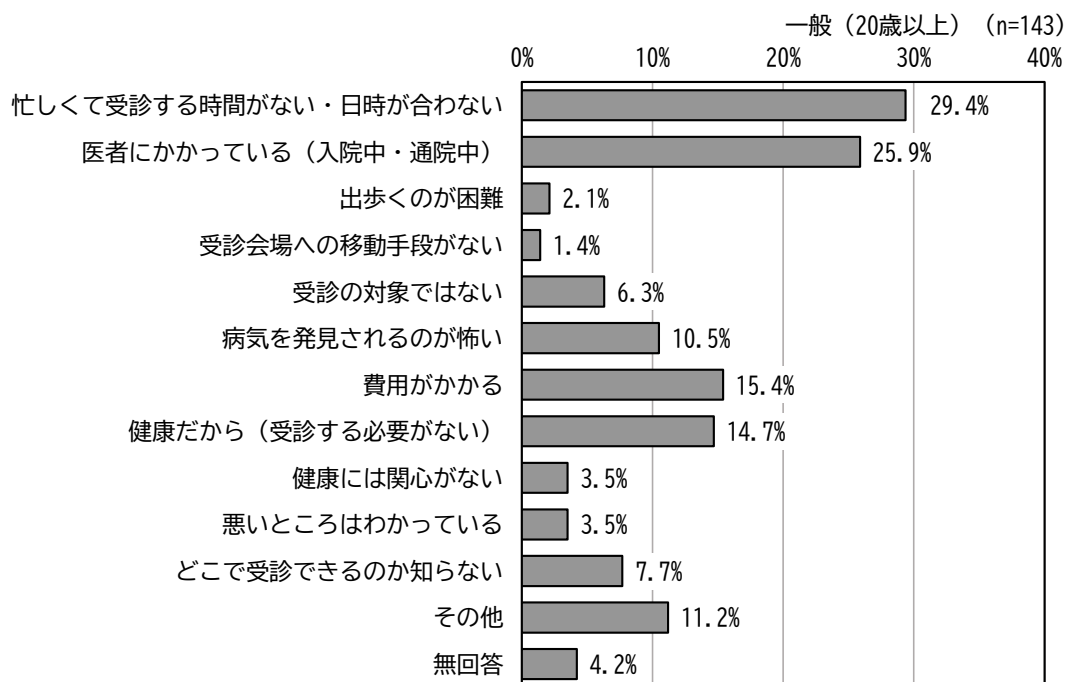


(9) 健診・検診を受けていない理由

健康診査や人間ドック、がん検診の間で「受けていない」を選択した方のみ回答

問 健診やがん検診を受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般（20歳以上）の健診やがん検診を受けていない理由については、「忙しくて受診する時間がない・日時が合わない」が29.4%と最も多く、次いで、「医者にかかっている（入院中・通院中）」が25.9%、「費用がかかる」が15.4%となっています。



## Ⅱ. 調査結果

### 3. 栄養・食生活について

#### (1) 食事の状況

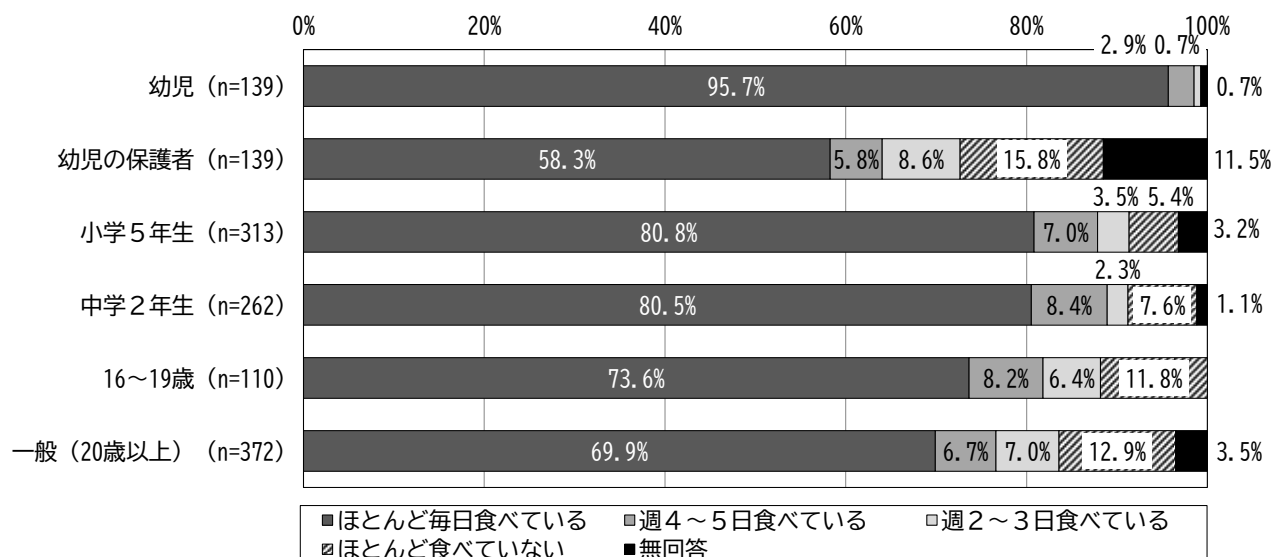
問 あなたは、朝食・昼食・夕食を食べていますか。(○はそれぞれに1つ)【幼児・小学生・中学生・16～19歳・一般】

※菓子、果物、乳製品、嗜好飲料(ジュース等)などの食品のみの飲食、また、錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラル、栄養ドリンク剤のみの場合は、食事をとったものとみなしません。

##### 【朝食】

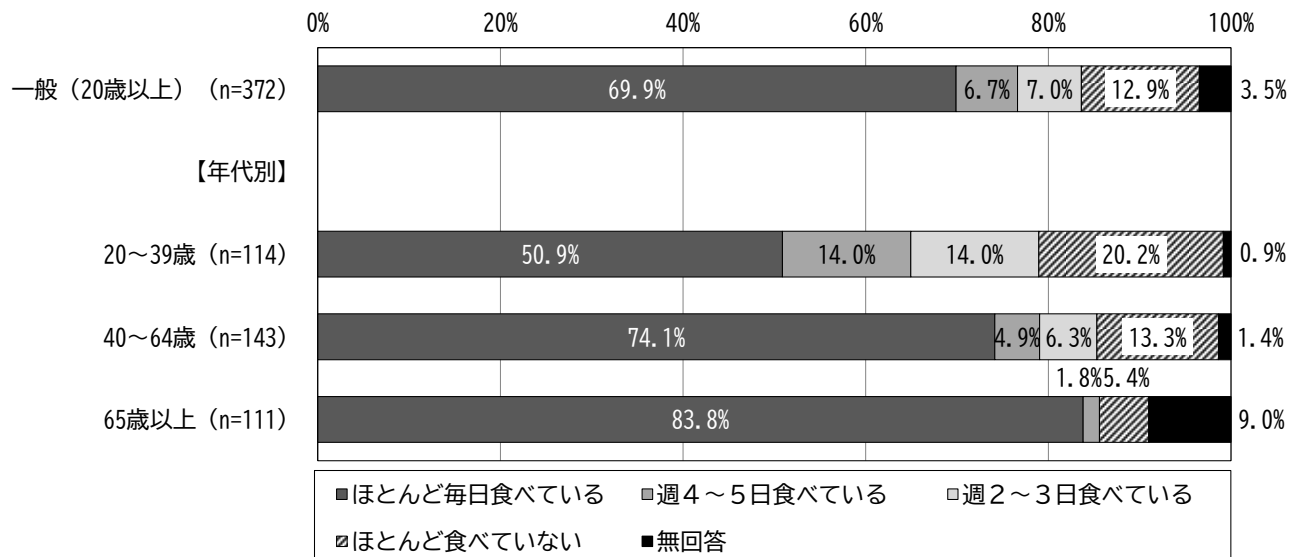
朝食の摂取状況について「ほとんど毎日食べている」は幼児では9割、小学5年生、中学2年生では8割を超えており、16～19歳、一般(20歳以上)では7割、幼児の保護者では6割近くとなっています。

「ほとんど食べていない」では幼児の保護者で15.8%と最も多く、次いで一般(20歳以上)で12.9%、16～19歳で11.8%、中学2年生で7.6%となっています。



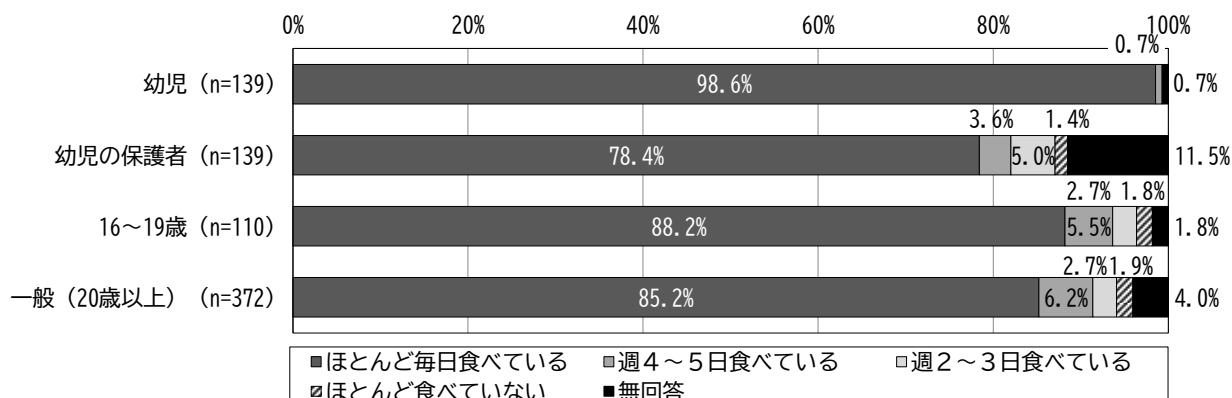
##### 【年代別】

一般(20歳以上)を年代別にみると20～39歳で「ほとんど毎日食べている」が50.9%と他年代と比べて最も少なくなっています。



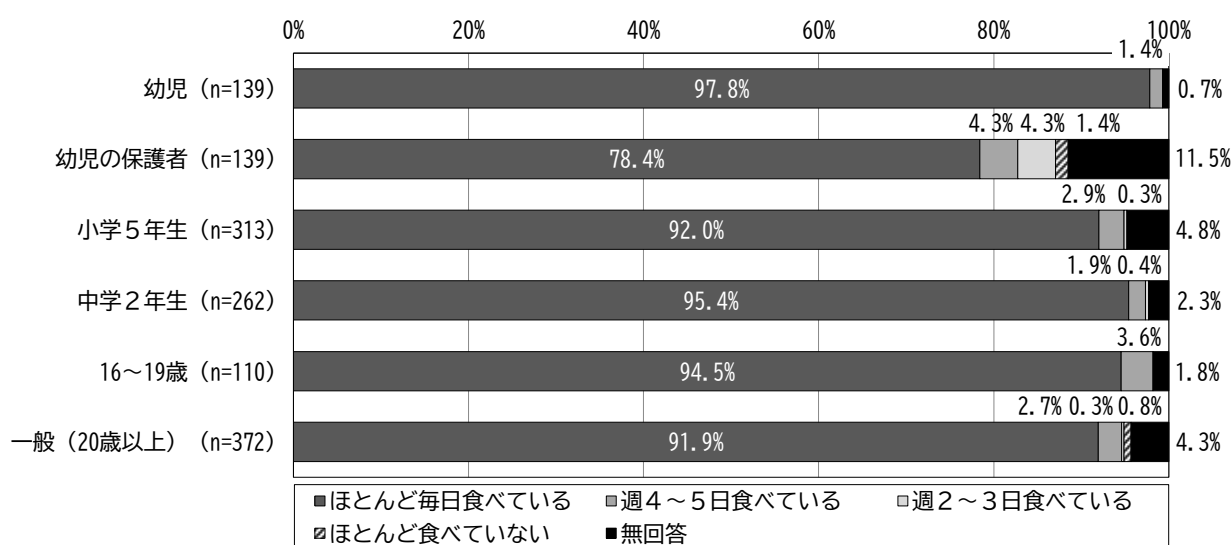
【昼食】

昼食の摂取状況について「ほとんど毎日食べている」では、幼児が9割、16～19歳、一般（20歳以上）が8割を超えており、幼児の保護者が8割近くとなっております。



【夕食】

夕食の摂取状況では、「ほとんど毎日食べている」が幼児の保護者が78.4%、その他すべての調査対象で9割を超えています。



## Ⅱ. 調査結果

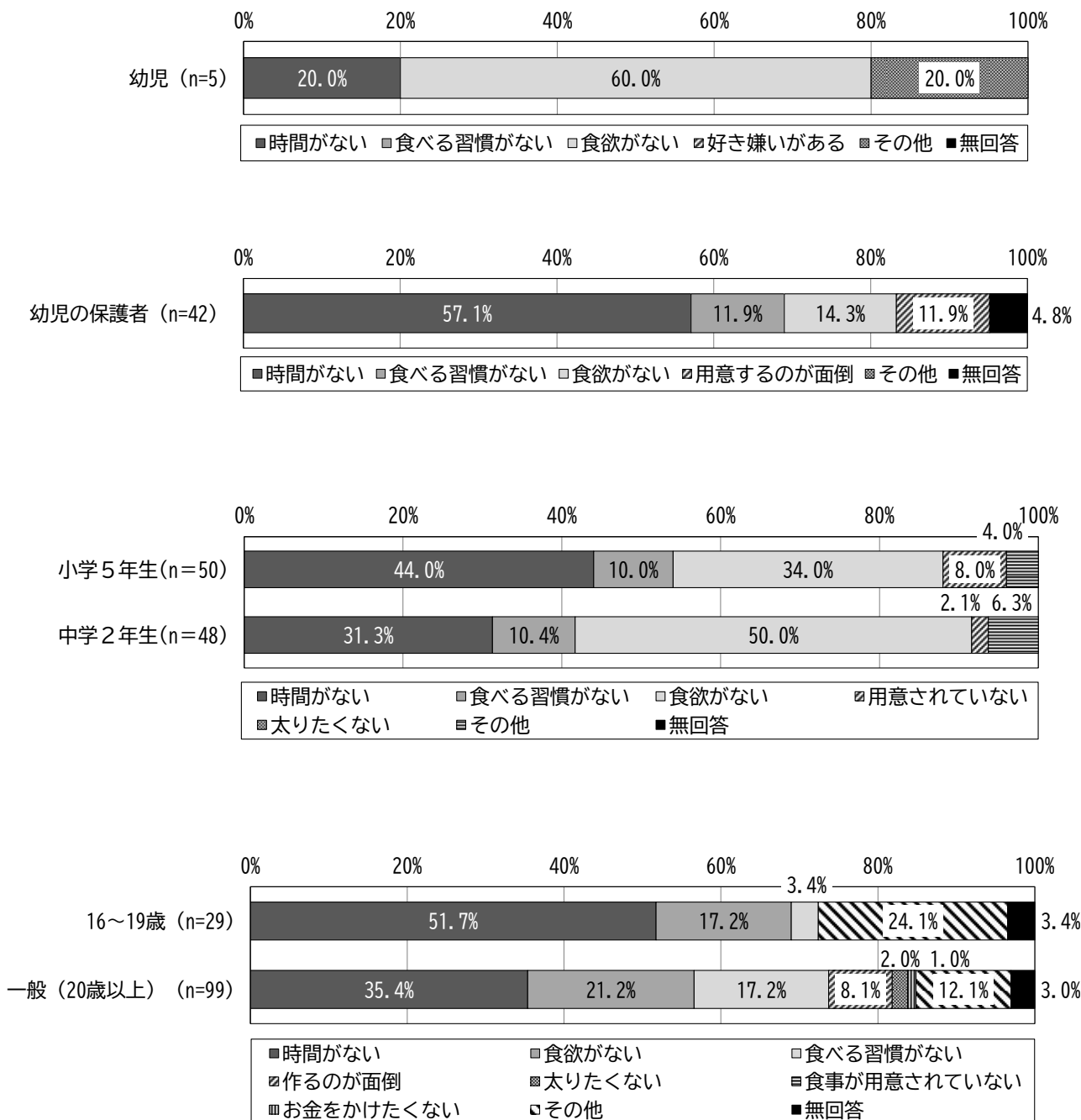
### (2) 食事をとらない理由

食事の状況で「ほとんど毎日食べている」以外を選択した方のみ回答

問 食事をとらない一番の理由は何ですか。(〇はそれぞれに1つ)【幼児・小学生・中学生・16～19歳・一般】

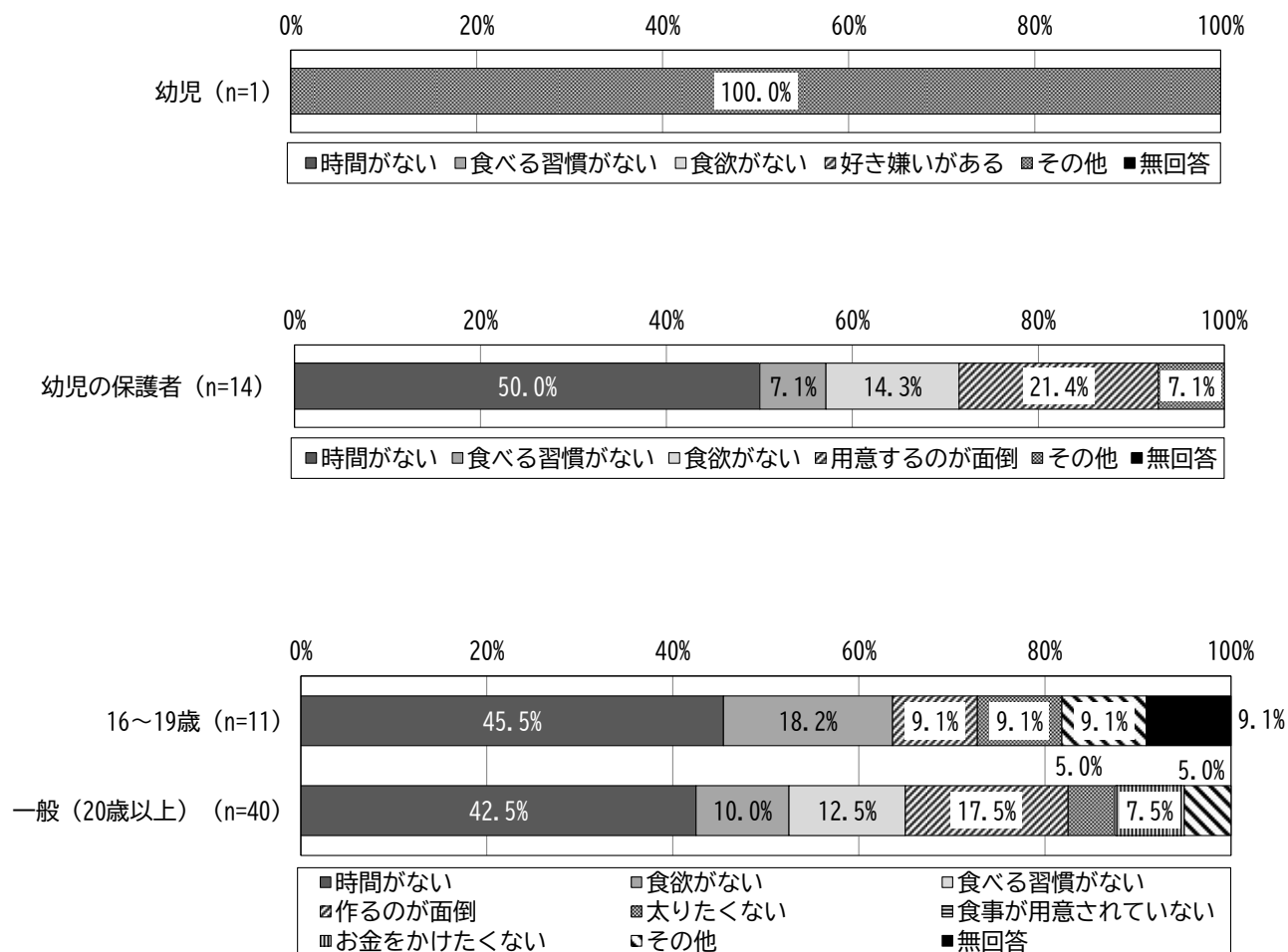
#### 【朝食】

朝食をとらない理由について、幼児と中学2年生では「食欲がない」が最も多く、その他すべての調査対象では「時間がない」が最も多くなっており、幼児の保護者、16～19歳では5割を超えています。



【昼食】

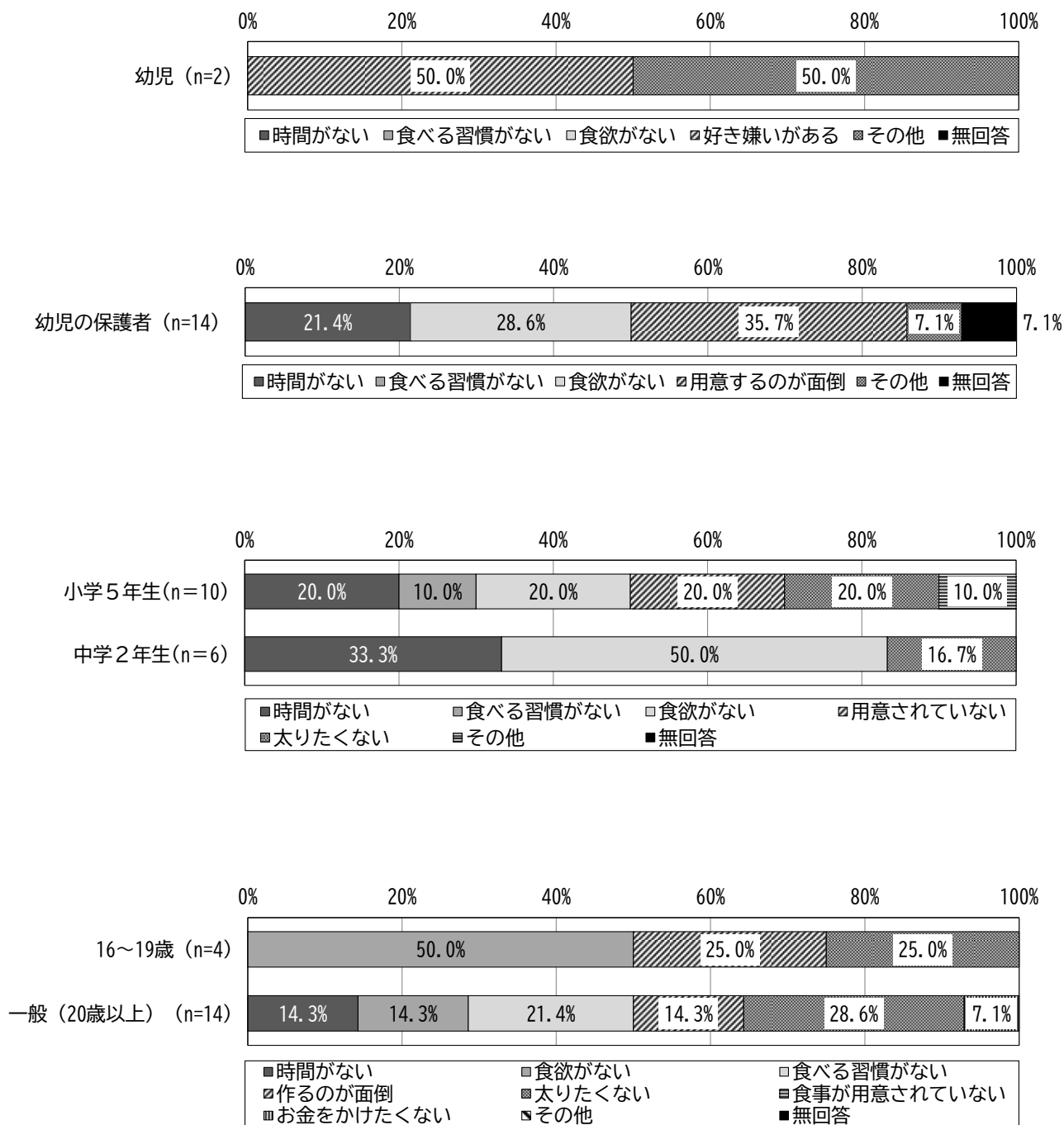
昼食をとらない理由について、幼児の保護者、16～19歳、一般（20歳以上）で「時間がな  
い」の割合が最も多くなっています。



## II. 調査結果

### 【夕食】

夕食をとらない理由について、幼児で「好き嫌いがある」、中学2年生と16～19歳で「食欲がない」の割合が5割となっています。

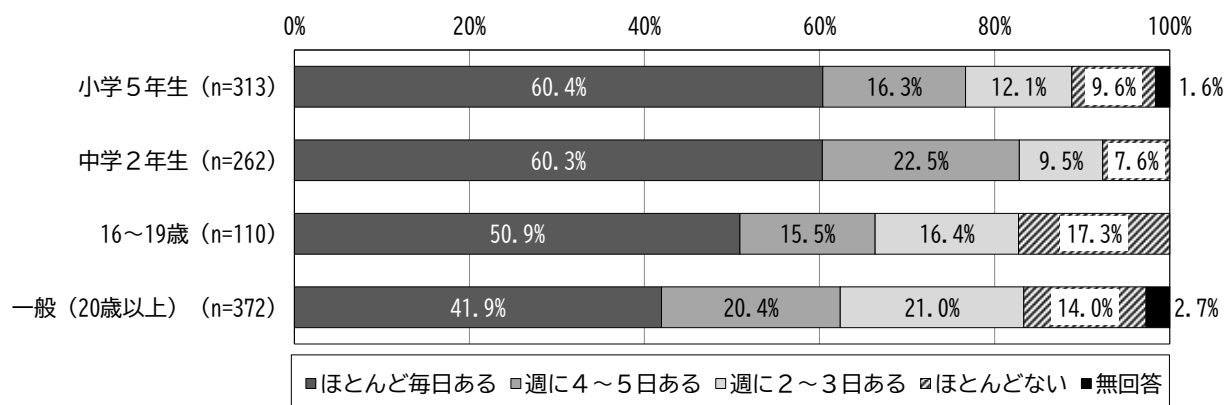


### (3) 主食・主菜・副菜

**問** 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）3つそろえて食べることが1日に2回以上ありますか。（○は1つ）【小学生・中学生・16～19歳・一般】

※野菜や海藻などが具だくさんの汁物は「副菜」に含みます。  
 ※牛乳・乳製品、果物、菓子は「主食・主菜・副菜」に含みません。  
 ※カレーライスや中華丼など、1品で主食・主菜・副菜の各材料を含む料理については、主食・主菜・副菜の3つがそろっているものとしします。

主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上ある頻度について、「ほとんど毎日ある」が一般（20歳以上）（41.9%）を除くすべての調査対象で5割を超えて最も多くなっています。



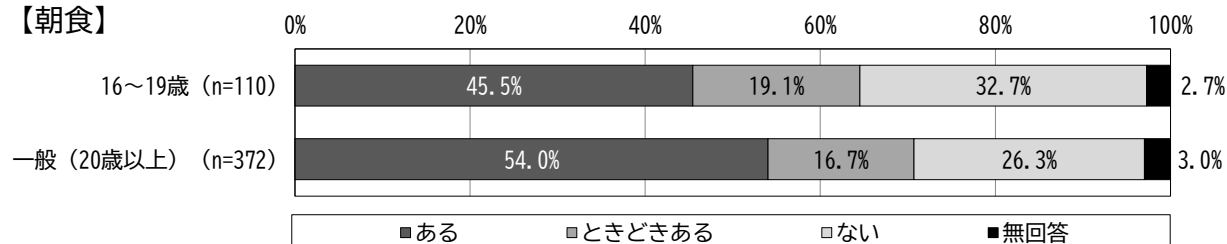
### (4) 孤食の状況

**問** あなたは食事を一人だけで食べることがありますか。（○はそれぞれに1つ）【16～19歳・一般】

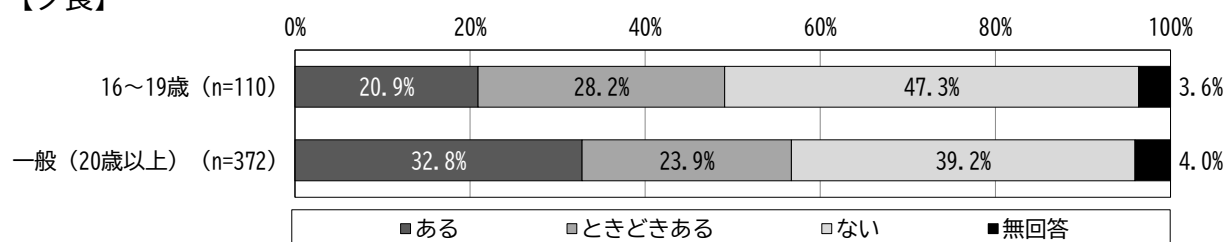
一人だけで朝食をとるかについて、「ある」が16～19歳で45.5%、一般（20歳以上）で54.0%となっています。

夕食では、「ある」が16～19歳で20.9%、一般（20歳以上）で32.8%となっています。

#### 【朝食】



#### 【夕食】



## Ⅱ. 調査結果

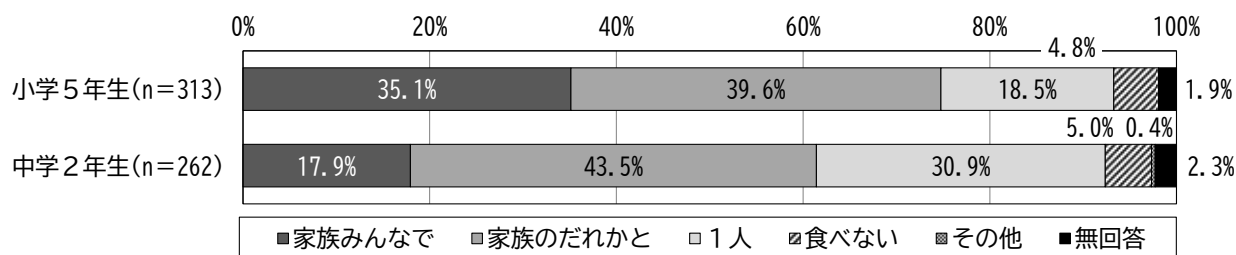
### (5) 共食の状況

問 あなたは、だれと食事をとりますか。(○はそれぞれに1つ)【小学生・中学生】

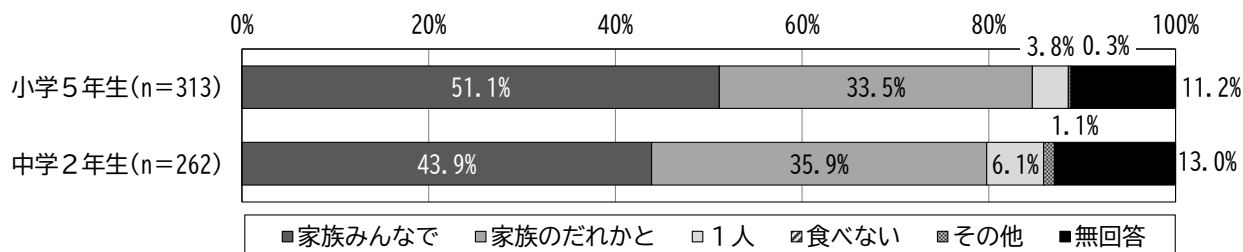
小学5年生と中学2年生の朝食の共食状況について、小学5年生と中学2年生ともに「家族のだれかと」が最も多く、小学5年生では39.6%、中学2年生では43.5%なっております。また、「1人」が中学2年生では30.9%と3割となっており、小学5年生では18.5%と2割近くになっています。

夕食の共食状況については、「家族みんなで」が小学5年生では51.1%、中学2年生では43.9%と最も多くなっています。

#### 【朝食】



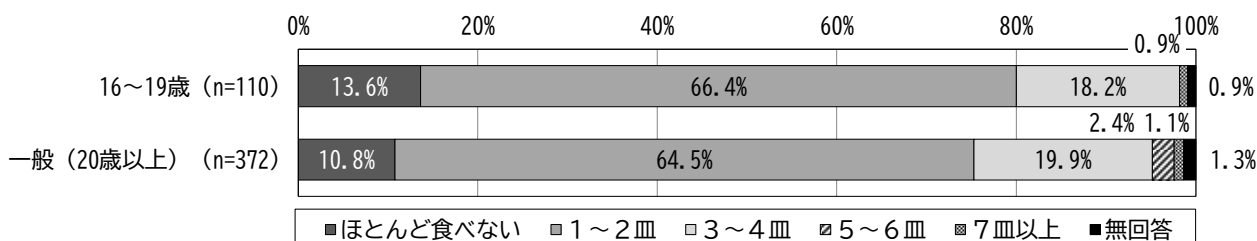
#### 【夕食】



(6) 1日の野菜摂取状況

問 普段、野菜を主な材料とした料理を1日に何皿食べていますか。(1皿は小鉢1個分程度)(○は1つ)【16~19歳・一般】

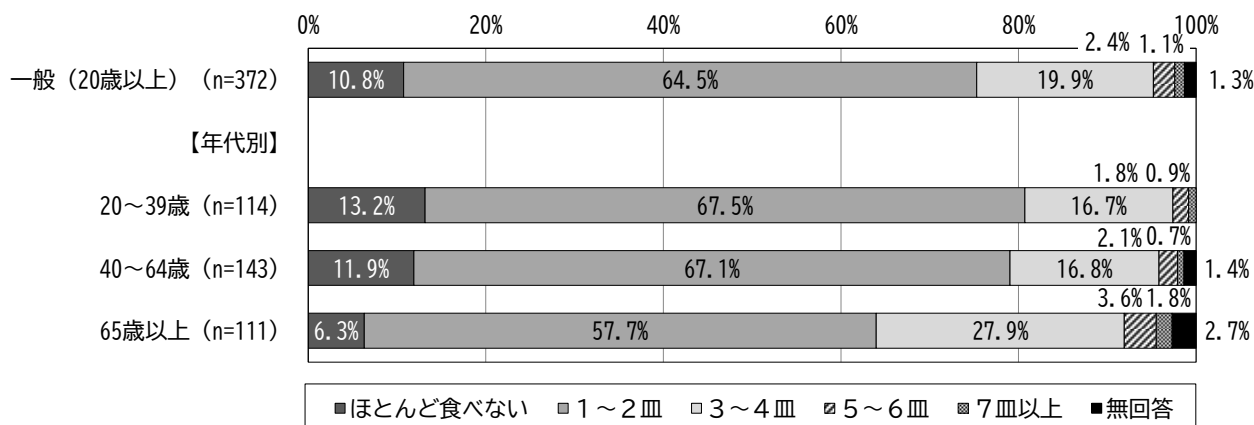
野菜を主な材料とした料理を1日に何皿食べているかについては、16~19歳と一般(20歳以上)ともに「1~2皿」が6割を超えて最も多く、次いで、「3~4皿」が2割近く、「ほとんど食べない」が1割となっています。



【年代別】

一般(20歳以上)を年代別にみると、「3~4皿」では64歳以下は同じ割合ですが、65歳以上で2割を超えて多くなっています。

また、「ほとんど食べない」では年代が上がるにつれて低くなっていく傾向にあります。



## Ⅱ. 調査結果

### (7) 食塩摂取量の認知

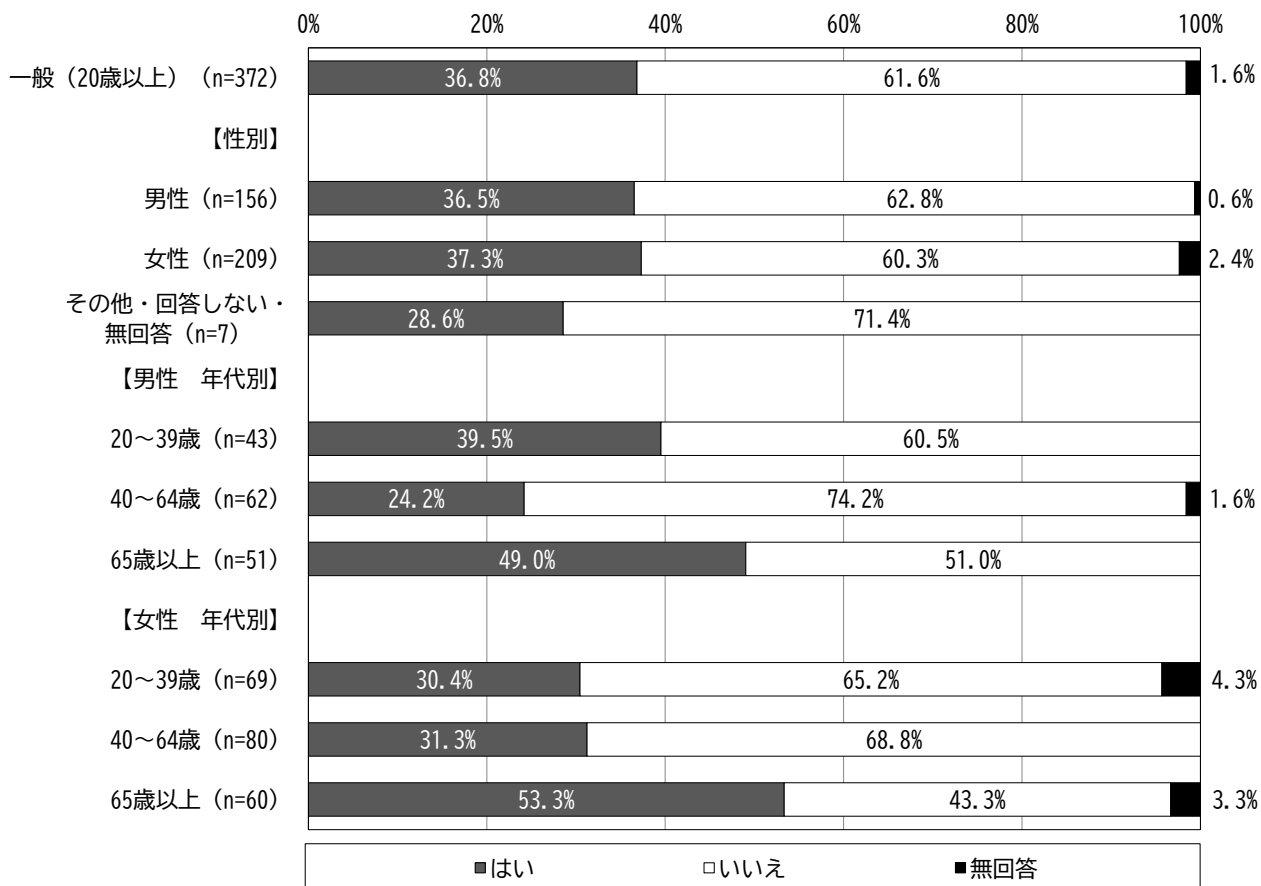
問 あなたは、1日の食塩摂取量の目標値を知っていますか。(○は1つ)【一般】

※男性7.5g未満、女性6.5g未満

一般(20歳以上)の1日の食塩摂取量の目標値の認知度については、「はい(知っている)」が36.8%に対し、「いいえ(知らない)」が61.6%となっています。

性別にみると男女ともに同じ割合になっています。

各性別の年代別にみると男女ともに65歳以上で「はい」の割合が4割を超えて多くなり、女性の65歳以上では「はい」の割合が「いいえ」を上回っております。



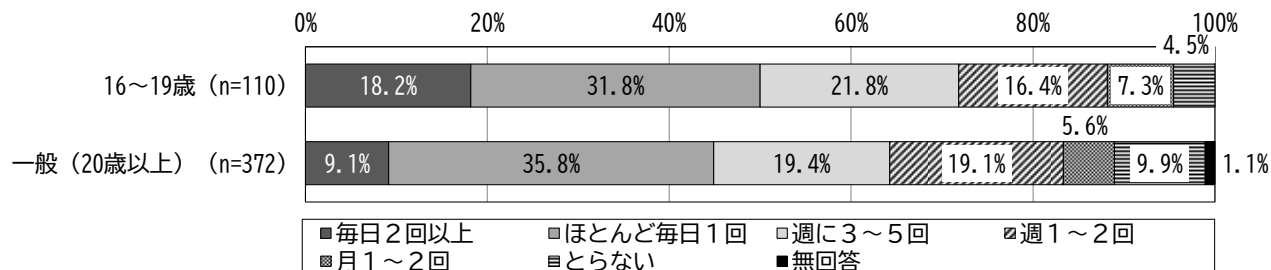
(8) 間食の状況

問 あなたは、3食のほかに間食をとりますか (○は1つ) 【16~19歳・一般】

※間食には、エネルギー (カロリー) のある飲み物や夜食も含まれます。

間食をとる頻度については、16~19歳と一般 (20歳以上) とともに「ほとんど毎日1回」が最も多く3割を超えています。

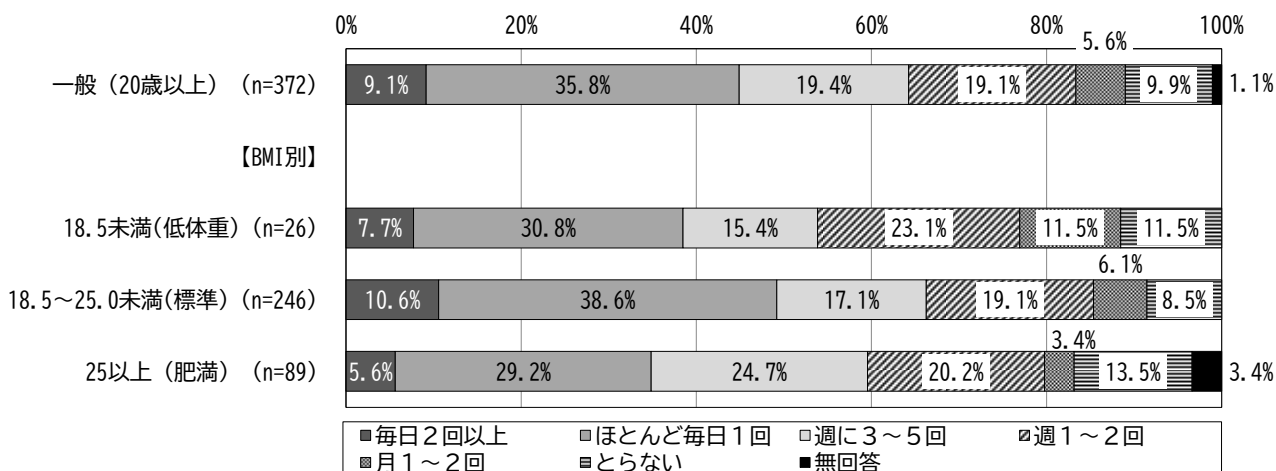
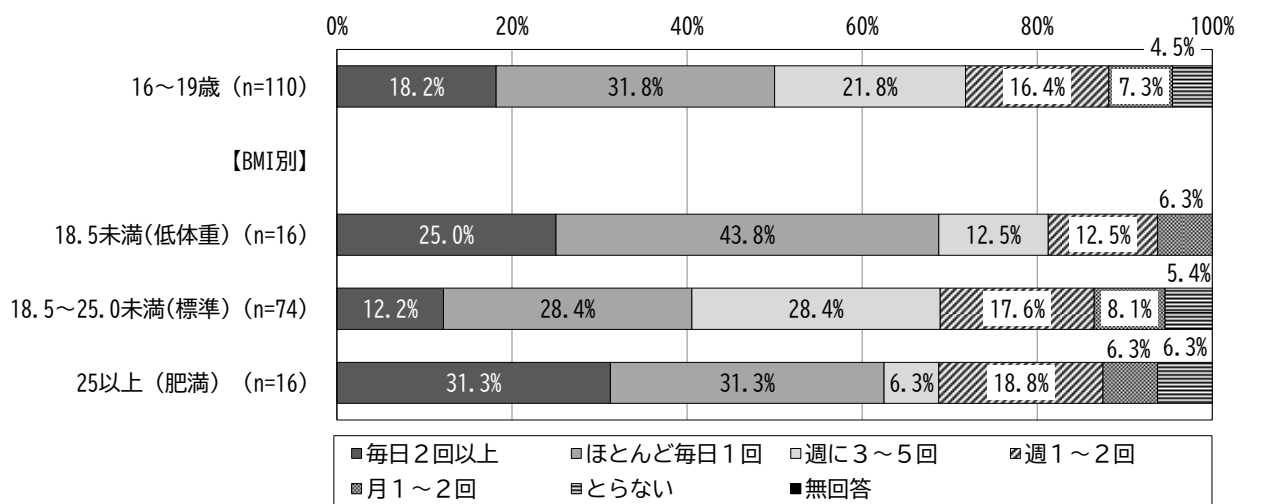
『週1回以上』間食をとっている割合は、16~19歳で88.2%、一般 (20歳以上) で83.4%となっています。



【BMI別】

BMI別にみると、16~19歳ではBMI18.5未満で「ほとんど毎日1回」が4割を超えて多くなっております。

一般 (20歳以上) では、『週1回以上』間食をとっている割合がBMI18.5~25.0未満で85.4%と最も多くなっています。



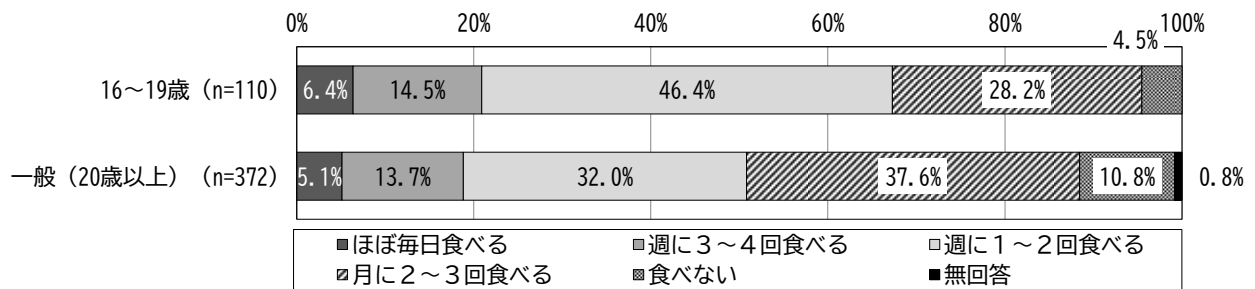
## Ⅱ. 調査結果

### (9) 外食・市販食品・ファストフードの状況

問 あなたは、ふだん外食をしたり、市販の弁当や総菜、ファストフードを食べますか。(○は1つ)【16～19歳・一般】

16～19歳の外食、市販の弁当や総菜、ファストフードを食べる頻度については、「週に1～2回食べる」が46.4%と最も多く、次いで、「月に2～3回食べる」が28.2%、「週に3～4回食べる」が14.5%となっています。

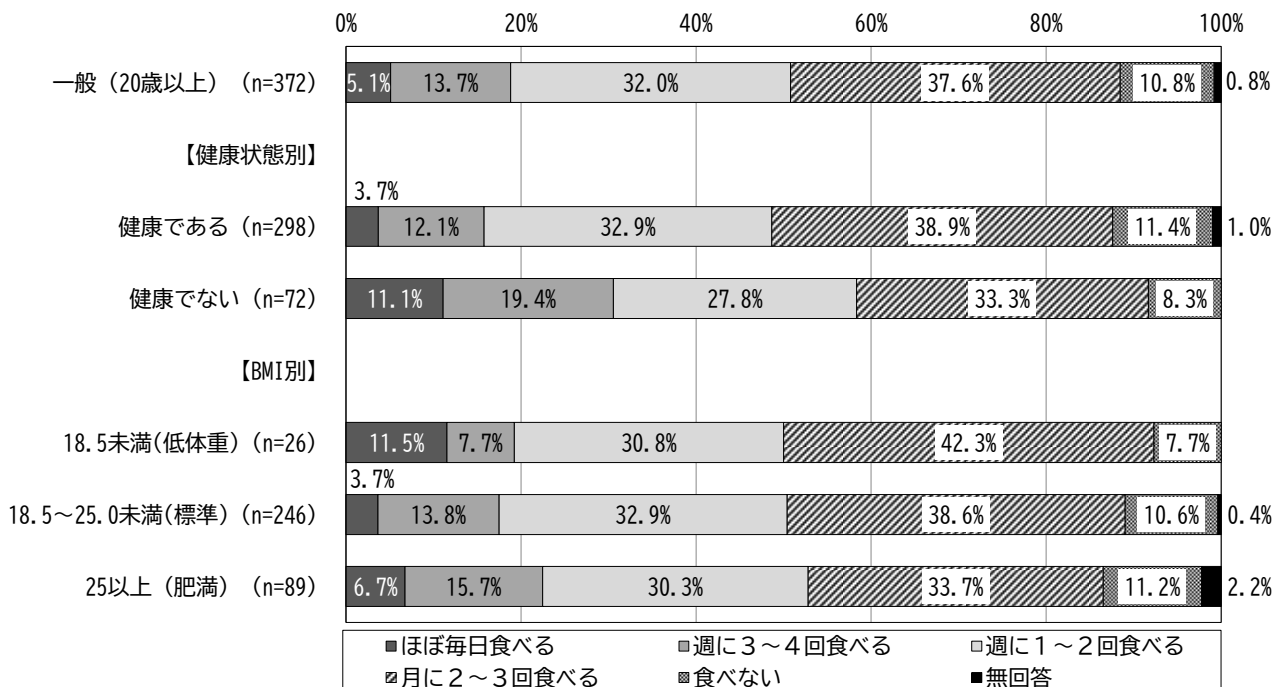
一般(20歳以上)では、「月に2～3回食べる」が37.6%と最も多く、次いで、「週に1～2回食べる」が32.0%、「週に3～4回食べる」が13.7%となっています。



#### 【健康状態別・BMI別】

一般(20歳以上)を健康状態別にみると、「ほぼ毎日食べる」で『健康でない』が11.1%に対し、『健康である』が3.7%と『健康でない』が7.4ポイント上回っています。

BMI別にみると、「ほぼ毎日食べる」と「週3～4回食べる」を合わせた『週3回以上食べる』でBMI25以上の回答者が2割と多くなっています。

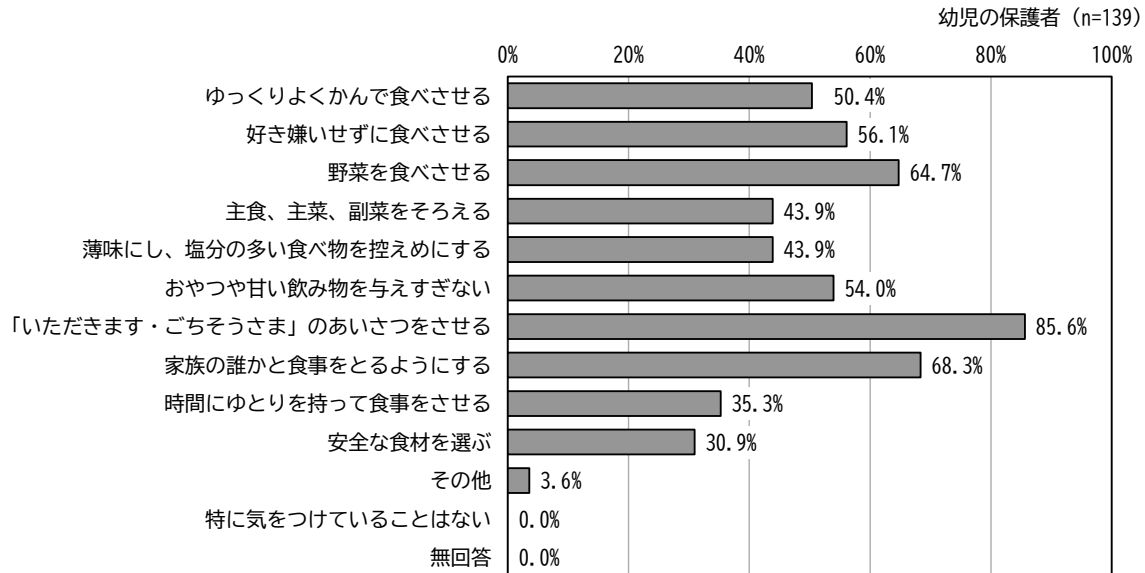


(10) 食生活で気を付けていること

問 あなたが食生活で気をつけていることは何ですか。(あてはまるものにすべて○)【幼児・小学生・中学生・16～19歳・一般】

【幼児の保護者】

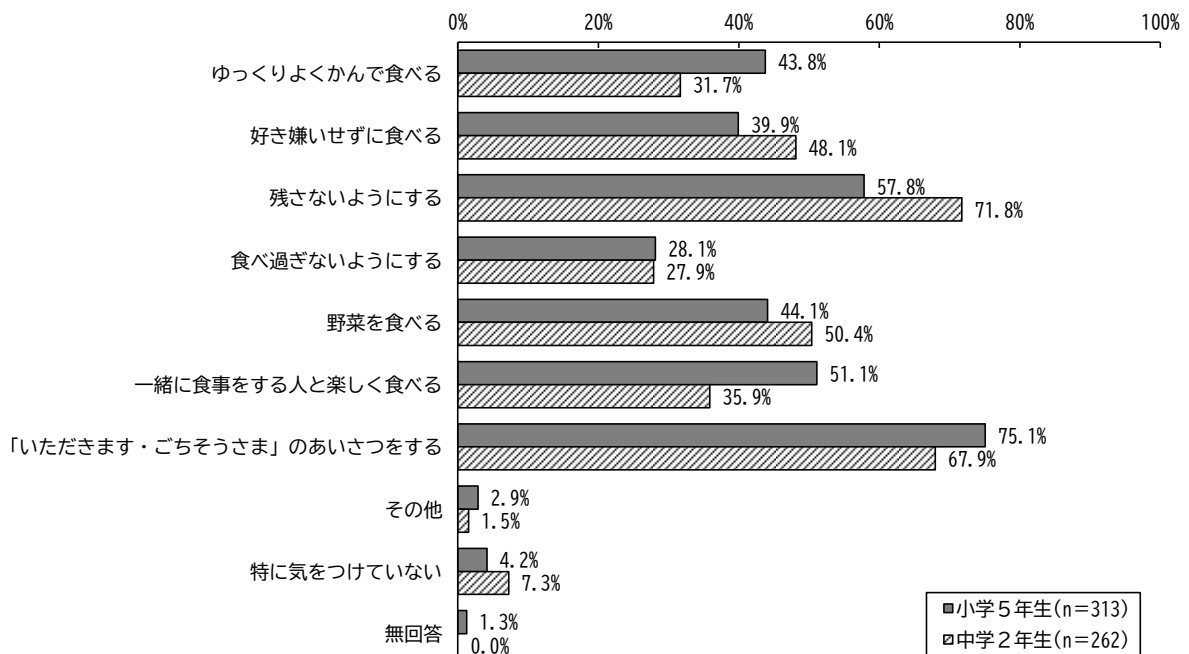
幼児の食生活で気をつけていることについては、『いただきます・ごちそうさま』のあいさつをさせる』が85.6%と最も多く、次いで、「家族の誰かと食事をするようにする」が68.3%、「野菜を食べさせる」が64.7%となっています。



【小学5年生・中学2年生】

食生活で気を付けていることについて小学生5年生では、『いただきます・ごちそうさま』のあいさつをする』が75.1%と最も多く、次いで、「残さないようにする」が57.8%、「一緒に食事をする人と楽しく食べる」が51.1%となっています。

中学2年生では、「残さないようにする」が71.8%と最も多く、次いで、『いただきます・ごちそうさま』のあいさつをする』が67.9%、「野菜を食べる」が50.4%となっています。

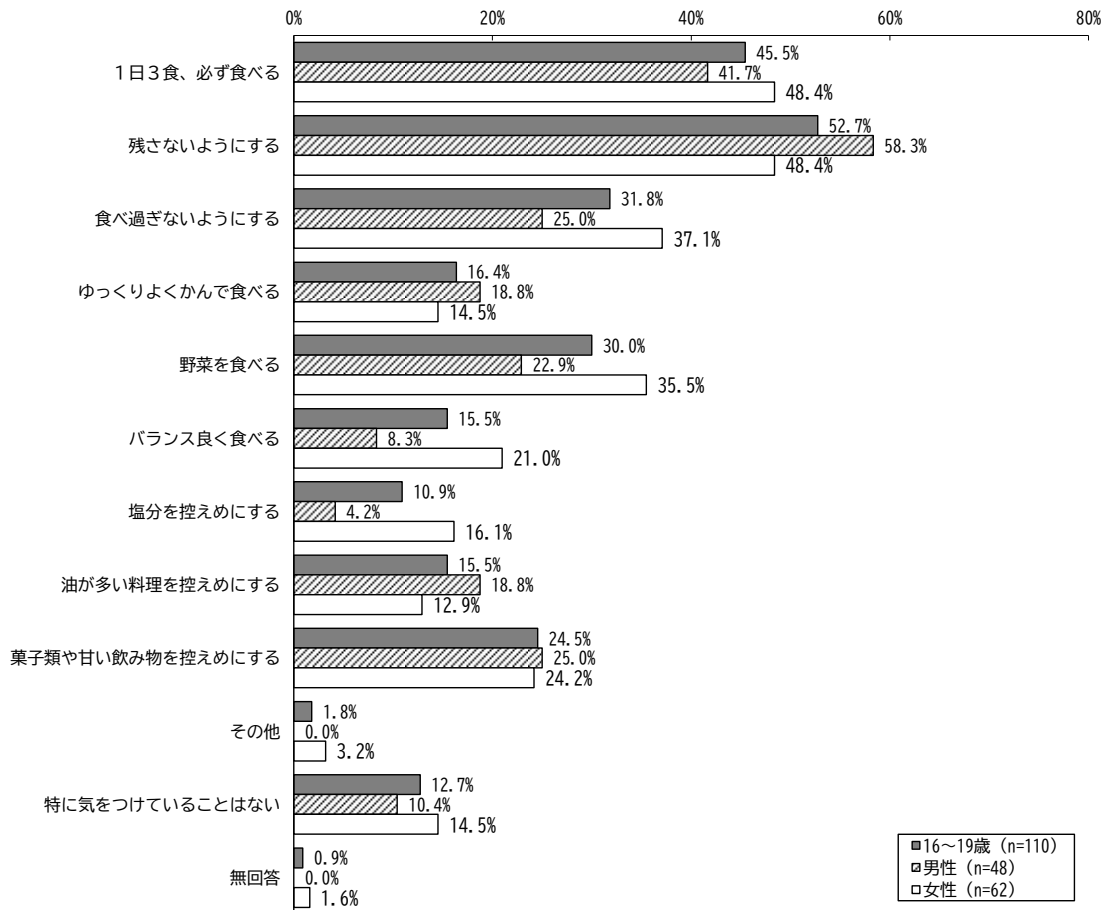


## Ⅱ. 調査結果

### 【16～19 歳】

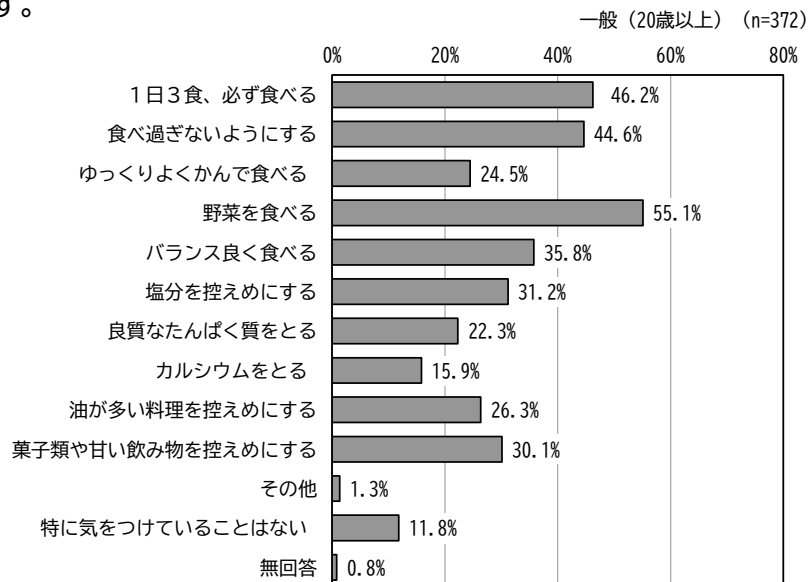
16～19歳の食生活で気をつけていることについては、「残さないようにする」が52.7%と最も多く、次いで、「1日3食、必ず食べる」が45.5%、「食べ過ぎないようにする」が31.8%となっています。

性別にみると、「食べ過ぎないようにする」、「野菜を食べる」、「バランス良く食べる」、「塩分を控える」の割合が男性より女性の方が多くなっており、女性の方が健康に気をつける食生活をしている傾向となっています。



### 【一般 (20 歳以上)】

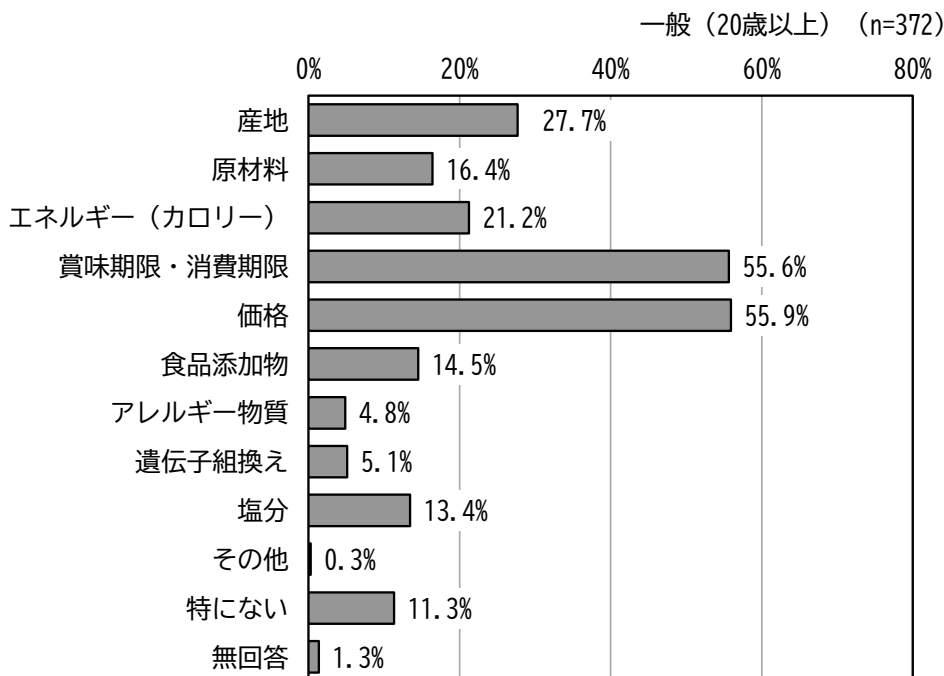
一般 (20 歳以上) の食生活で気をつけていることについては、「野菜を食べる」が55.1%と最も多く、次いで、「1日3食、必ず食べる」が46.2%、「食べ過ぎないようにする」が44.6%となっています。



(11) 食品選びで気をつけていること

問 あなたが食品を選ぶときに気をつけていることは何ですか。(〇は3つまで)【一般】

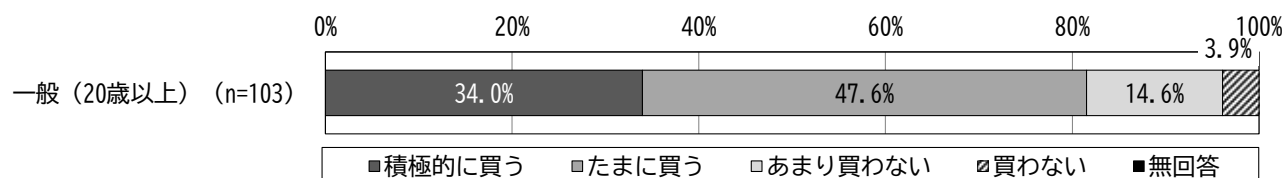
一般(20歳以上)の食品を選ぶときに気をつけていることについては、「価格」が55.9%と最も多く、次いで、「賞味期限・消費期限」が55.6%、「産地」が27.7%となっています。



「産地」を選択した方のみ回答

問 杉戸町や周辺地域の食材・特産物が売っていた場合、積極的に買いますか。(〇は1つ)【一般】

一般(20歳以上)の杉戸町や周辺地域の食材・特産物が売っていた場合、積極的に買うかについては、「積極的に買う」、「たまに買う」を合わせた『買う』が81.6%に対し、「あまり買わない」、「買わない」を合わせた『買わない』が18.5%となっています。



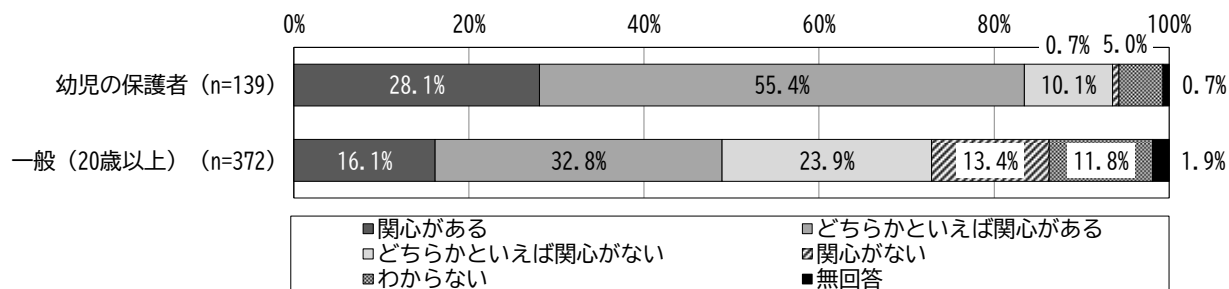
## Ⅱ. 調査結果

### (12) 「食育」への関心

問 あなたは「食育」に関心がありますか。(○は1つ)【幼児・一般】

「食育」への関心度について幼児の保護者では、「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」を合わせた『関心がある』が83.5%に対し、「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」を合わせた『関心がない』が10.8%となっています。

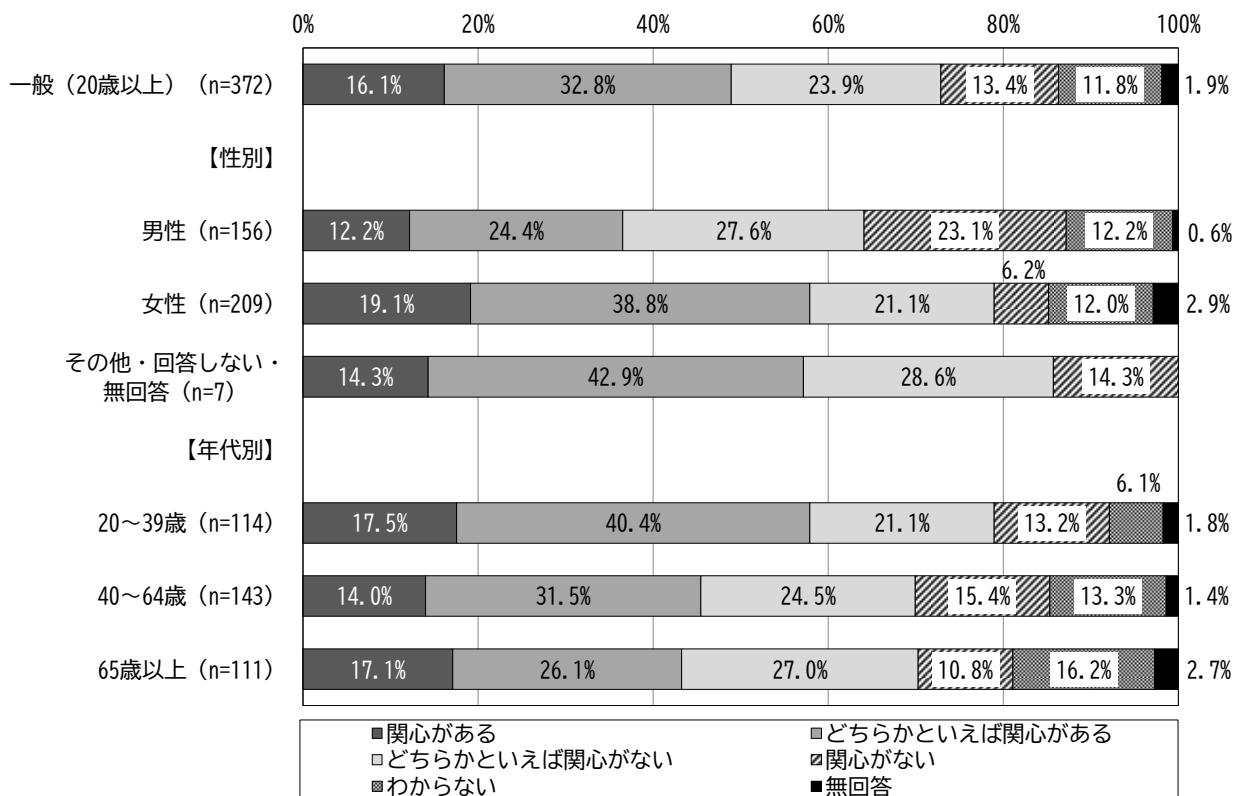
一般(20歳以上)では、『関心がある』が48.9%に対し、『関心がない』が37.3%となっています。



#### 【性別・年代別】

一般(20歳以上)で性別にみると、『関心がある』の女性が57.9%となっており、男性の36.6%を上回っています。

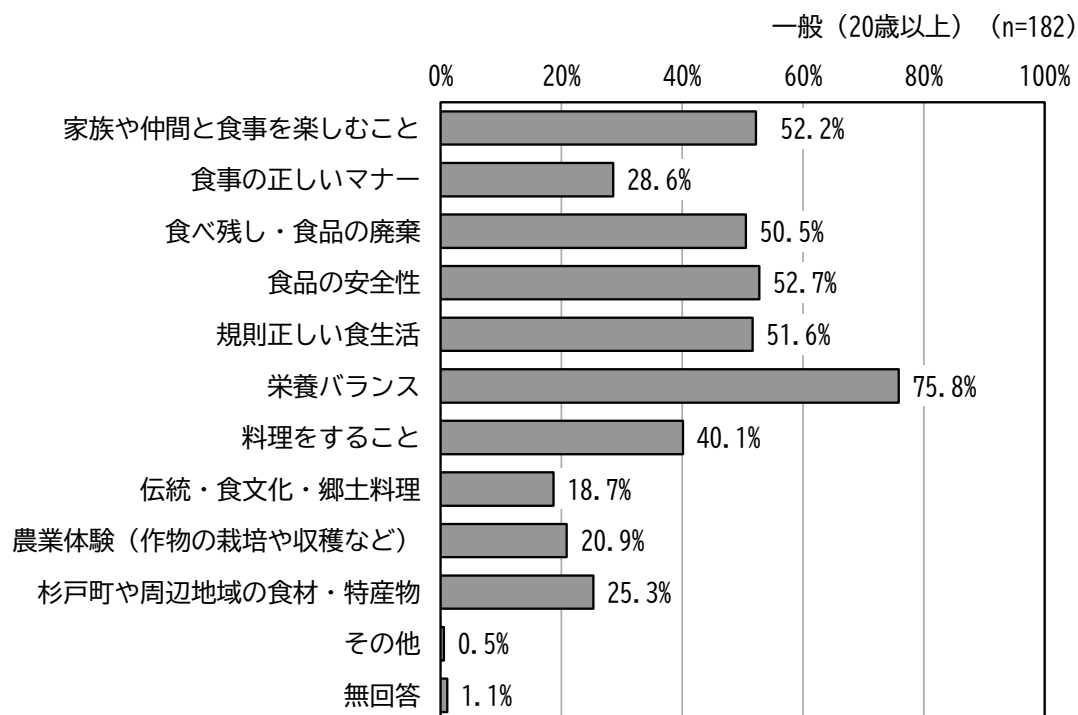
年代別にみると、『関心がある』の20~39歳が57.9%と最も多く、年代が上がるにつれて割合が少なくなる傾向となっています。



「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」のいずれかを選択した方のみ回答

問 あなたが食育について、関心がある内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)  
【一般】

一般（20歳以上）の食育に関心がある内容については、「栄養バランス」が75.8%と最も多く、次いで、「食品の安全性」が52.7%、「家族や仲間と食事を楽しむこと」が52.2%となっています。



## Ⅱ. 調査結果

### 4. 運動について

#### (1) 健康維持・増進のための運動意識

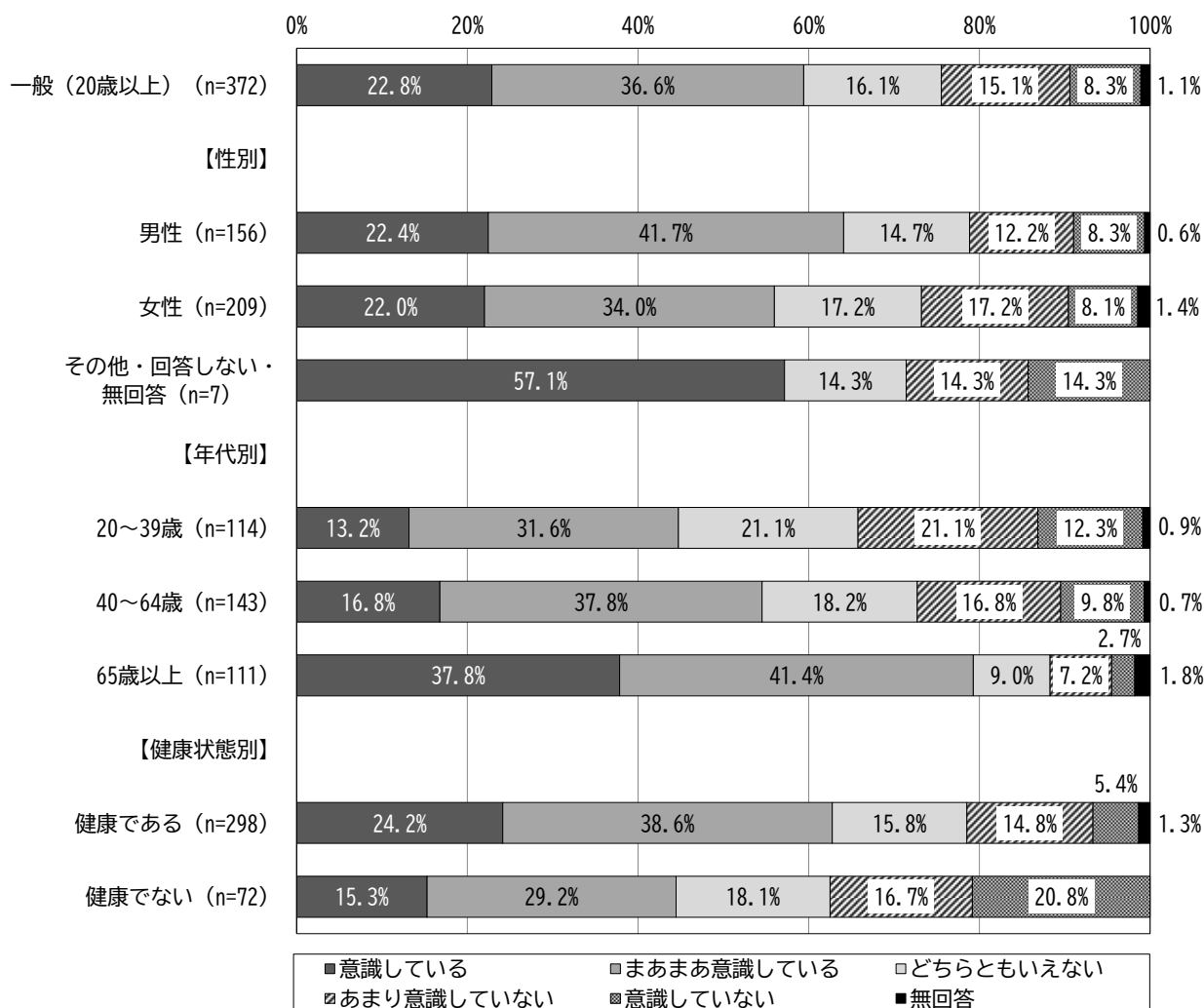
問 あなたはふだん、健康の維持増進のために意識して身体を動かすようにしていますか。(○は1つ)  
【一般】

一般(20歳以上)の健康の維持増進のための運動については、「意識している」、「まあまあ意識している」を合わせた『意識して運動している』が59.4%に対し、「あまり意識していない」、「意識していない」を合わせた『意識して運動していない』が23.4%となっています。

性別にみると、男女ともに『意識して運動している』が高く5割を超えています。

年代別にみると、年代が上がるにつれて『意識して運動している』が多くなり、65歳以上では8割近くとなっています。

健康状態別にみると、『意識して運動している』が『健康である』で62.8%、『健康でない』で44.5%となっており、『健康である』が18.3ポイント上回っています。

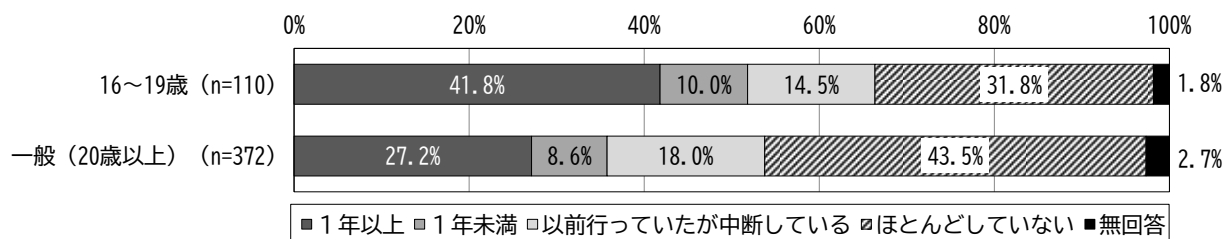


(2) 運動の状況

問 週に2回以上、1回30分以上の息がはずむ程度の運動をどのくらい続けていますか。(〇は1つ)  
【16～19歳・一般】

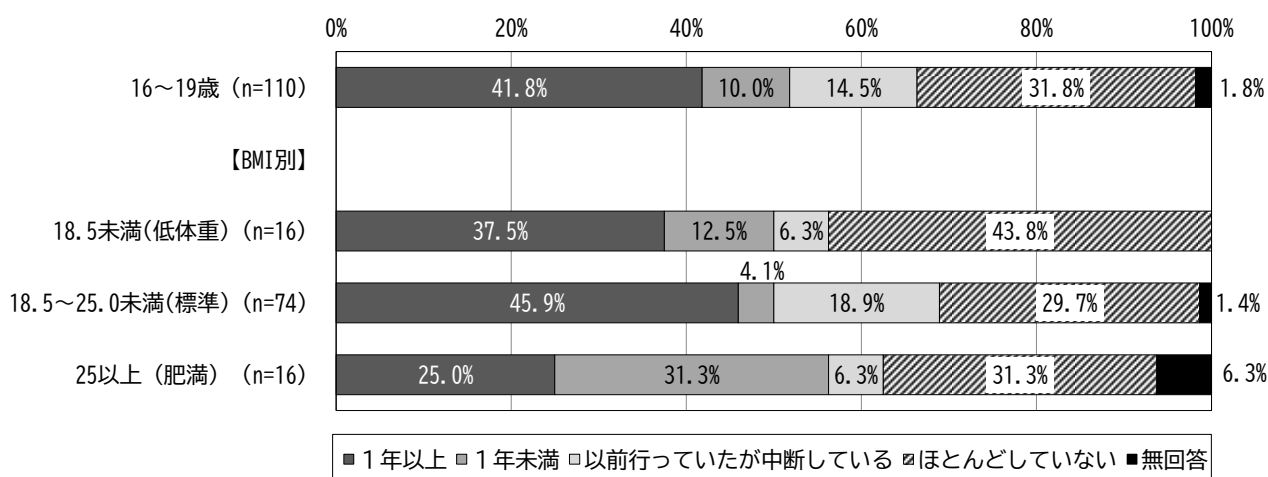
16～19歳の運動状況については、「1年以上」が41.8%と最も多く、次いで、「ほとんどしていない」が31.8%、「以前行っていたが中断している」が14.5%となっています。

一般(20歳以上)では、「ほとんどしていない」が43.5%と最も多く、次いで、「1年以上」が27.2%、「以前行っていたが中断している」が18.0%となっています。



【16～19歳 BMI別】

16～19歳をBMI別にみると、「ほとんどしていない」の割合がBMI18.5未満で43.8%と最も多くなっていますが、「1年以上」の割合も3割を超えて多くなっています。



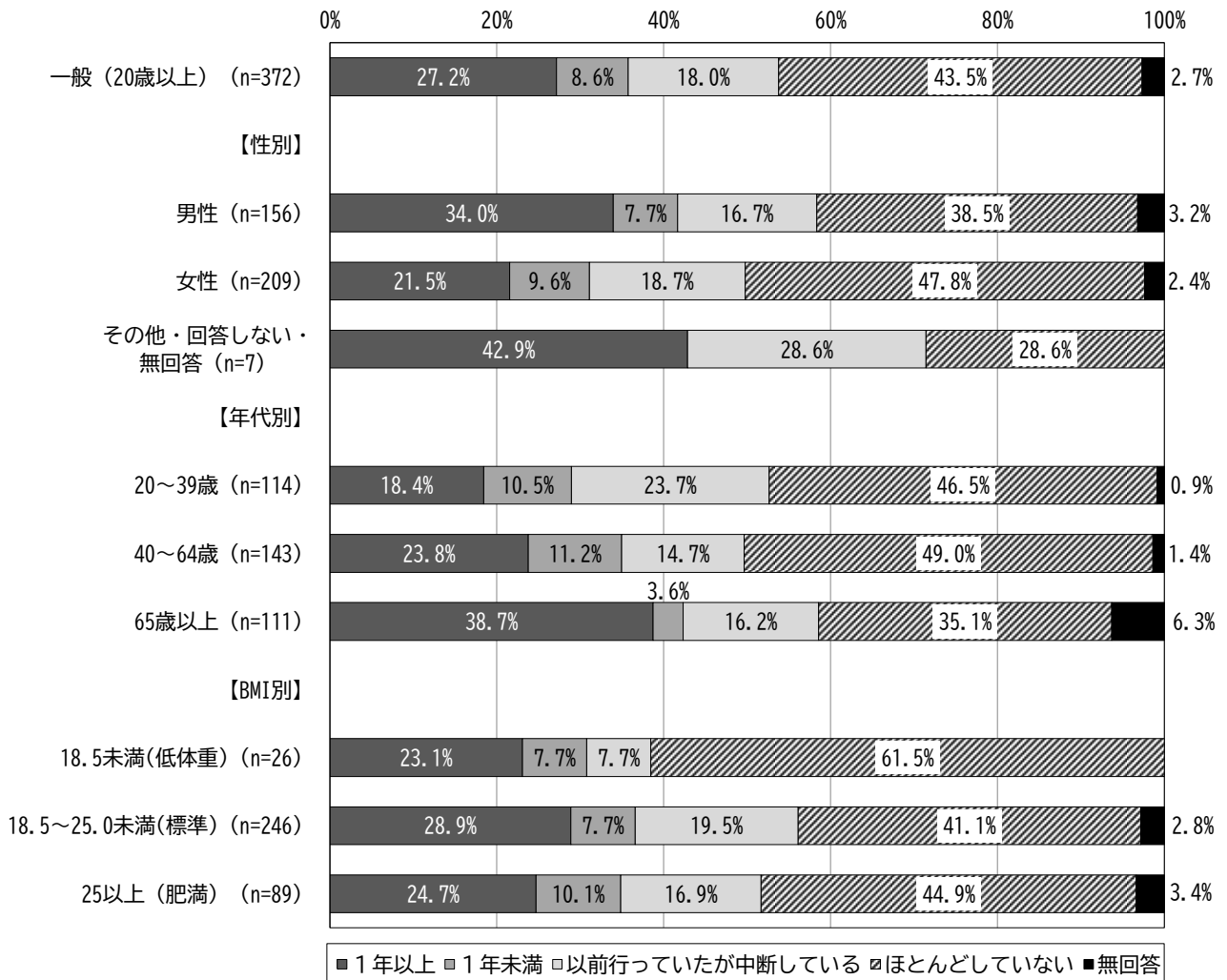
## Ⅱ. 調査結果

### 【一般 性別・年代別・BMI別】

一般（20歳以上）を性別にみると、「1年以上」と「1年未満」を合わせた割合が男性が女性を上回っています。また「ほとんどしていない」の割合が男性で38.5%、女性で47.8%と最も多くなっています。

年代別にみると、「1年以上」が65歳以上で38.7%と最も多く、年代が上がるにつれて割合が多くなっています。

BMI別にみると、BMI18.5未満で「ほとんどしていない」が6割を超えています。

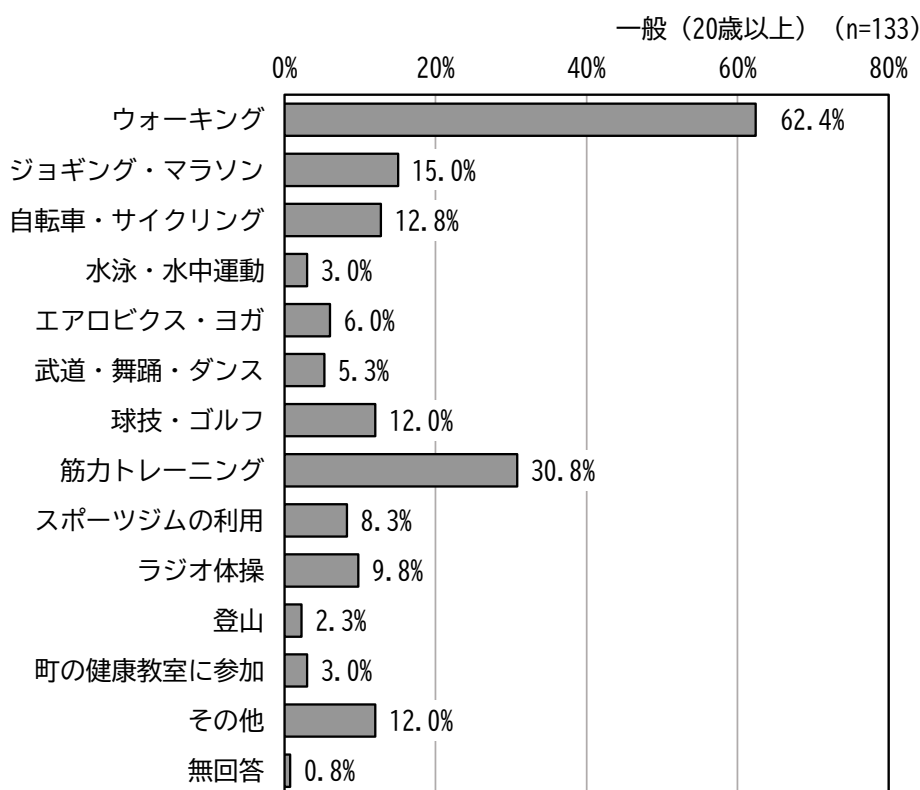
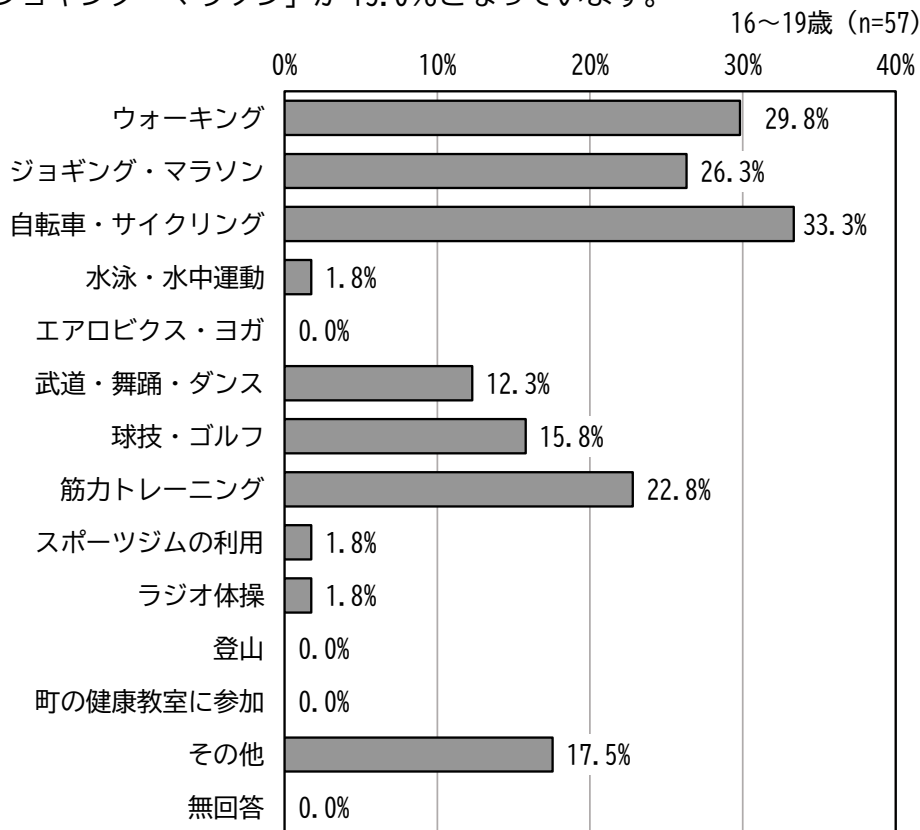


運動を続けている期間で「1年以上」、「1年未満」のいずれかを選択した方のみ回答

問 あなたはふだん、どのような運動をしていますか。(〇は3つまで)【16~19歳・一般】

16~19歳のふだんの運動については、「自転車・サイクリング」が33.3%と最も多く、次いで、「ウォーキング」が29.8%、「ジョギング・マラソン」が26.3%となっています。

一般(20歳以上)では、「ウォーキング」が62.4%と最も多く、次いで、「筋力トレーニング」が30.8%、「ジョギング・マラソン」が15.0%となっています。



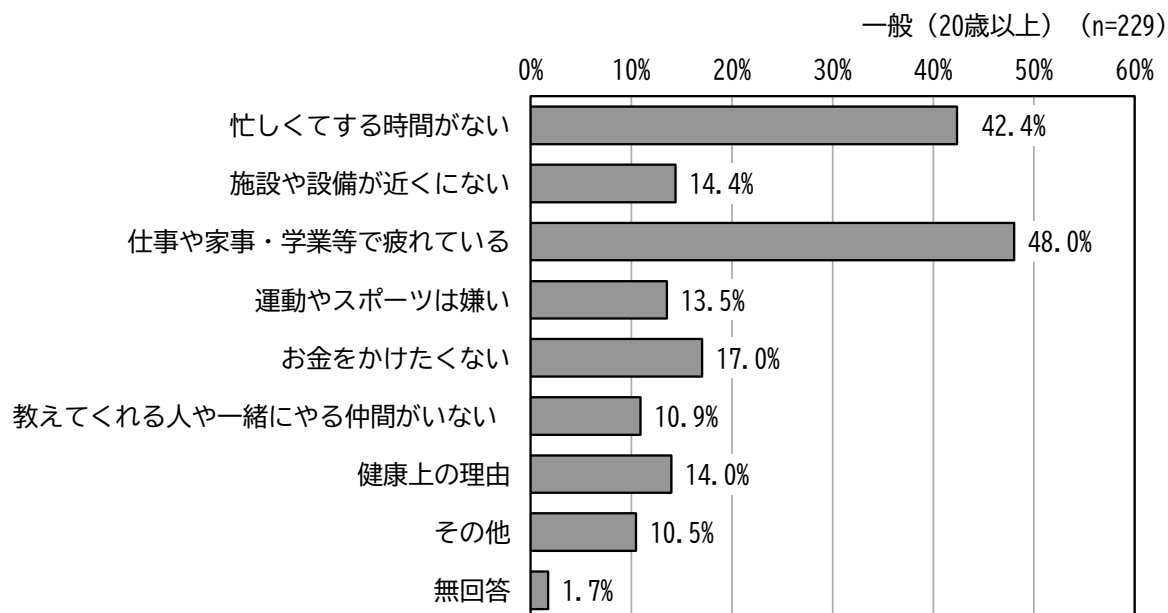
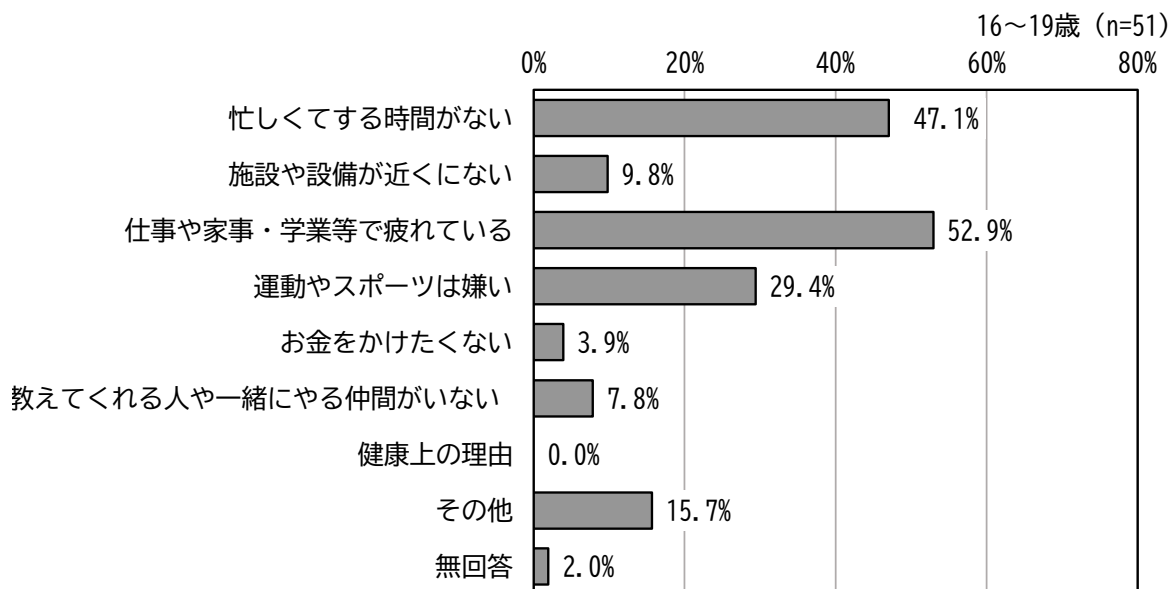
## Ⅱ. 調査結果

運動を「以前行っていたが中断している」、「ほとんどしていない」のいずれかを選択した方のみ回答

問 運動をほとんどしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【16～19歳・一般】

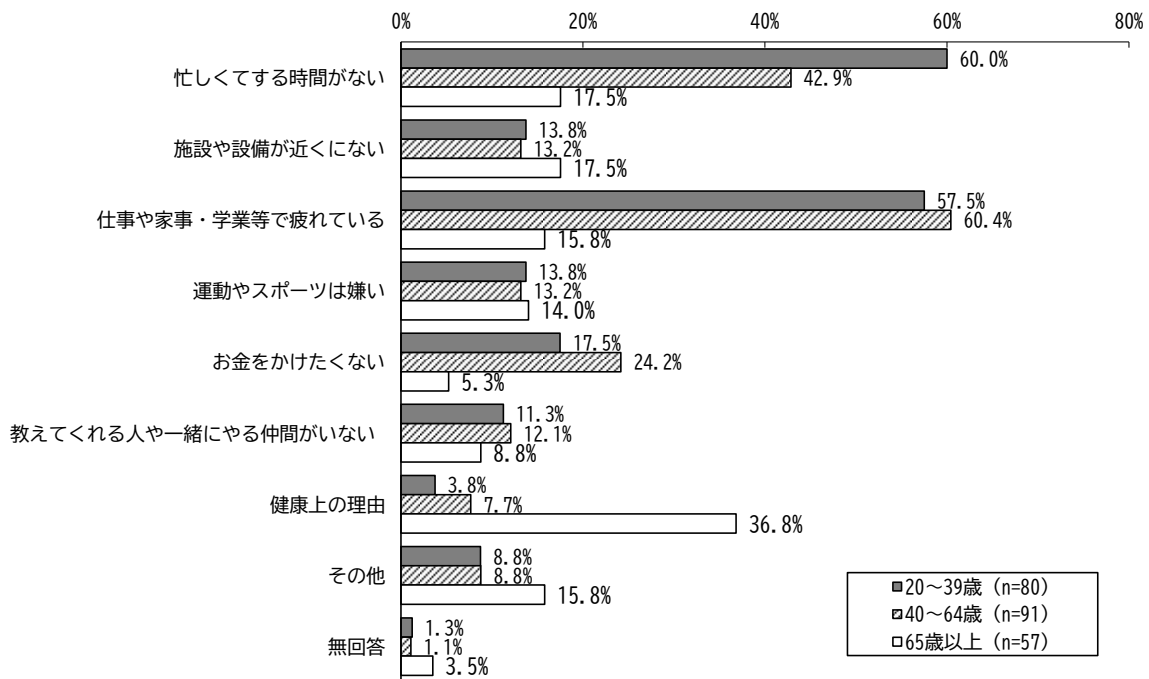
16～19歳で運動をほとんどしていない理由については、「仕事や家事・学業等で疲れている」が52.9%と最も多く、次いで、「忙しくてする時間がない」が47.1%、「運動やスポーツは嫌い」が29.4%となっています。

一般(20歳以上)では、「仕事や家事・学業等で疲れている」が48.0%と最も多く、次いで、「忙しくてする時間がない」が42.4%、「お金をかけたくない」が17.0%となっています。



【年代別】

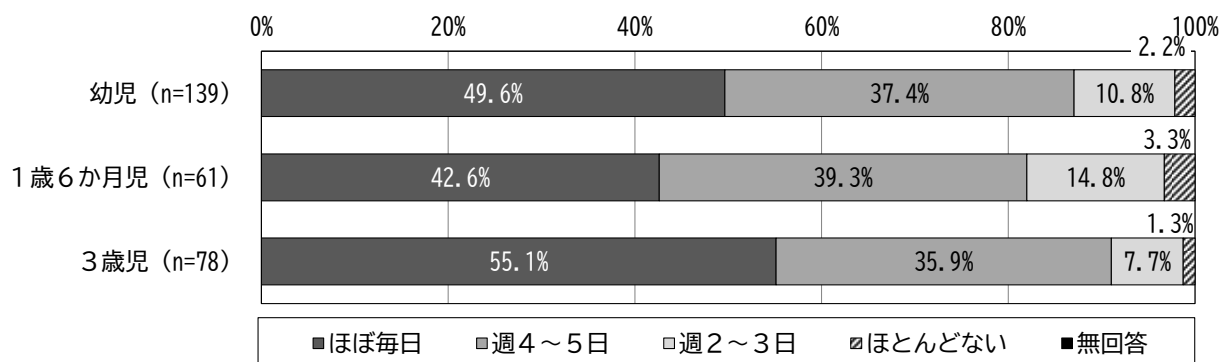
一般（20歳以上）を年代別にみると、64歳以下は「忙しくてする時間がない」、「仕事や家事・学業等で疲れている」の割合が多く、65歳以上では「健康上の理由」の割合が多くなっています。



問 お子さんは、どのくらいの頻度で外で遊んだり体を動かしたりしていますか。(○は1つ)【幼児】

幼児がどのくらいの頻度で外で遊んだり体を動かしたりしているかについては、「ほぼ毎日」が49.6%と最も多く、次いで、「週4～5日」が37.4%、「週2～3日」が10.8%となっています。

年齢別にみると、「ほぼ毎日」、「週4～5日」を合わせた週の半分以上体を動かしている割合が、1歳6か月児は8割に対し3歳児は9割と1歳6か月児を上回っています。

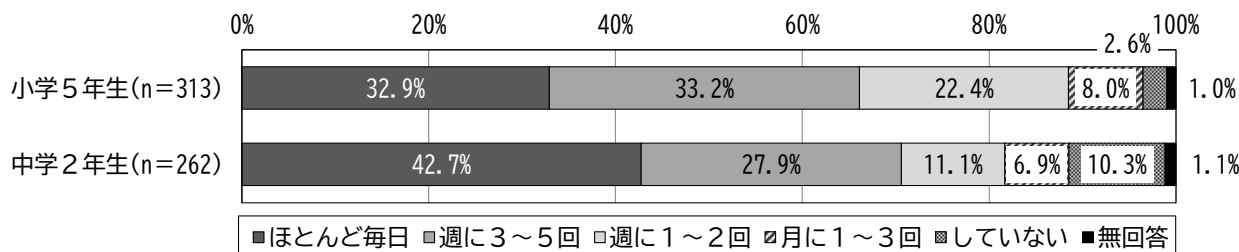


## Ⅱ. 調査結果

問 あなたは、授業以外でどのくらい運動や体を動かす遊びをしていますか。(○は1つ)【小学生・中学生】

小学生5年生の授業以外の運動の頻度については、「週に3～5回」が33.2%と最も多く、次いで、「ほとんど毎日」が32.9%、「週に1～2回」が22.4%となっています。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が42.7%と最も多く、次いで、「週に3～5回」が27.9%、「週に1～2回」が11.1%となっています。



### (3) ロコモティブシンドロームの認知度

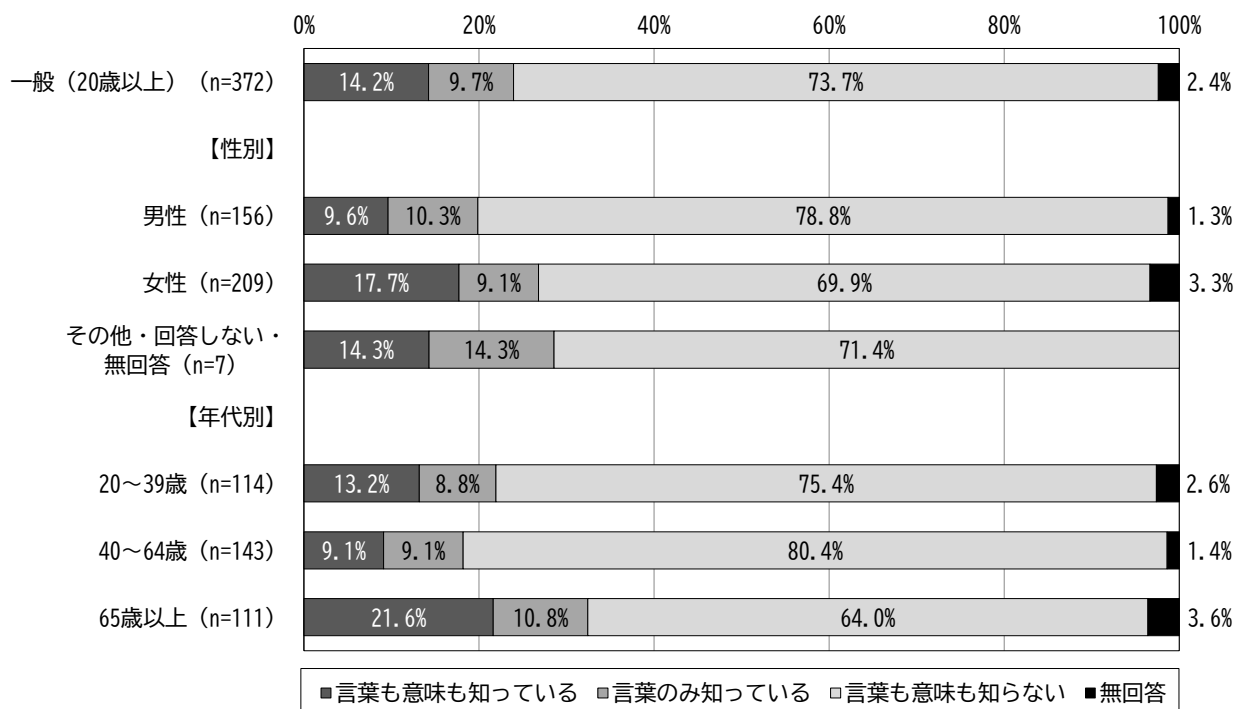
問 あなたは、「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」※という言葉やその意味を知っていますか。(○は1つ)【一般】

※ロコモティブシンドローム(運動器症候群)とは・・・骨や関節、筋肉など運動器の衰えが原因で、歩行や立ち座りなどの日常生活に障害を来している状態のことをいい、進行すると要介護や寝たきりになるリスクが高くなります。

一般(20歳以上)の「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」の認知度については、「言葉も意味も知らない」が73.7%と最も多く、次いで、「言葉も意味も知っている」が14.2%、「言葉のみ知っている」が9.7%となっています。

性別にみると、「言葉も意味も知っている」で女性が17.7%と男性より8.1ポイント上回っています。

年代別にみると、「言葉も意味も知っている」は65歳以上で21.6%と各年代の中で最も多くなっています。「言葉も意味も知らない」はすべての年代で6割を超えています。



## 5. 歯や口腔の健康について

### (1) 歯の本数

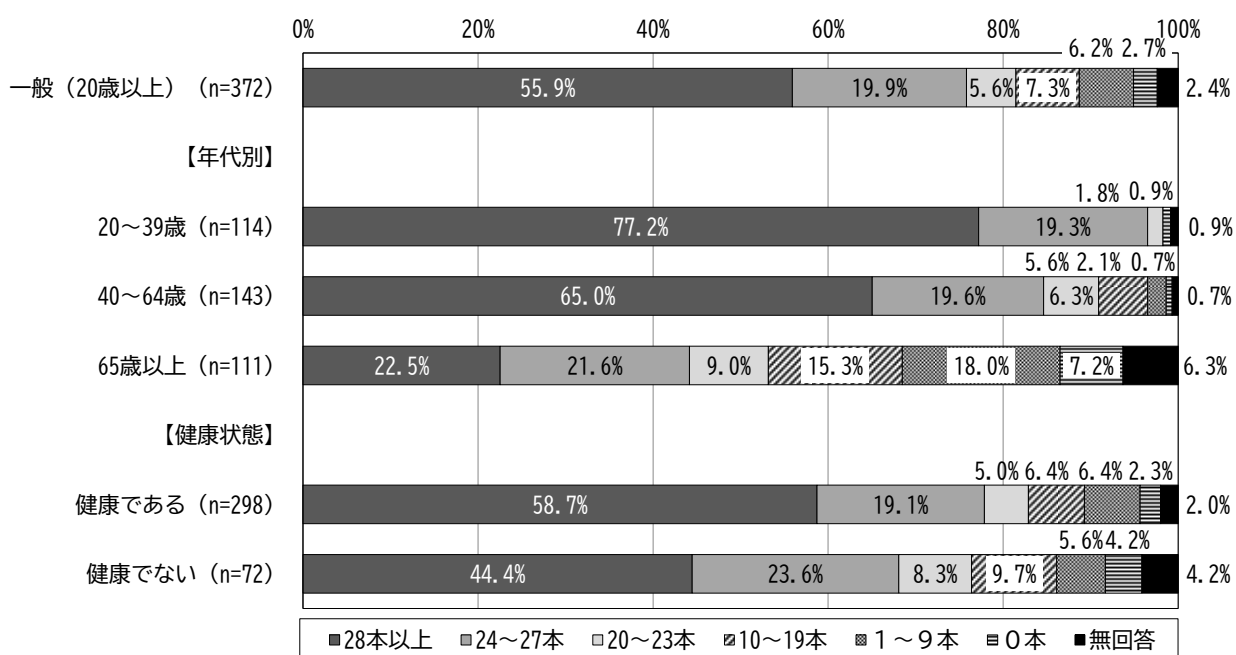
**問 現在残っているご自分の歯は、入れ歯、ブリッジを除いて全部で何本ですか。(〇は1つ)【一般】**

※永久歯は全部残っていれば 32 本あります。

一般 (20 歳以上) の残っている歯の本数については、「28 本以上」が 55.9%と最も多く、次いで、「24～27 本」が 19.9%、「10～19 本」が 7.3%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれて歯の本数が少ない割合が多くなる傾向となっており、「20 本以下」は 65 歳以上で 40.5%と 4 割を占めています。

健康状態別にみると、『健康である』が『健康でない』より歯の本数が多い割合が多くなっています。



## Ⅱ. 調査結果

### (2) 歯みがきの回数

問 1日に何回歯をみがいていますか。(○は1つ)【幼児・小学生・中学生・16～19歳・一般】

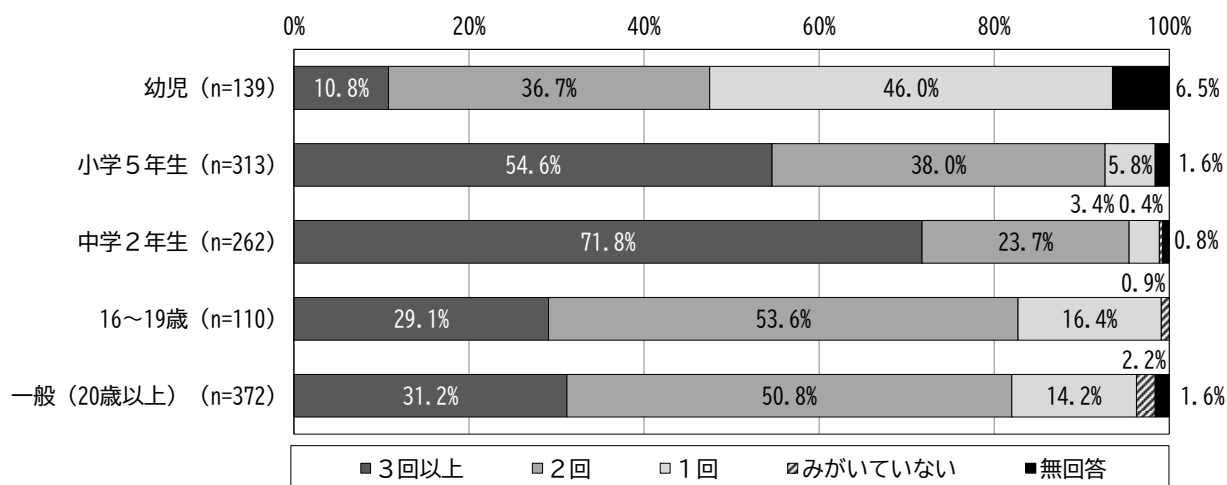
幼児の1日の歯磨き回数については、「1回」が46.0%と最も多く、次いで、「2回」が36.7%、「3回以上」が10.8%となっています。

小学5年生では、「3回以上」が54.6%と最も多く、次いで、「2回」が38.0%、「1回」が5.8%となっています。

中学2年生では、「3回以上」が71.8%と最も多く、次いで、「2回」が23.7%、「1回」が3.4%となっています。

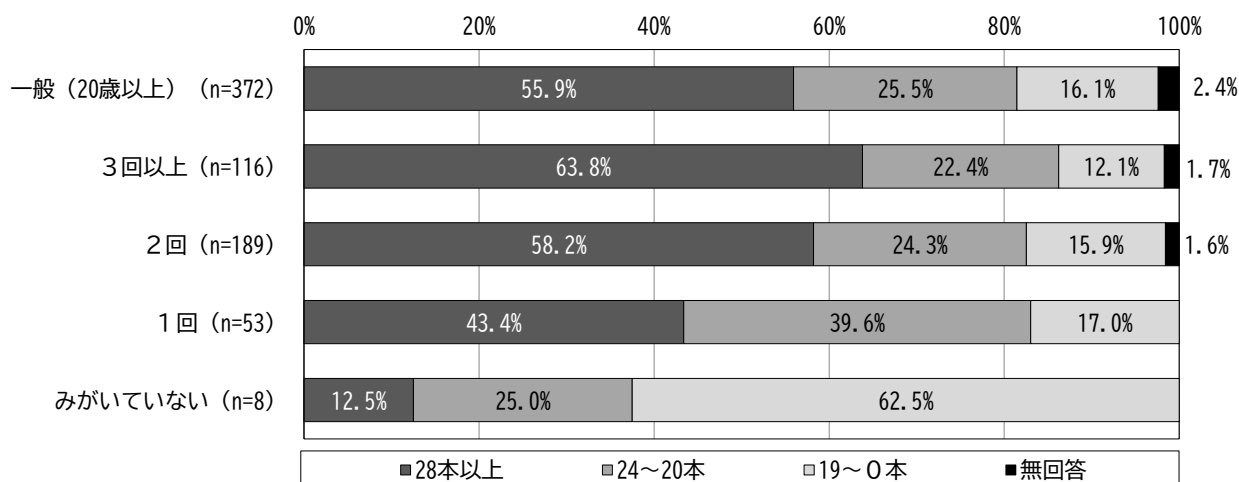
16～19歳では、「2回」が53.6%と最も多く、次いで、「3回以上」が29.1%、「1回」が16.4%となっています。

一般(20歳以上)では、「2回」が50.8%と最も多く、次いで、「3回以上」が31.2%、「1回」が14.2%となっています。



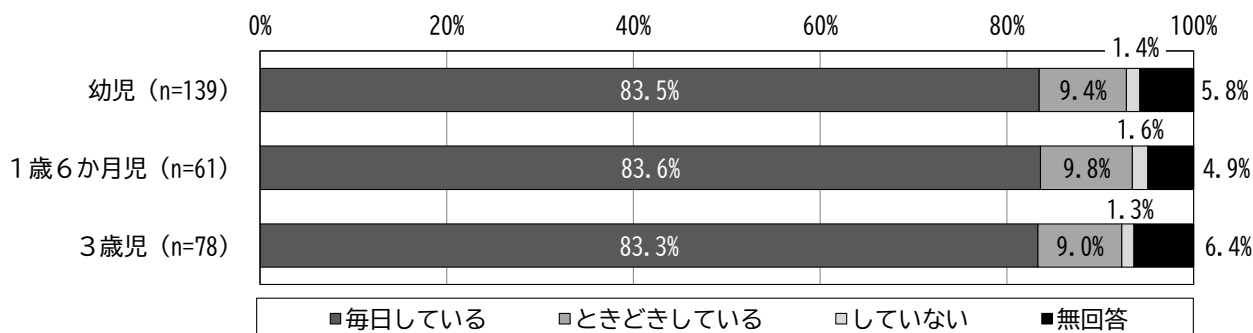
### 【歯みがきの回数別歯の本数】

一般(20歳以上)の歯みがき回数別に歯の本数をみると、歯をみがく回数が多いほど、残っている歯の本数が多い傾向にあります。



**問 あなたは、お子さんが歯みがきをした後、仕上げみがきをしていますか。(○は1つ)【幼児】**

幼児保護者の歯みがきをした後の仕上げみがきについては、「毎日している」が83.5%と最も多く、次いで、「ときどきしている」が9.4%、「していない」が1.4%となっています。  
年齢別にみると、1歳6か月児と3歳児ともに「毎日している」が8割を超えています。



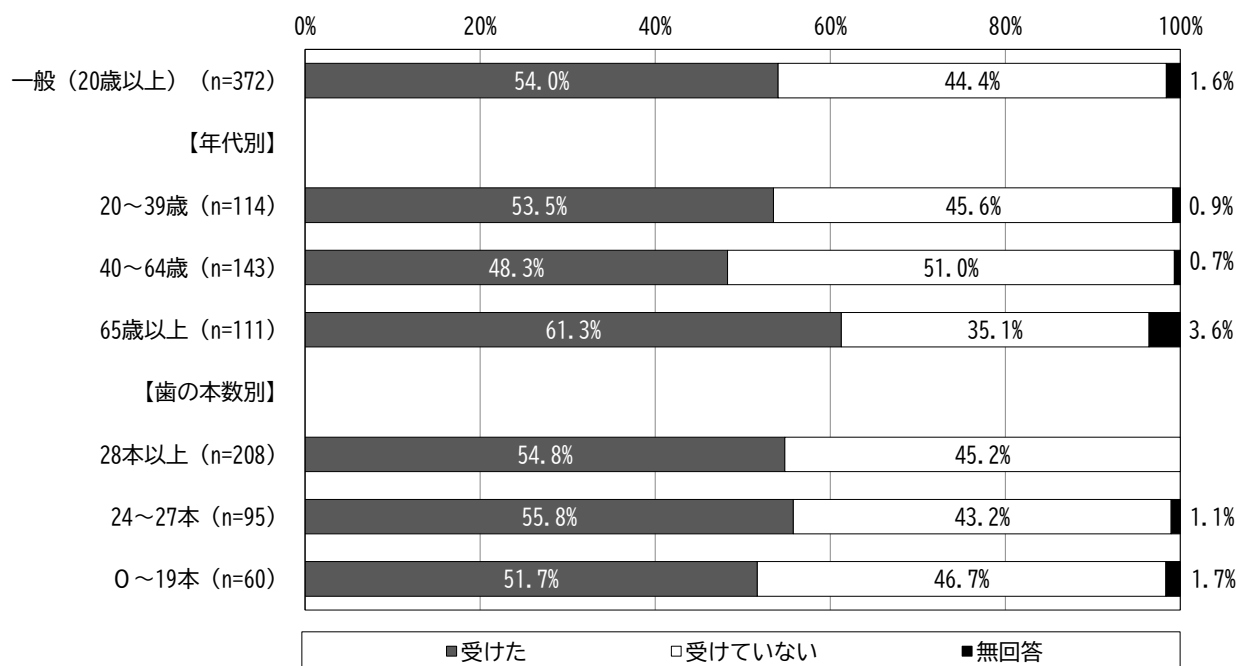
**(3) 歯科検診の受診状況**

**問 あなたはこの1年間に、歯科検診を受けましたか。(○は1つ)【一般】**

一般(20歳以上)の過去1年間の歯科検診の受診状況については、「受けた」が54.0%に対し、「受けていない」が44.4%となっています。

年代別にみると、20~39歳と65歳以上では「受けた」の割合が「受けていない」の割合を上回っていますが、40~64歳で「受けていない」が「受けた」を2.7ポイント上回っています。

歯の本数別にみると、「受けた」の割合で0~19本が他本数と比べて最も少なくなっています。

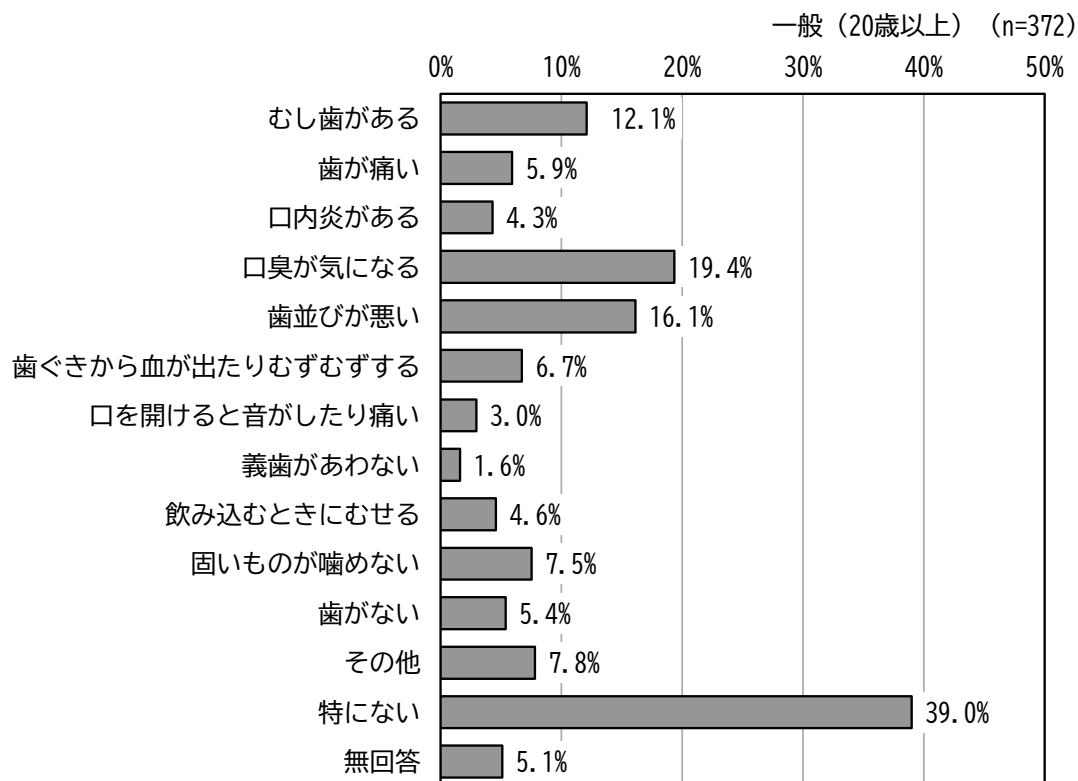


## Ⅱ. 調査結果

### (4) 口腔内の状態

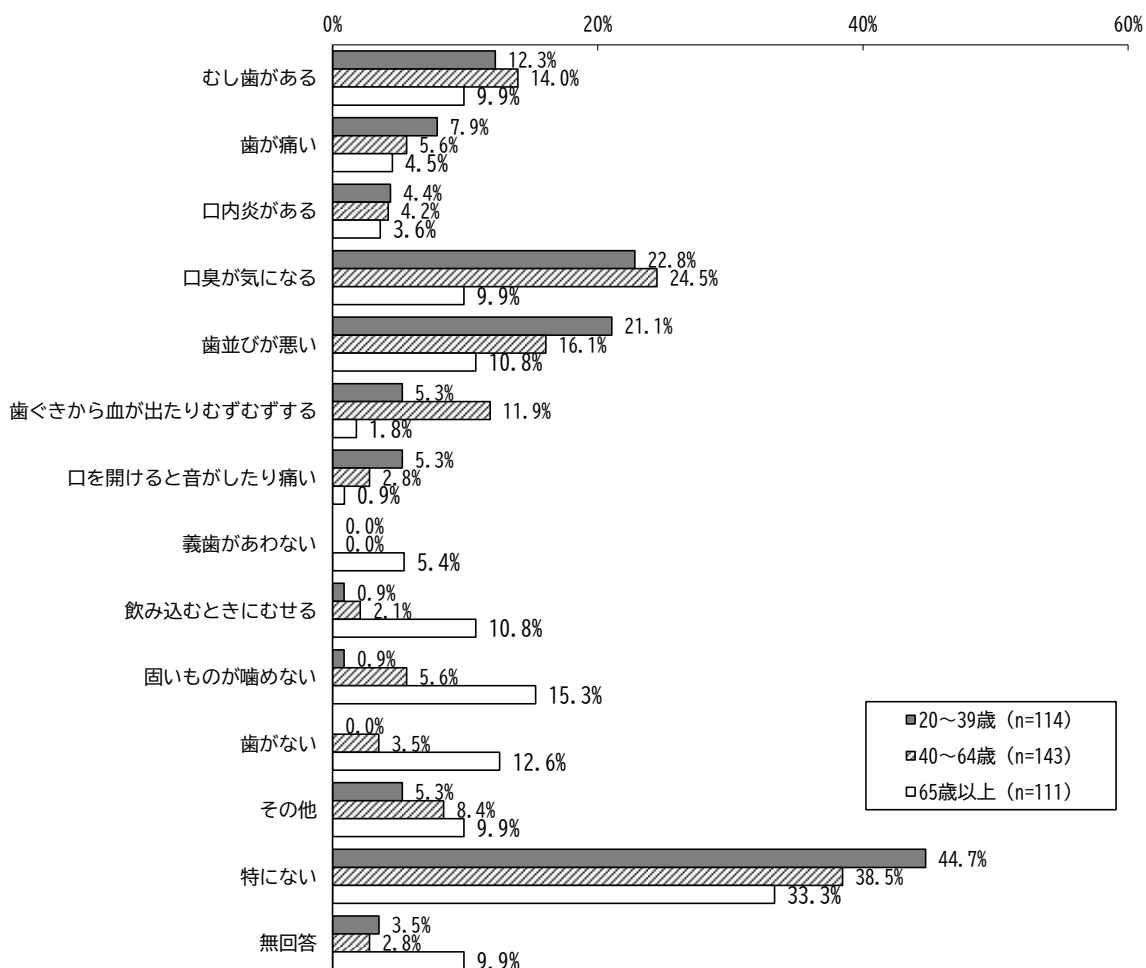
問 現在、口腔内（口の中）の状況で心配なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）【一般】

一般（20歳以上）の歯や口の状況について心配なことについては、「特にない」が39.0%と最も多く、次いで、「口臭が気になる」が19.4%、「歯並びが悪い」が16.1%となっています。



【年代別】

年代別にみると、64歳以下では「口臭が気になる」、「歯並びが悪い」の割合が多く、65歳以上では「固いものが噛めない」、「歯がない」、「飲み込むときにむせる」、「歯並びが悪い」の割合が多くなっています。

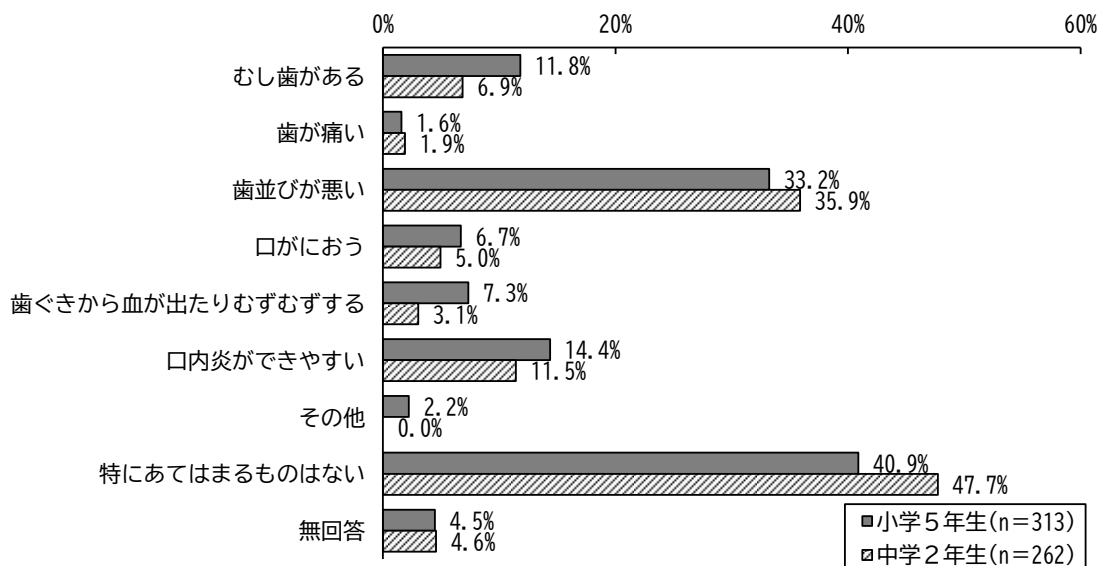


## Ⅱ. 調査結果

問 あなたの歯や口の状態であてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)【小学生・中学生・16～19歳】

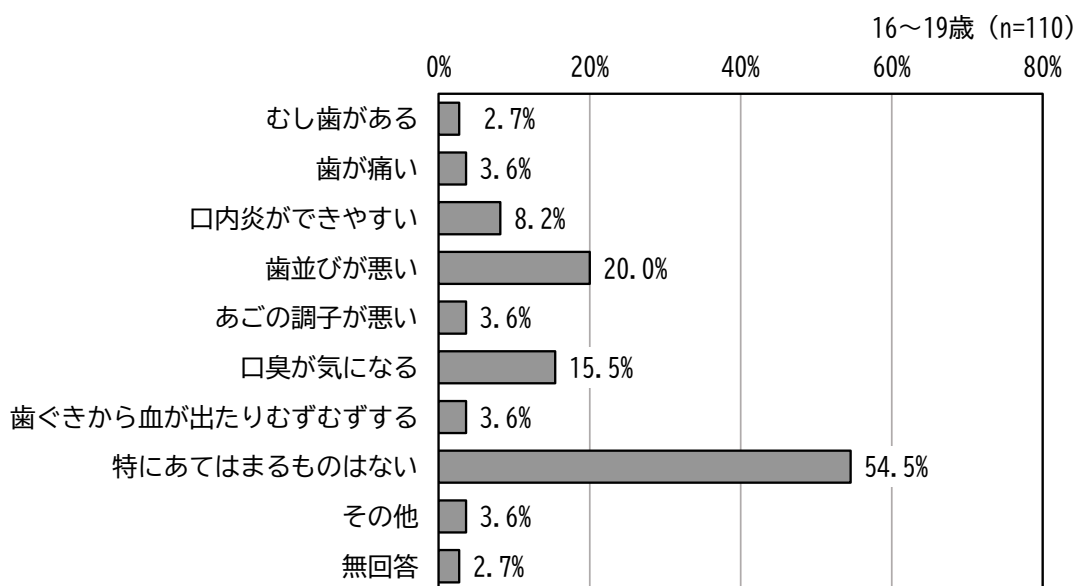
【小学5年生・中学2年生】

歯や口の状態について小学5年生、中学2年生ともに同様の傾向となっており、いずれも「歯並びが悪い」が3割超え、「口内炎がしやすい」が1割を超えています。



【16～19歳】

16～19歳の歯や口の状態については、「歯並びが悪い」が20.0%、「口臭が気になる」が15.5%と多くなっています。



## 6. 飲酒について

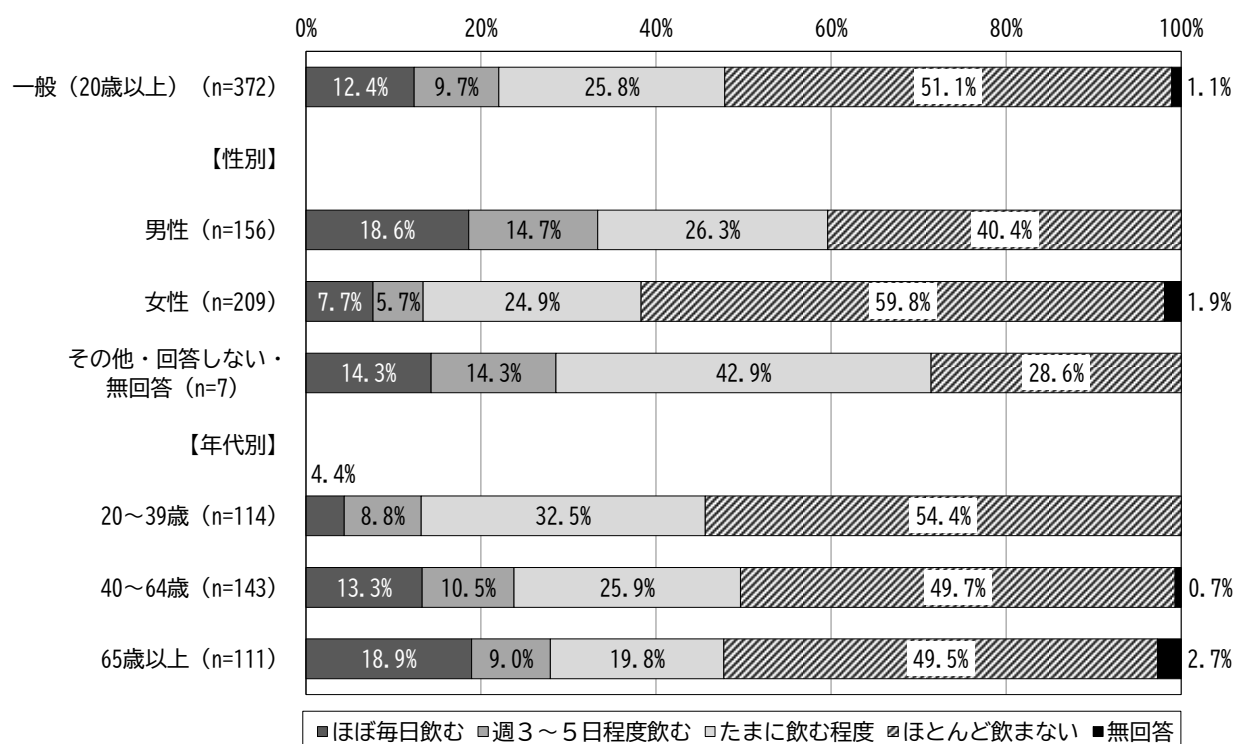
### (1) 飲酒状況

問 アルコール類（洋酒、日本酒、ビール、焼酎など）を飲みますか。（○は1つ）【一般】

一般（20歳以上）の飲酒の頻度については、「ほとんど飲まない」が51.1%と最も多く、次いで、「たまに飲む程度」が25.8%、「ほぼ毎日飲む」が12.4%となっています。

性別にみると、「ほとんど飲まない」では女性が59.8%に対し、男性は40.4%と女性が19.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、「ほぼ毎日飲む」では年代が上がるにつれて多くなっています。



## II. 調査結果

「ほぼ毎日飲む」、「週3～5日程度飲む」のいずれかを選択した方のみ回答

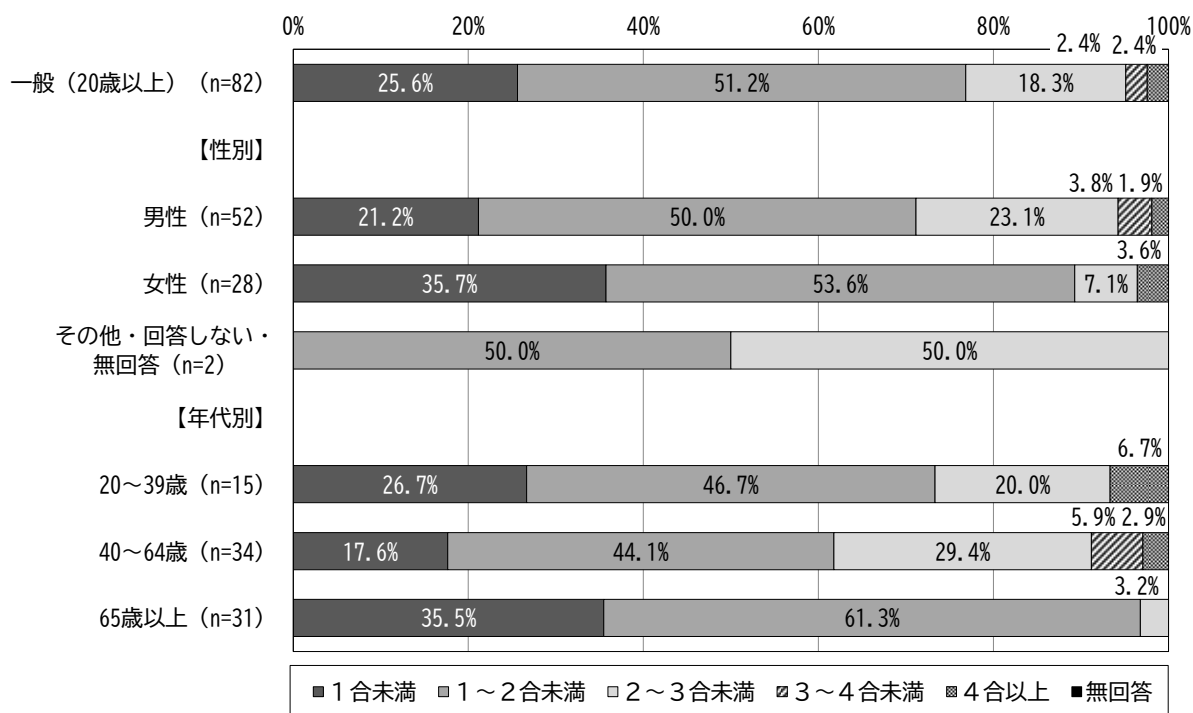
問 飲んだアルコールの量を日本酒に換算すると、1日にだいたいどの程度飲んでいきますか。(○は1つ)【一般】

※注意：日本酒1合（180ml）とは・・・ビール中ビン1本（500ml）・焼酎20度（135ml）または25度（110ml）・チューハイ5度（500ml）または7度（350ml）・ワイングラス2杯（200ml）・ウイスキーダブル1杯またはシングル2杯（60ml）

一般（20歳以上）の飲酒の量については、「1～2合未満」が51.2%と最も多く、次いで、「1合未満」が25.6%、「2～3合未満」が18.3%となっています。

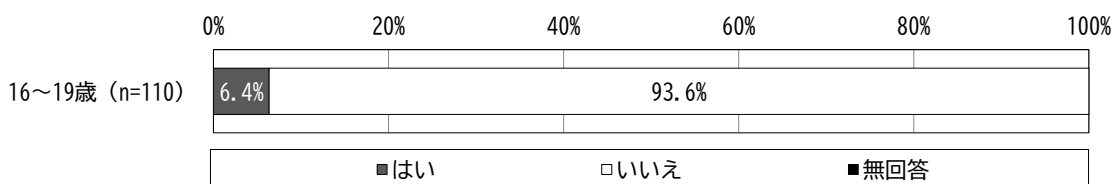
性別にみると、「1合未満」は男性が21.2%、女性で35.7%となっています。

年代別にみると、「4合以上」は20～39歳が最も多く、年代が上がるにつれて少なくなっております。



問 あなたはお酒を飲んだことがありますか。(○は1つ)【16～19歳】

16～19歳の飲酒の有無については、「はい」が6.4%に対し、「いいえ」が93.6%となっています。



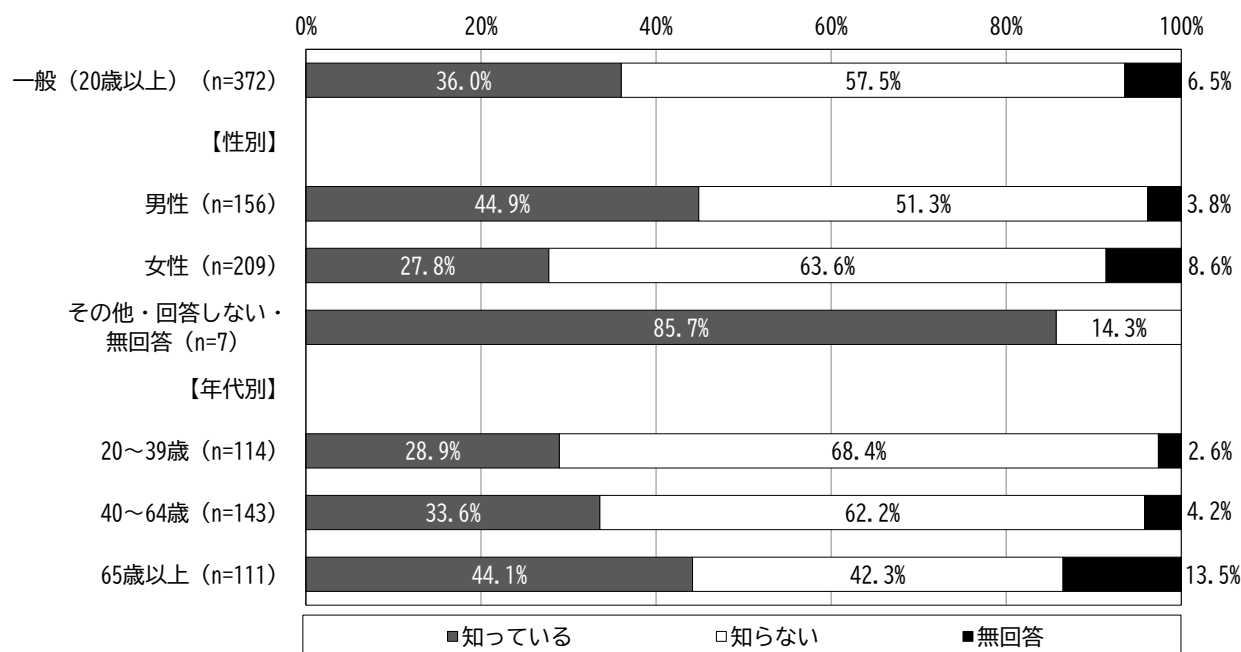
(2) 「節度ある適度な飲酒」量の認知度

問 「節度ある適度な飲酒」の量は、1日に日本酒1合程度（女性はこの半分）であることを知っていましたか。（○は1つ）【一般】

一般（20歳以上）の「節度ある適度な飲酒」の量の認知度については、「知っている」が36.0%に対し、「知らない」が57.5%となっています。

性別にみると、「知っている」で男性が4割と女性を上回っています。

年代別にみると、「知っている」で年代が上がるにつれて多くなり、65歳以上で4割を超えています。

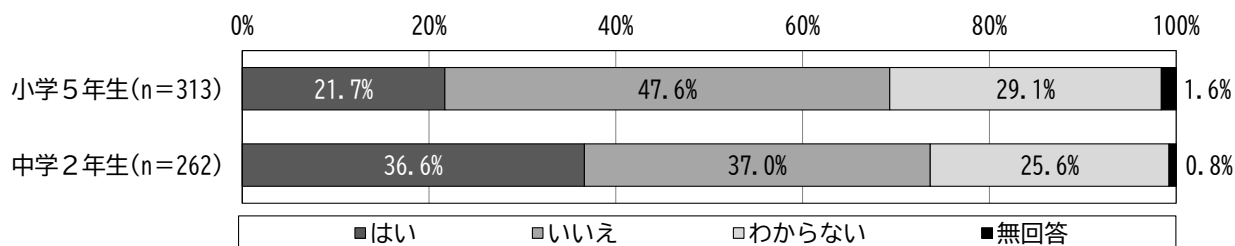


(3) 飲酒に対する意識

問 あなたは大人になったらお酒を飲みたいと思いますか。（○は1つ）【小学生・中学生】

小学5年生の飲酒に対する意識について飲酒したいと思うかでは、「はい」が21.7%に対し、「いいえ」が47.6%となっています。

中学2年生では、「はい」が36.6%に対し、「いいえ」が37.0%となっています。



## Ⅱ. 調査結果

### 7. 喫煙について

#### (1) 喫煙状況

問 あなたは、たばこ（加熱式たばこを含む）を吸いますか。（○は1つ）【一般】

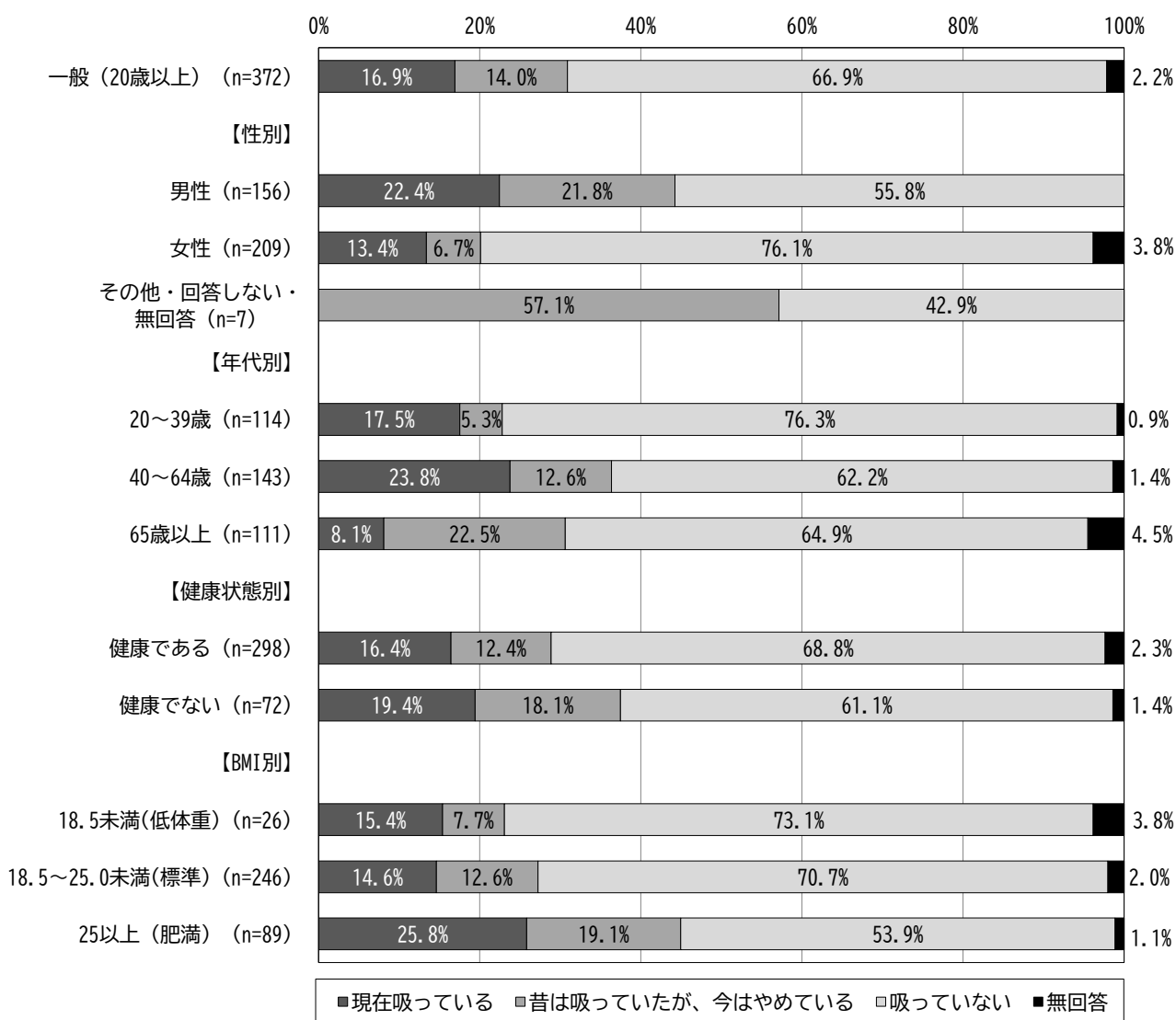
一般（20歳以上）の喫煙については、「吸っていない」が66.9%と最も多く、次いで、「現在吸っている」が16.9%、「昔は吸っていたが、今はやめている」が14.0%となっています。

性別にみると、「現在吸っている」は男性で22.4%に対し、女性は13.4%となっています。

年代別にみると、65歳以上の「現在吸っている」が8.1%となっており、他の年代より少ない傾向となっています。

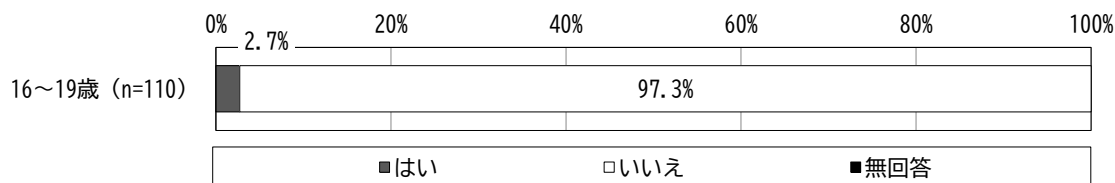
健康状態別にみると、「現在吸っている」で『健康である』が16.4%に対し、『健康でない』が19.4%と『健康でない』が3.0ポイント上回っています。

BMI別にみると、BMI25以上で「現在吸っている」が25.8%となっており、他のBMIよりも多い傾向となっています。



**問 あなたはたばこ（加熱式たばこを含む）を吸ったことがありますか。（○は1つ）【16～19歳】**

16～19歳の喫煙の有無については、「はい」が2.7%に対し、「いいえ」が97.3%となっています。

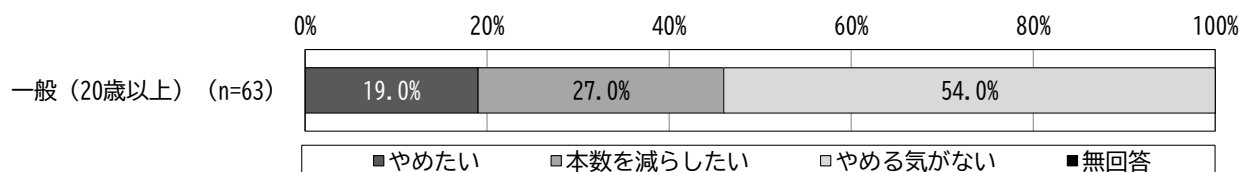


**(2) 喫煙に対する意識**

喫煙状況で「現在吸っている」を選択した方のみ回答

**問 喫煙することについてあなたはどう思いますか。（○は1つ）【一般】**

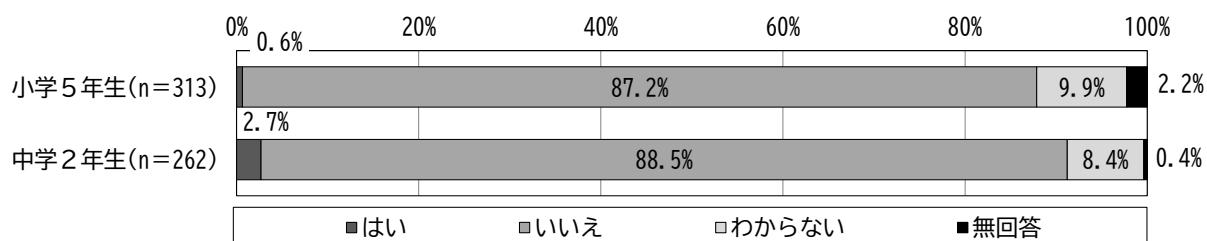
一般（20歳以上）の喫煙をどう思うかについては、「やめる気がない」が54.0%と最も多く、次いで、「本数を減らしたい」が27.0%、「やめたい」が19.0%となっています。



**問 あなたは大人になったらたばこを吸いたいですか。（○は1つ）【小学生・中学生】**

小学5年生の喫煙に対する意識について大人になったらたばこを吸いたと思うかでは、「はい」が0.6%に対し、「いいえ」が87.2%となっています。

中学2年生では、「はい」が2.7%に対し、「いいえ」が88.5%となっています。



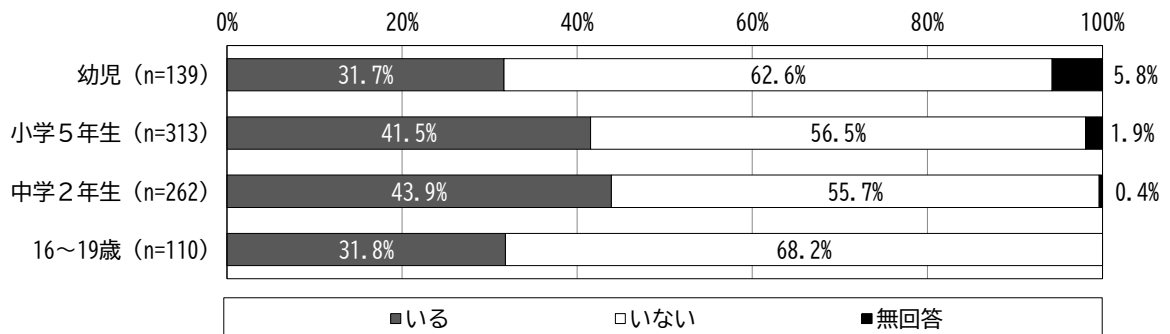
## Ⅱ. 調査結果

### (3) 喫煙する同居人の有無

問 同居している人の中で、たばこを吸う人がいますか。(○は1つ)【幼児・小学生・中学生・16～19歳・一般】

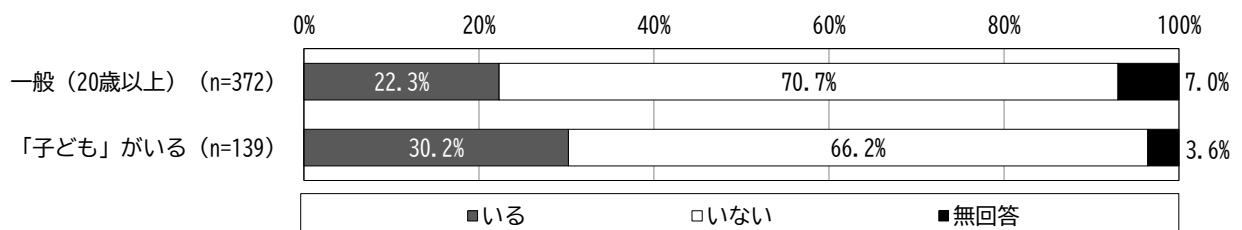
幼児の家族の中の喫煙者の有無について、喫煙者が「いる」が31.7%に対し、「いない」が62.6%となっています。

小学5年生では、喫煙者が「いる」が41.5%に対し、「いない」が56.5%となっています。  
 中学2年生では、喫煙者が「いる」が43.9%に対し、「いない」が55.7%となっています。  
 16～19歳では、喫煙者が「いる」が31.8%に対し、「いない」が68.2%となっています。



一般(20歳以上)の家庭の中の喫煙者の有無について、喫煙者が「いる」が22.3%に対し、「いない」が70.7%となっています。

同居人に「子ども」がいると回答した人では、喫煙者が「いる」が30.2%に対し、「いない」が66.2%となっています。

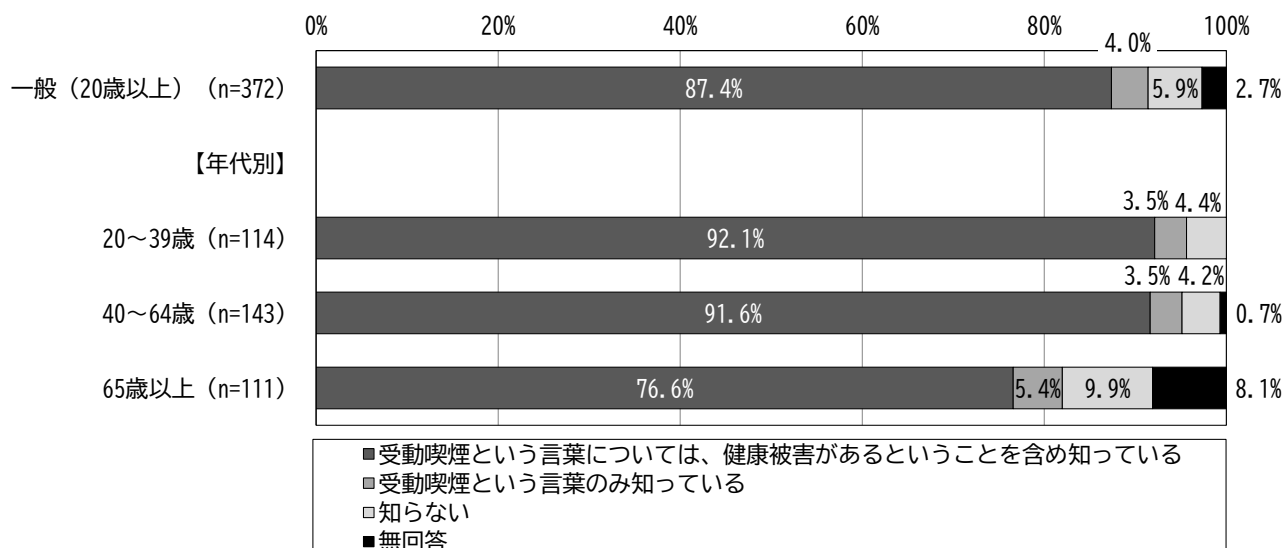


(4) 受動喫煙について

問 受動喫煙とは、「人が他人の喫煙により、たばこから発生した煙にさらされること」を言います。あなたは受動喫煙という言葉を知っていますか。(○は1つ)【一般】

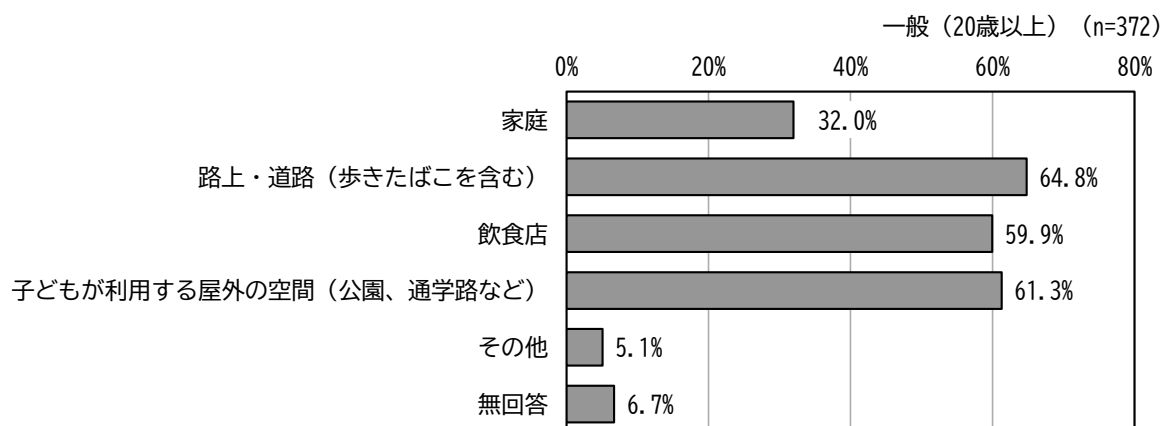
一般(20歳以上)の受動喫煙の認知度については、「受動喫煙という言葉については、健康被害があるということを含め知っている」が87.4%と最も多く、次いで、「知らない」が5.9%、「受動喫煙という言葉のみ知っている」が4.0%となっています。

年代別にみると、「受動喫煙という言葉については、健康被害があるということを含め知っている」は64歳以下では9割を超えていますが、65歳以上では7割となっています。



問 あなたが受動喫煙の防止対策が推進されることを望む場所がありますか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般(20歳以上)の受動喫煙の防止対策が推進されることを望む場所については、「路上・道路(歩きたばこを含む)」が64.8%と最も多く、次いで、「子どもが利用する屋外の空間(公園、通学路など)」が61.3%、「飲食店」が59.9%となっています。

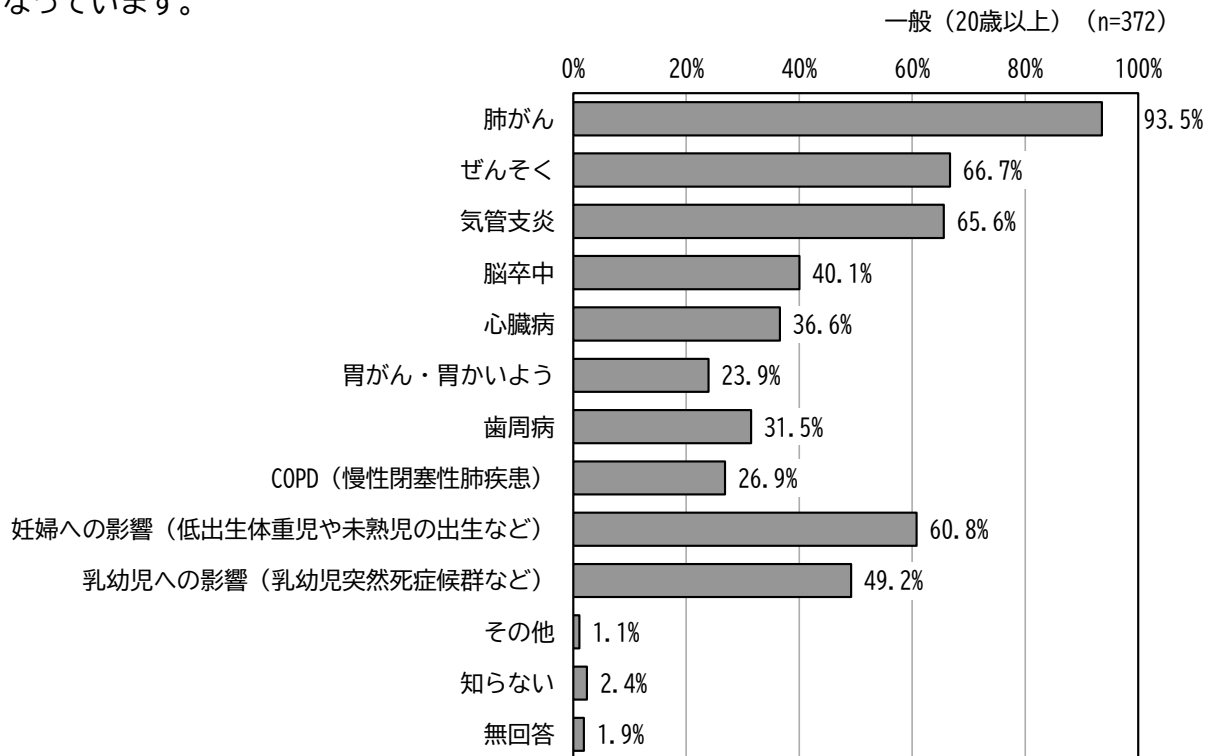


## II. 調査結果

### (5) 喫煙による健康被害

問 喫煙によって、発生の危険性が高まる病気などについて知っていたものがありますか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般(20歳以上)の喫煙によって、発生の危険性が高まる病気で知っているものについては、「肺がん」が93.5%と最も多く、次いで、「ぜんそく」が66.7%、「気管支炎」が65.6%となっています。

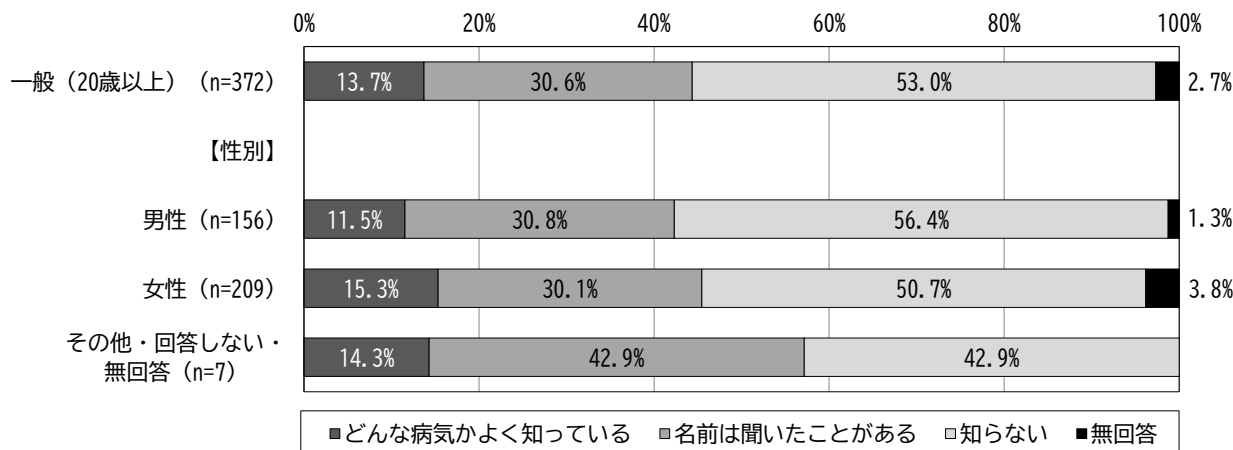


問 あなたは、「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」※という病気を知っていますか。(○は1つ)【一般】

※COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは・・・「たばこの煙を主とする有害物質が長期に気道に触れることによって起きる炎症性の疾患で、主な症状として咳・痰・息切れがあり、徐々に呼吸障害が進行する疾患」で喫煙者の20%が発症するといわれています。

一般(20歳以上)の「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」の認知度については、「知らない」が53.0%と最も多く、次いで、「名前は聞いたことがある」が30.6%、「どんな病気かよく知っている」が13.7%となっています。

性別にみると、「知らない」では男性が56.4%に対し、女性が50.7%となっています。



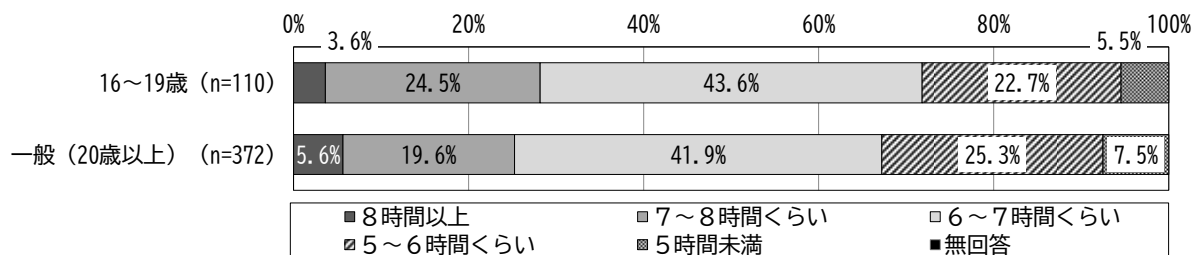
## 8. 休養・こころの健康について

### (1) 睡眠時間

**問 ふだんの睡眠時間は平均してどれくらいですか。(〇は1つ)【16～19歳・一般】**

16～19歳のふだんの睡眠時間については、「6～7時間くらい」が43.6%と最も多く、次いで、「7～8時間くらい」が24.5%、「5～6時間くらい」が22.7%となっています。

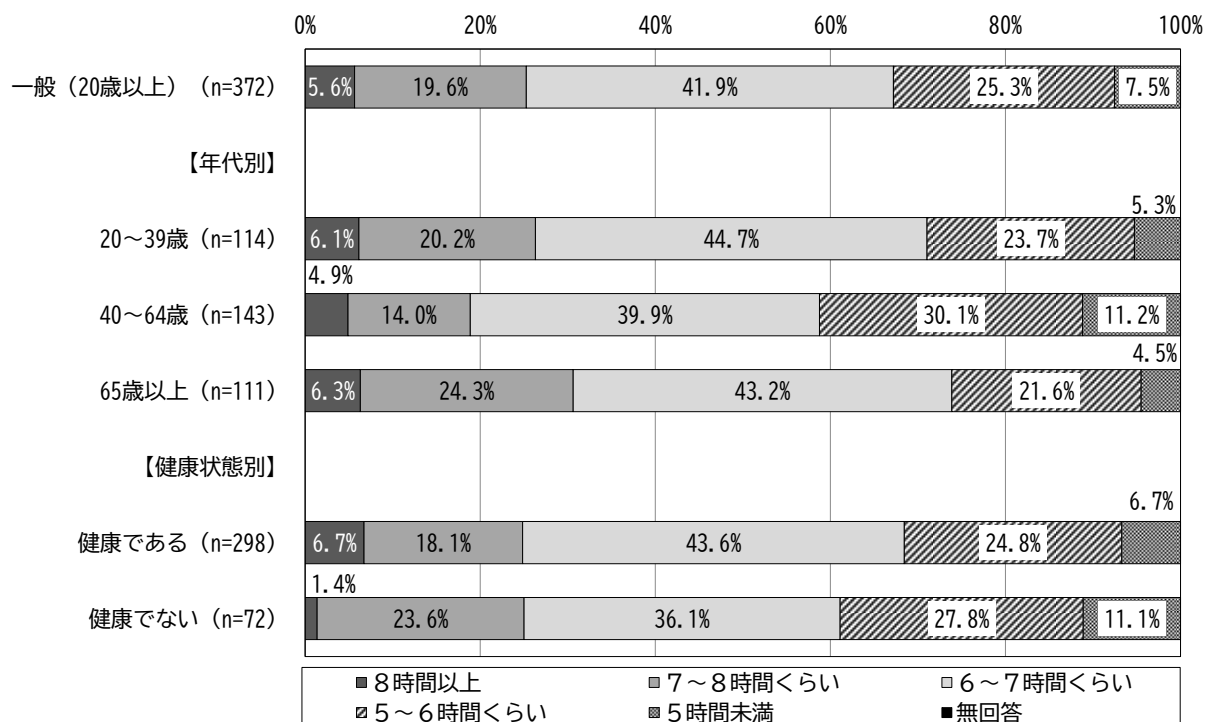
一般(20歳以上)では、「6～7時間くらい」が41.9%と最も多く、次いで、「5～6時間くらい」が25.3%、「7～8時間くらい」が19.6%となっています。



#### 【年代別・健康状態別】

一般(20歳以上)を年代別にみると、40～64歳の睡眠時間が他年代と比べて少なくなっています。

健康状態別にみると、「5時間未満」で『健康でない』が11.1%と1割を超えています。



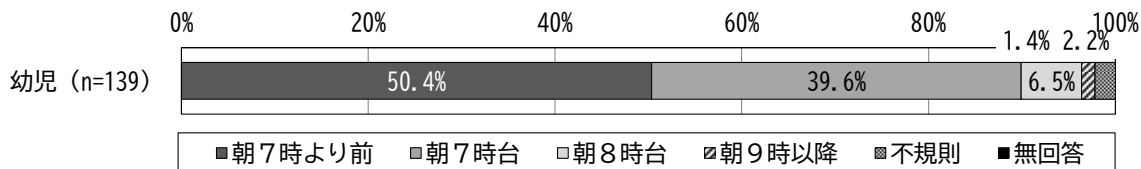
## Ⅱ. 調査結果

### (2) 起床時間・就寝時間

問 お子さんの起床時間・就寝時間は何時ですか。(○は1つ)【幼児】

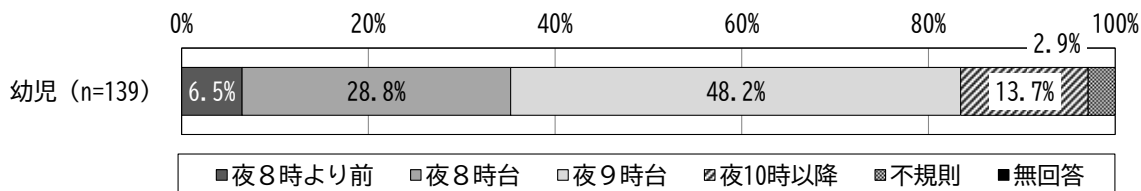
#### 【起床時間】

幼児の起床時間については、「朝7時より前」が50.4%と最も多く、次いで、「朝7時台」が39.6%、「朝8時台」が6.5%となっています。



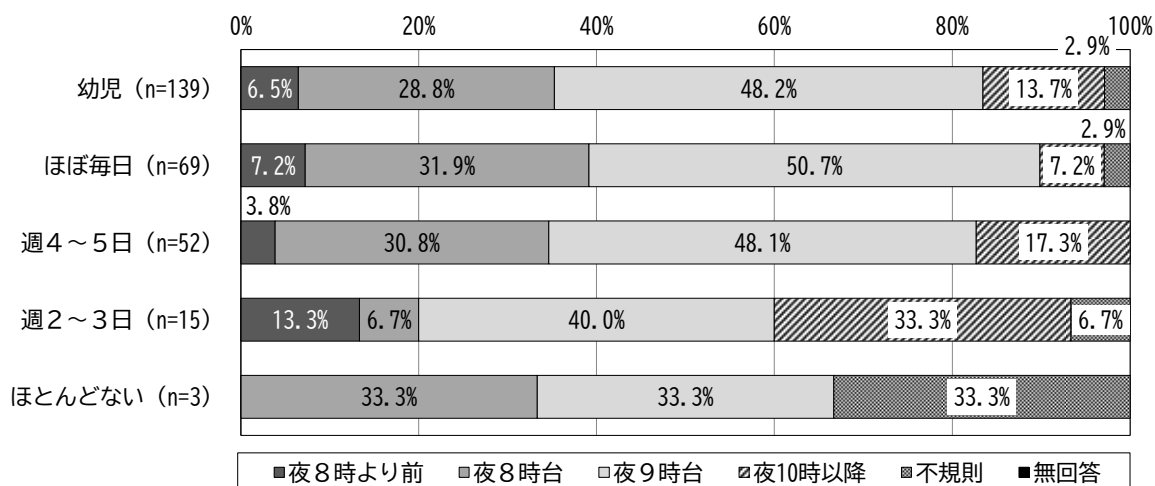
#### 【就寝時間】

幼児の就寝時間については、「夜9時台」が48.2%と最も多く、次いで、「夜8時台」が28.8%、「夜10時以降」が13.7%となっています。



#### 【運動状況別就寝時間】

幼児の運動状況別に就寝時間をみると、「ほぼ毎日」、「週4～5日」体を動かしている幼児は「週2～3日」、「ほとんどない」と比べ「夜10時以降」に就寝が少なく、就寝時間が早い傾向となっています。

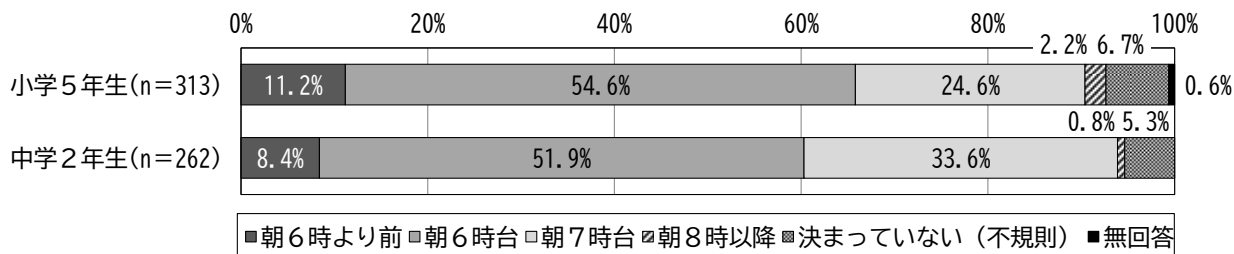


問 平日の起床・就寝時間は何時ですか。(○は1つ)【小学生・中学生】

【起床時間】

小学5年生の平日の起床時間については、「朝6時台」が54.6%と最も多く、次いで、「朝7時台」が24.6%、「朝6時より前」が11.2%となっています。

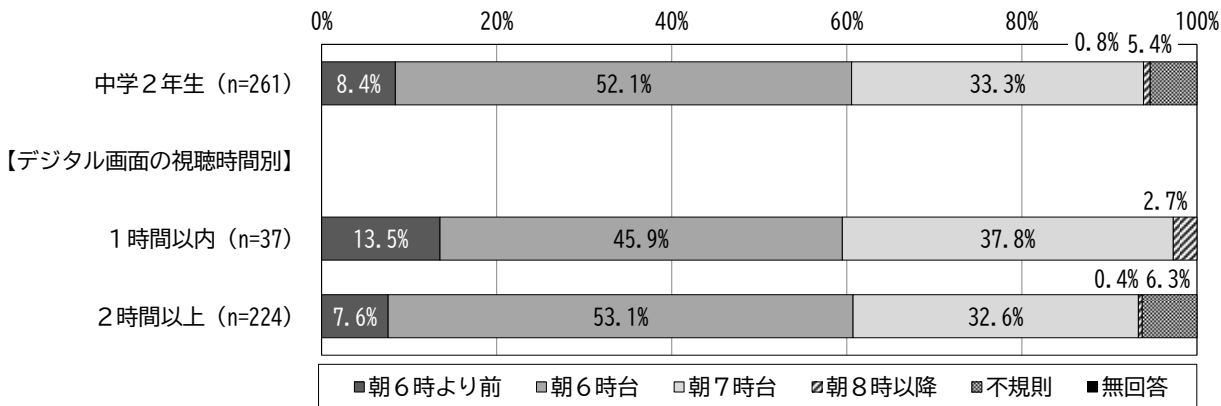
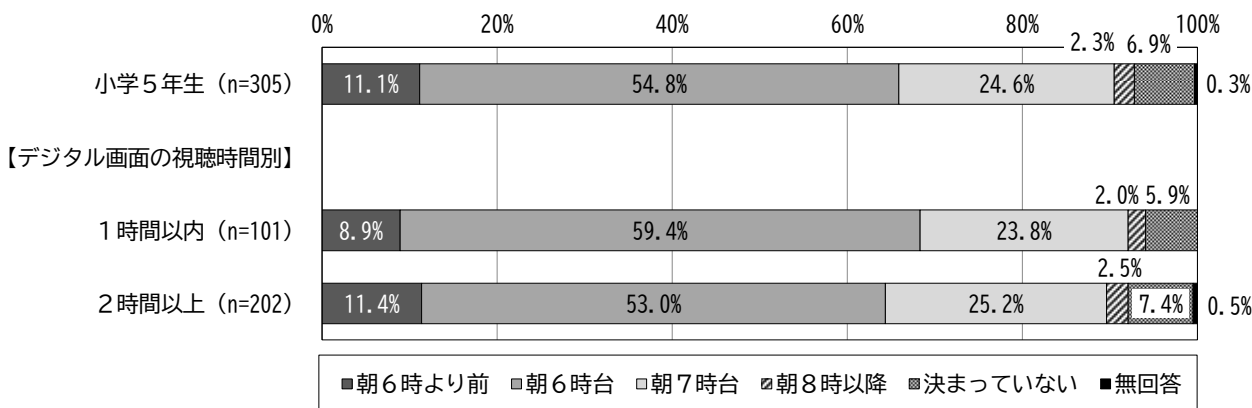
中学2年生では、「朝6時台」が51.9%と最も多く、次いで、「朝7時台」が33.6%、「朝6時より前」が8.4%となっています。



【平日のデジタル画面の視聴時間別】

小学5年生をデジタル画面の視聴時間別にみると、視聴時間が『2時間以上』では『朝7時前』に起床する割合が『1時間以内』より少なくなっています。

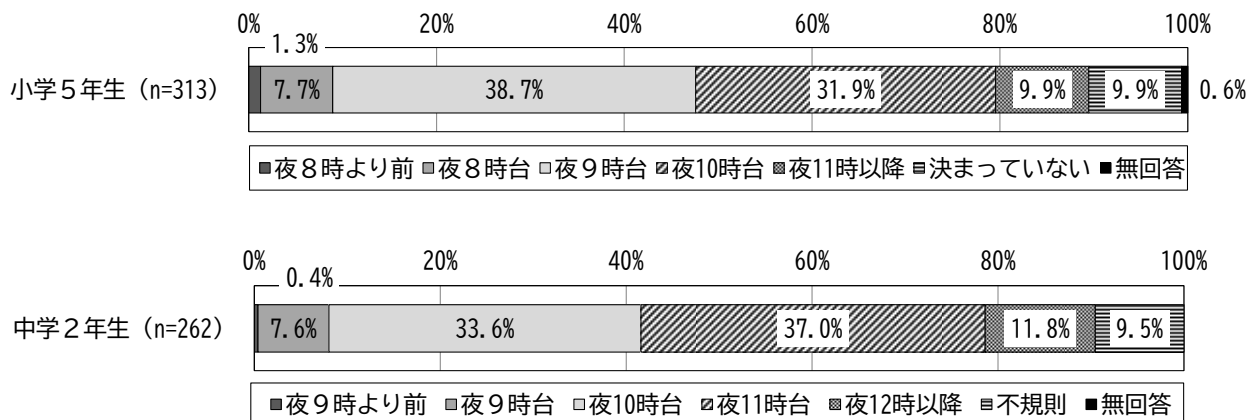
中学2年生では、『2時間以上』で起きる時間が「不規則」の割合が『1時間以内』より多くなっています。



## Ⅱ. 調査結果

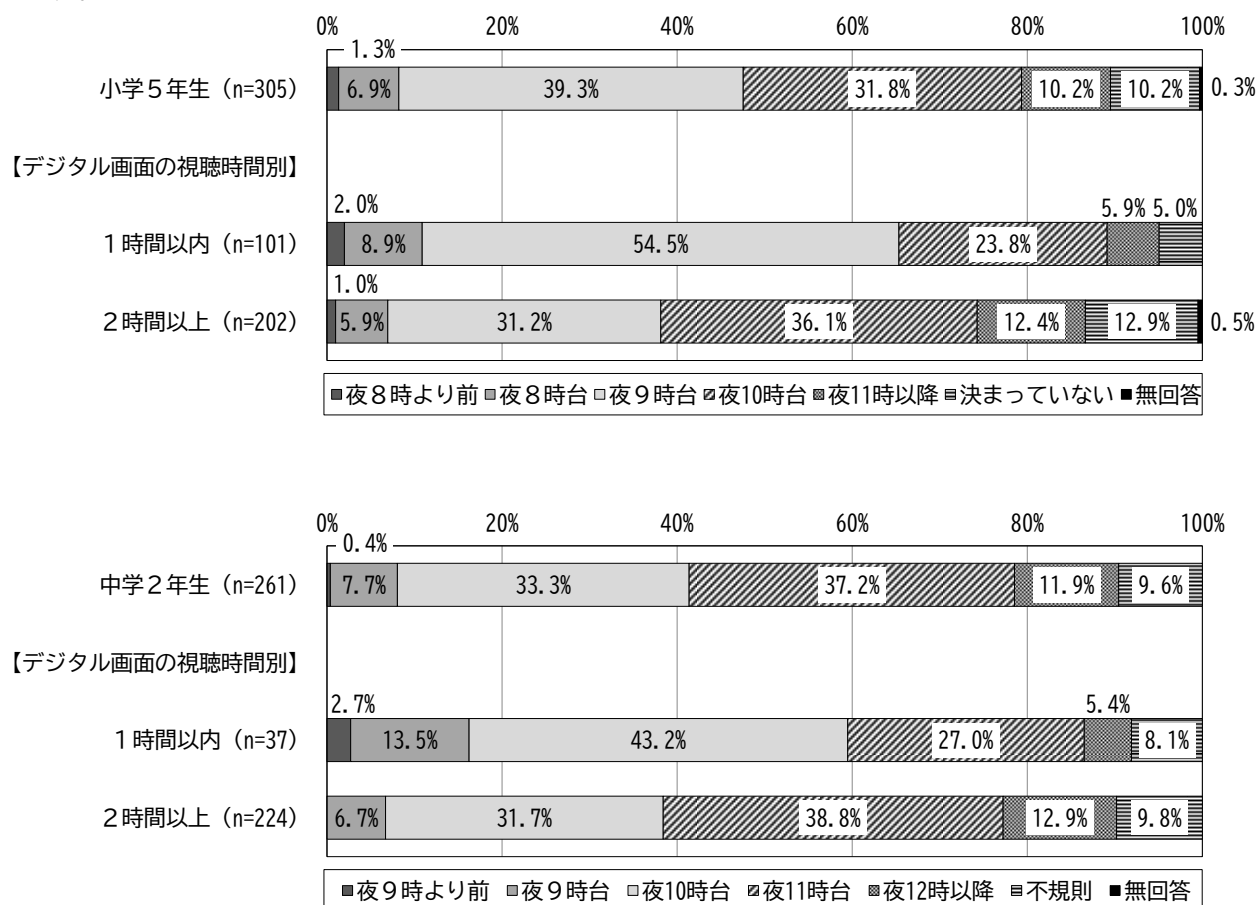
### 【就寝時間】

小学5年生の平日の就寝時間については、「夜9時台」が38.7%と最も多く、次いで、「夜10時台」が31.9%、「夜11時以降」、「決まっていない」がともに9.9%となっています。  
 中学2年生では、「夜11時台」が37.0%と最も多く、次いで、「夜10時台」が33.6%、「夜12時以降」が11.8%となっています。



### 【平日のデジタル画面の視聴時間別】

小学5年生をデジタル画面の視聴時間別にみると、視聴時間が『2時間以上』では『夜8時台前』に就寝する割合が『1時間以内』より2割を超えて少なくなっています。  
 中学2年生では、『2時間以上』で「夜12時以降」に就寝の割合が1割を超えて多くなっています。



(3) 睡眠を十分とれているか

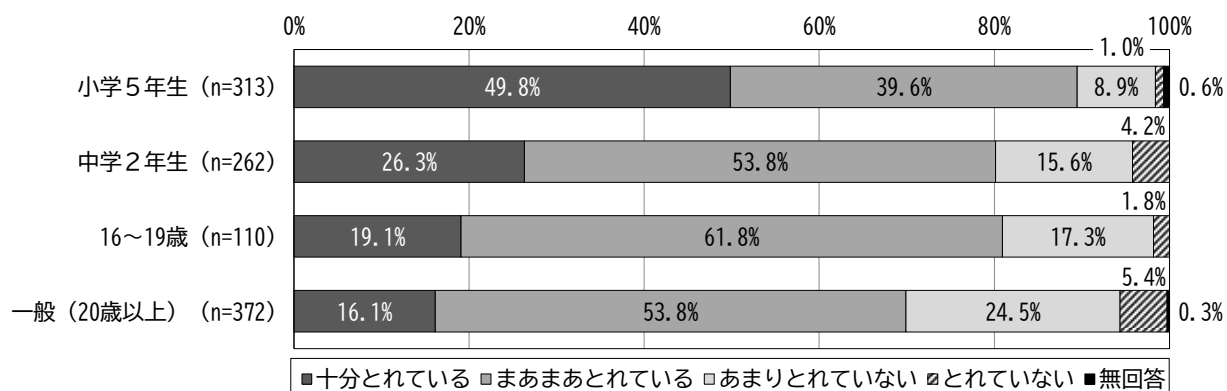
問 睡眠による休養を十分にとれていますか。(○を1つ)【小学生・中学生・16～19歳・一般】

小学5年生の睡眠は十分とれているかについては、「十分とれている」、「まあまあとれている」を合わせた『睡眠をとれている』が89.4%に対し、「あまりとれていない」、「とれていない」を合わせた『睡眠をとれていない』が9.9%となっています。

中学2年生では、『睡眠をとれている』が80.1%に対し、『睡眠をとれていない』が19.8%となっています。

16～19歳では、『睡眠をとれている』が80.9%に対し、『睡眠をとれていない』が19.1%となっています。

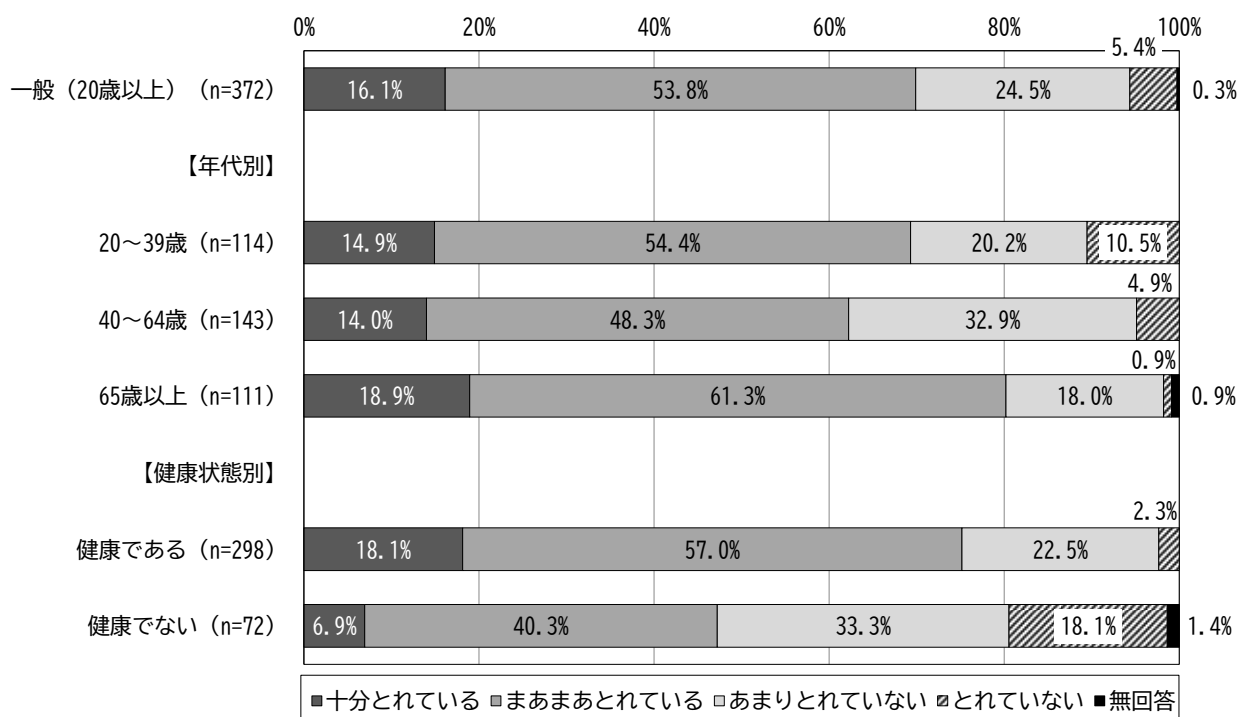
一般(20歳以上)では、『睡眠をとれている』が69.9%に対し、『睡眠をとれていない』が29.9%となっています。



【年代・健康状態別】

一般(20歳以上)を年代別にみると、「とれていない」が20～39歳で10.5%と他の年代より多くなっています。また、65歳未満で『睡眠をとれていない』が3割を超えて多くなっています。

健康状態別にみると、「とれていない」が『健康である』は2.3%に対し、『健康でない』は18.1%と『健康でない』が15.8ポイント上回っています。

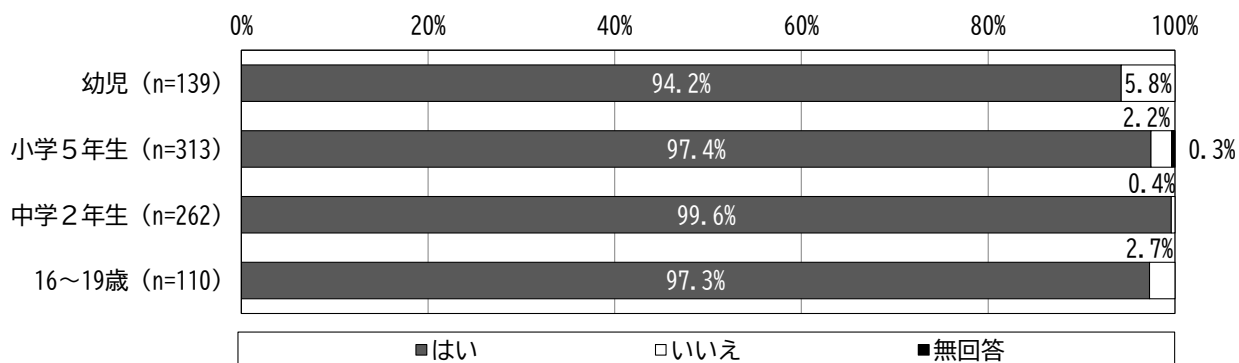


## Ⅱ. 調査結果

### (4) デジタル画面の視聴状況

問 ゲームをしたり、テレビやスマートフォン、パソコンなどを見たりしていますか。(○は1つ)【幼児・小学生・中学生・16～19歳】

デジタル画面の視聴状況については、いずれの調査対象者でも「はい」が9割を超えております。

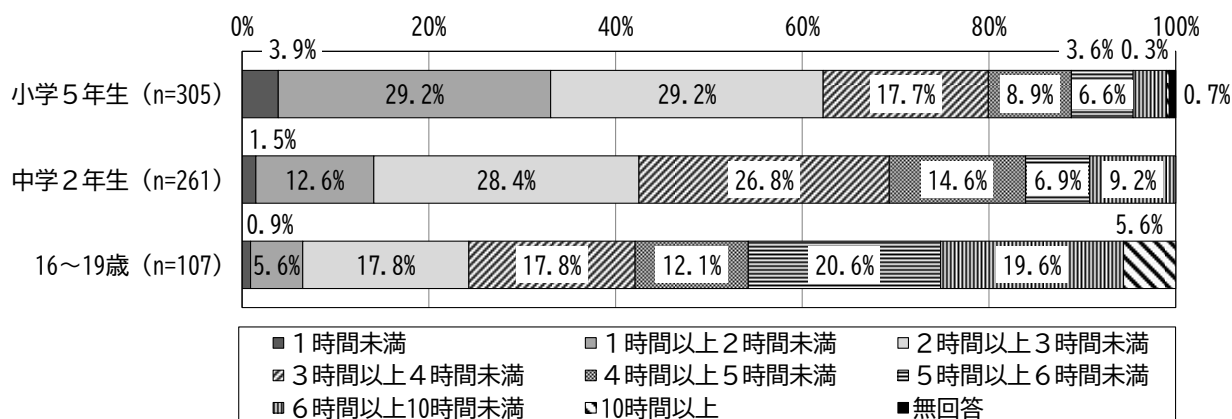


#### 【平日の視聴時間】

小学5年生の平日1日の使用時間については、「1時間以上2時間未満」、「2時間以上3時間未満」がともに29.2%と最も多く、次いで、「3時間以上4時間未満」が17.7%となっています。

中学2年生では、「2時間以上3時間未満」が28.4%と最も多く、次いで、「3時間以上4時間未満」が26.8%、「4時間以上5時間未満」が14.6%となっています。

16～19歳では、「5時間以上6時間未満」が20.6%と最も多く、次いで、「6時間以上10時間未満」が19.6%となっています。

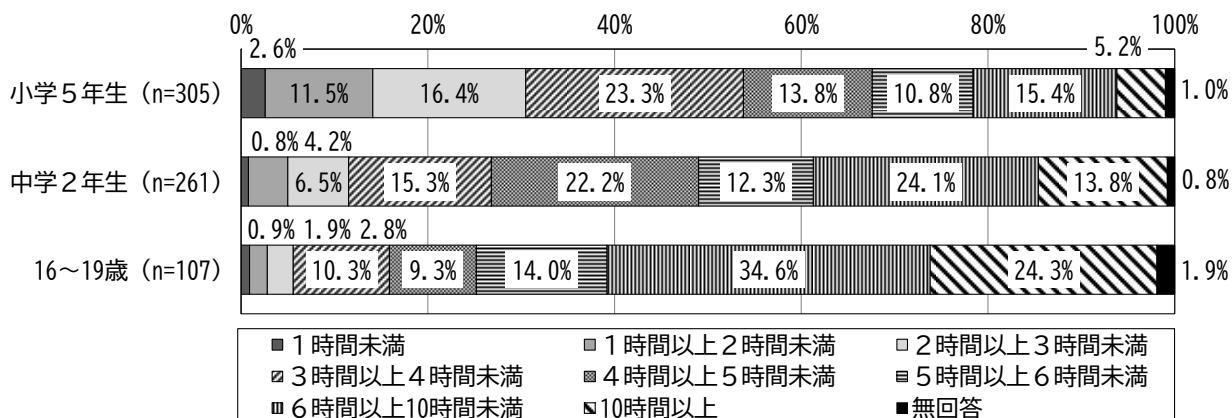


【休日の視聴時間】

小学5年生の休日の1日の使用時間については、「3時間以上4時間未満」が23.3%と最も多く、次いで、「2時間以上3時間未満」が16.4%、「6時間以上10時間未満」が15.4%となっています。

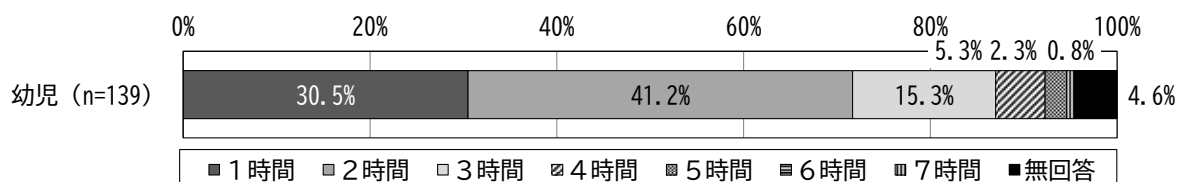
中学2年生では、「6時間以上10時間未満」が24.1%と最も多く、次いで、「4時間以上5時間未満」が22.2%、「3時間以上4時間未満」が15.3%となっています。

16～19歳では、「6時間以上10時間未満」が34.6%と最も多く、次いで、「10時間以上」が24.3%、「5時間以上6時間未満」が14.0%となっています。



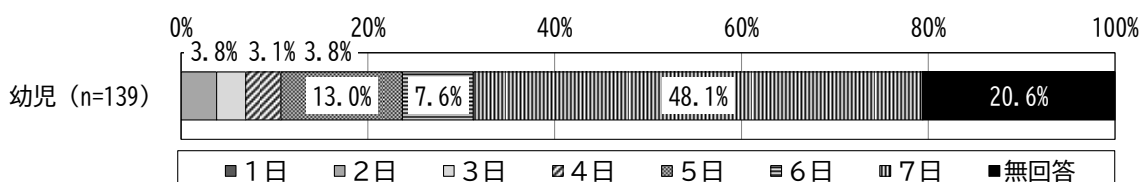
【幼児の1日の視聴時間】

幼児のデジタル画面視聴時間については、「2時間」が41.2%と最も多く、次いで、「1時間」が30.5%、「3時間」が15.3%となっています。



【幼児の週の視聴日数】

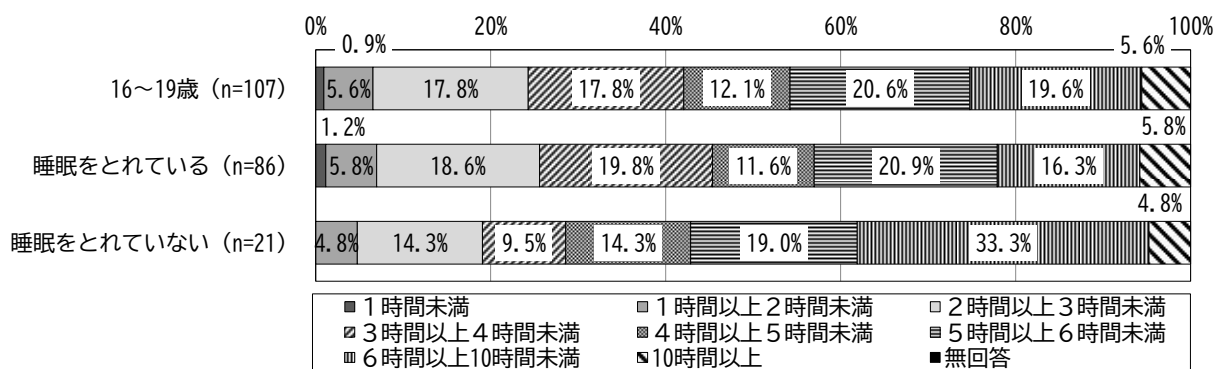
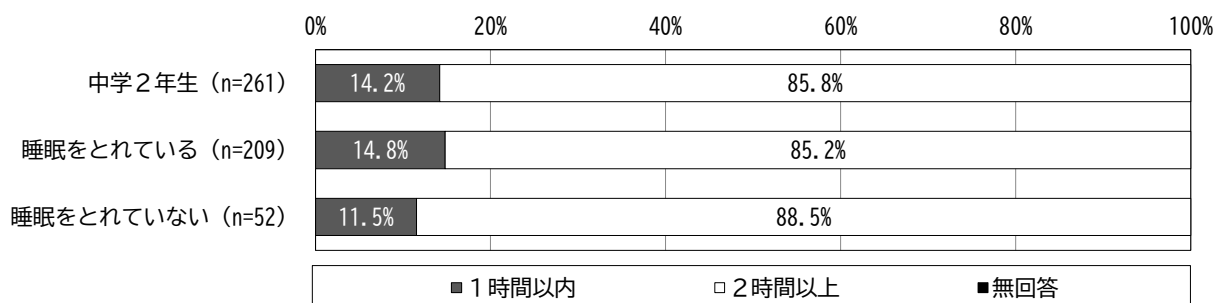
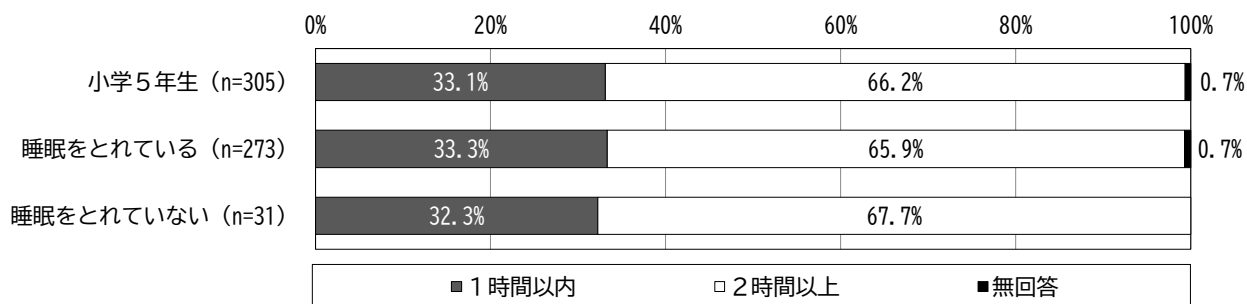
幼児の週のデジタル画面視聴日数については、「7日」が48.1%と最も多く、次いで、「5日」が13.0%、「6日」が7.6%となっています。



## Ⅱ. 調査結果

### 【睡眠状況別平日の視聴時間】

睡眠状況別の平日のデジタル視聴時間について、いずれの調査対象者でも『睡眠をとれていない』の方がデジタル視聴時間が長い傾向にあります。

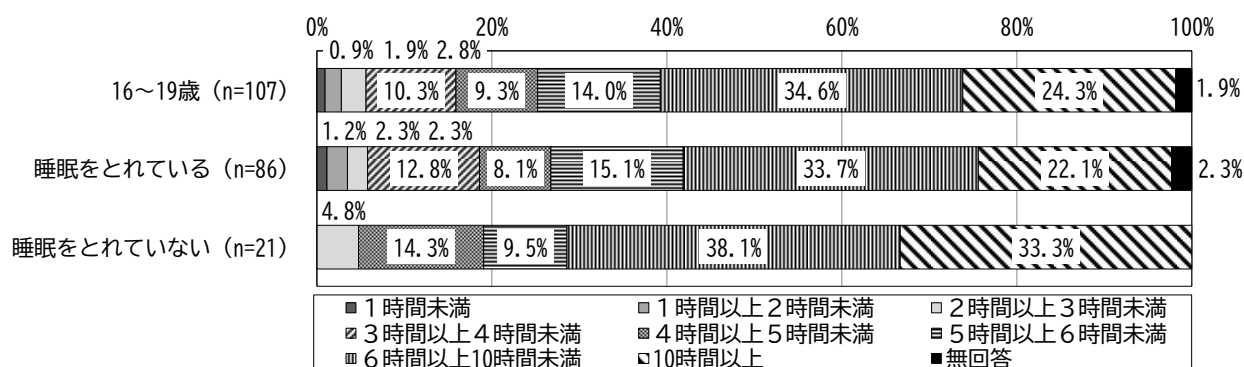
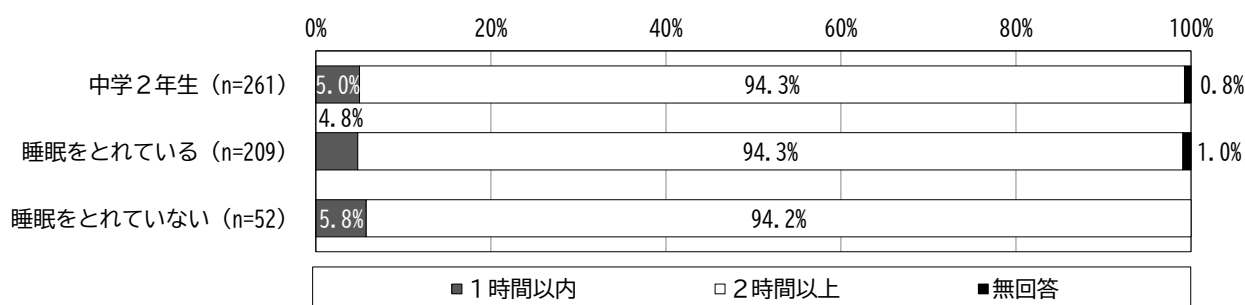
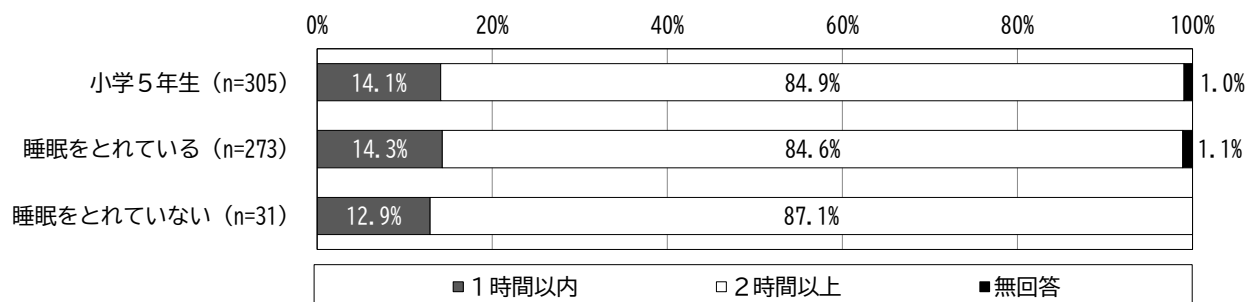


【睡眠状況別休日の視聴時間】

休日のデジタル視聴時間について、小学5年生を睡眠状況別にみると、『睡眠をとれていない』では「2時間以上」が87.1%に対し、『睡眠をとれている』が84.6%と、『睡眠をとれていない』が2.5ポイント上回っています。

中学2年生では、『睡眠をとれている』、『睡眠をとれていない』でのデジタル視聴時間の割合は同じようになっています。

16～19歳では、『睡眠をとれていない』でデジタル視聴時間が『5時間以上』の割合が8割を超えて多くなっています。



## Ⅱ. 調査結果

### (5) 不満、悩み、ストレス

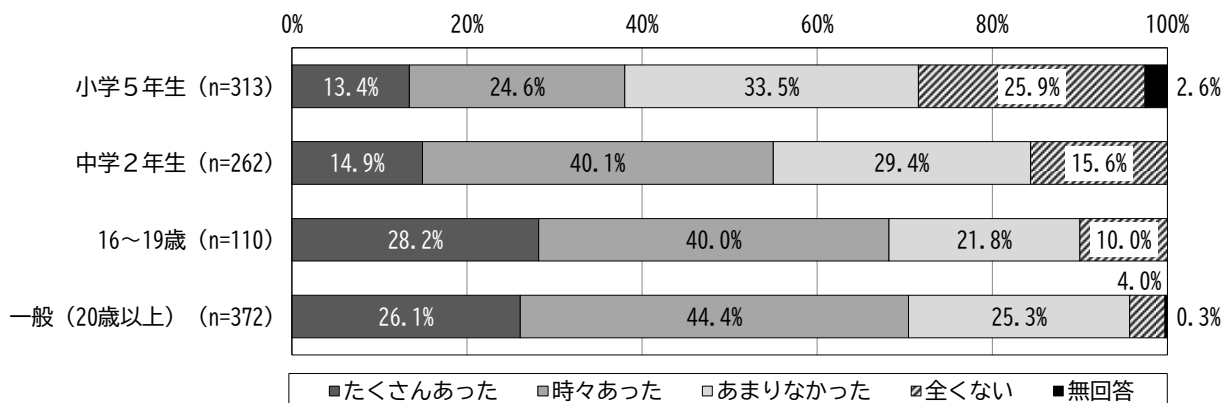
問 あなたは、この1か月間に、不満や悩み、ストレスを感じることがありましたか。(○は1つ)【小学生・中学生・16～19歳・一般】

小学5年生でこの1か月間に、不満や悩み、ストレスを感じることがあったかについては、「たくさんあった」、「時々あった」を合わせた『ストレスを感じる』が38.0%に対し、「あまりなかった」、「なかった」を合わせた『ストレスを感じない』が59.4%となっています。

中学2年生では、『ストレスを感じる』が55.0%に対し、『ストレスを感じない』が45.0%となっています。

16～19歳では、『ストレスを感じる』が68.2%に対し、『ストレスを感じない』が31.8%となっています。

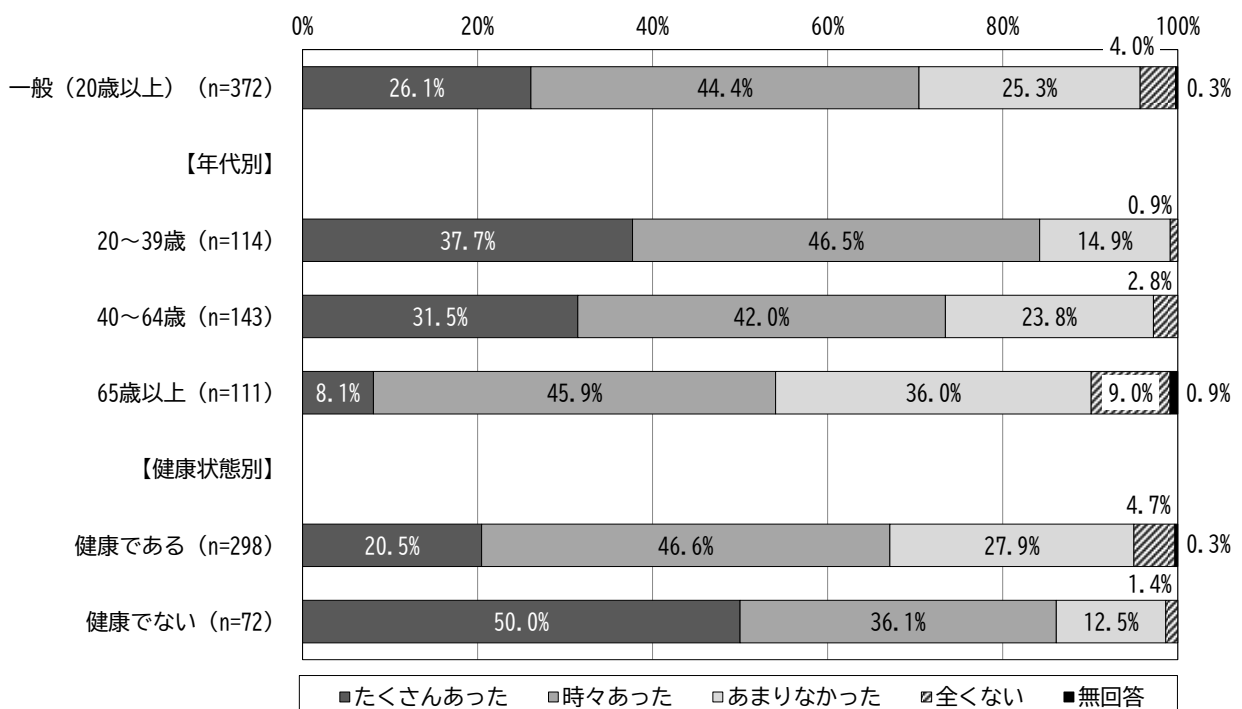
一般(20歳以上)では、『ストレスを感じる』が70.5%に対し、『ストレスを感じない』が29.3%となっています。



#### 【年代別・健康状態別】

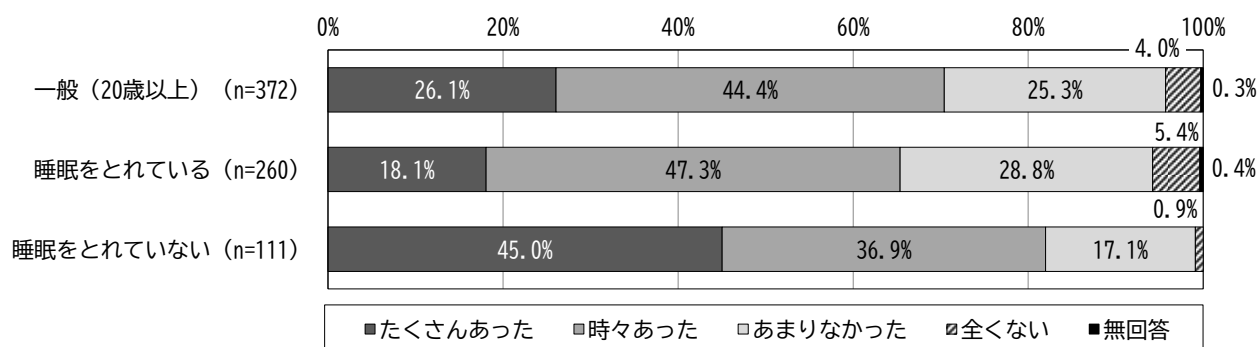
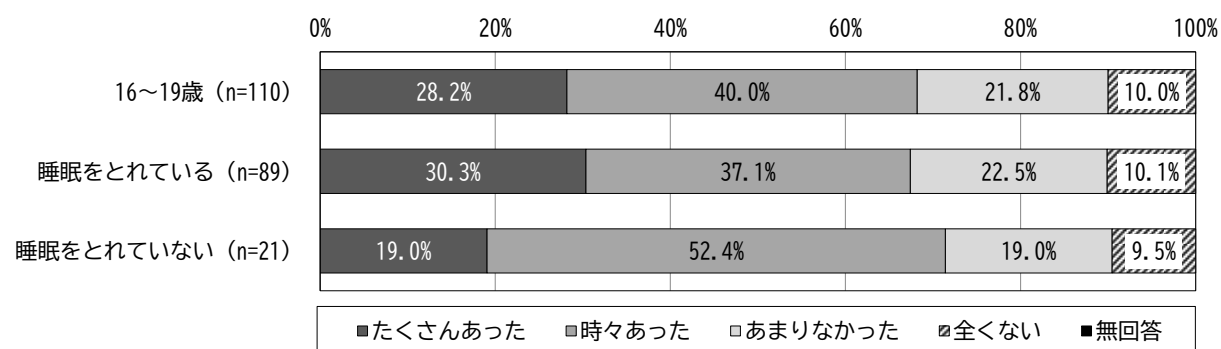
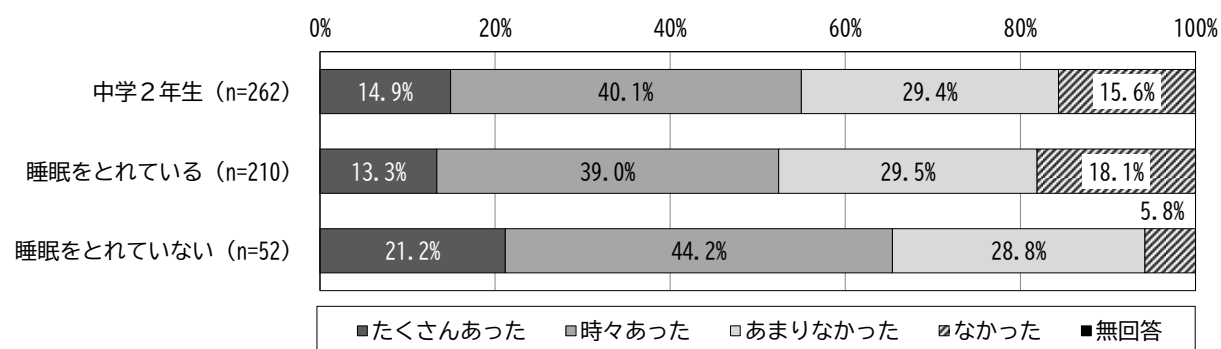
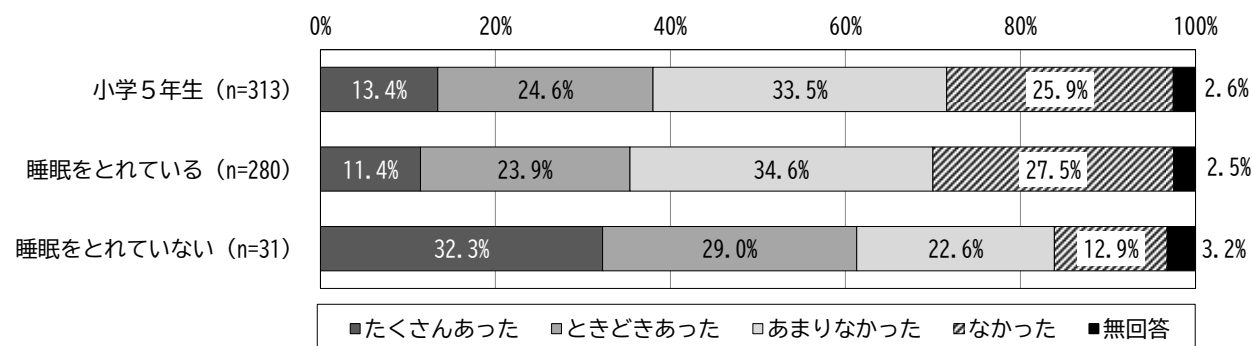
一般(20歳以上)を年代別にみると、『ストレスを感じる』が20～39歳で8割を超えて最も多く、40～64歳で7割、65歳以上で5割と年代が上がるにつれて下がる傾向となっています。

健康状態別にみると、『健康でない』の『ストレスを感じる』が86.1%と多くなっています。



【睡眠状況別ストレス状況】

睡眠状況別のストレス状況について、『睡眠をとれていない』で『ストレスを感じる』が小学5年生、中学2年生では6割、16～19歳は7割、一般（20歳以上）は8割を超えて多くなっています。



## Ⅱ. 調査結果

不安や悩み、ストレスが「たくさんあった」、「時々あった」のいずれかを選択した方のみ

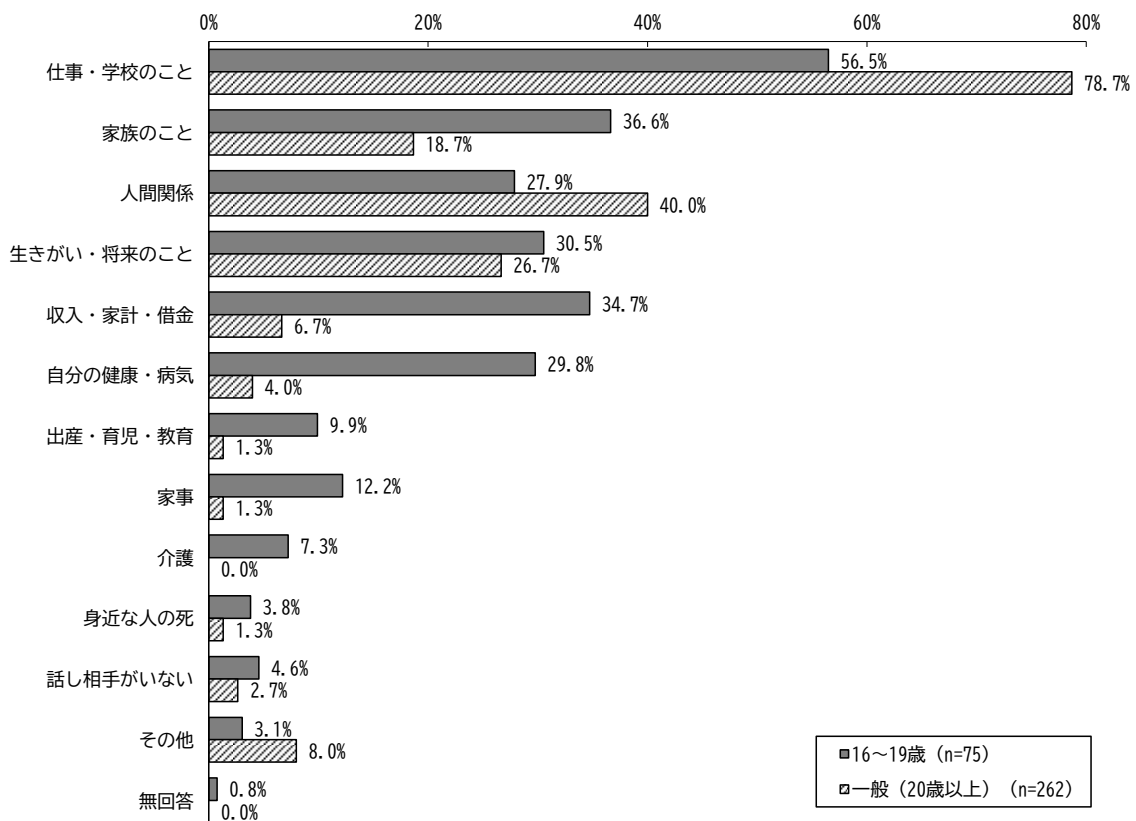
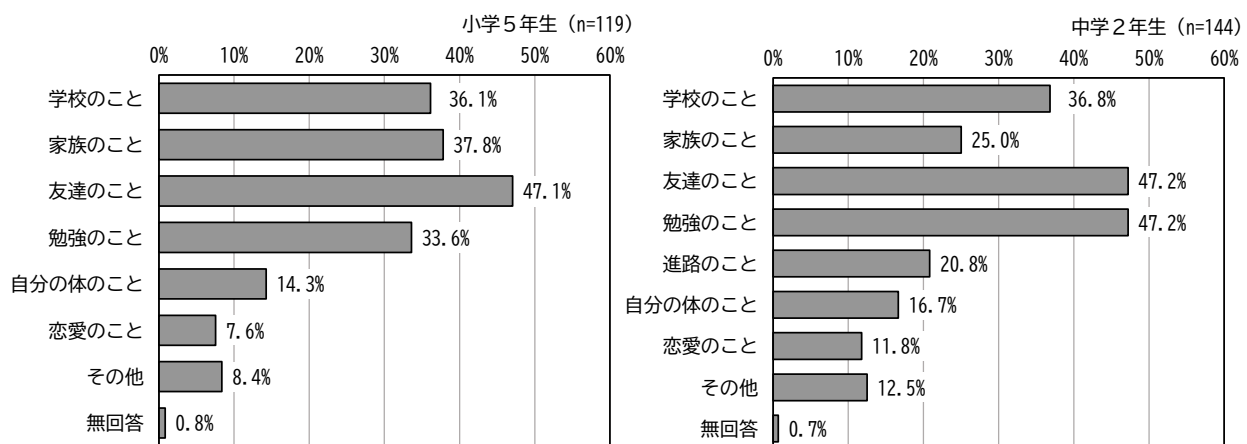
問 ストレスを感じる原因は、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)【小学生・中学生・16～19歳・一般】

小学5年生の不安や悩み、ストレスの内容については、「友達のこと」が47.1%と最も多く、次いで、「家族のこと」が37.8%、「学校のこと」が36.1%となっています。

中学2年生では、「友達のこと」、「勉強のこと」がともに47.2%と最も多く、次いで、「学校のこと」が36.8%となっています。

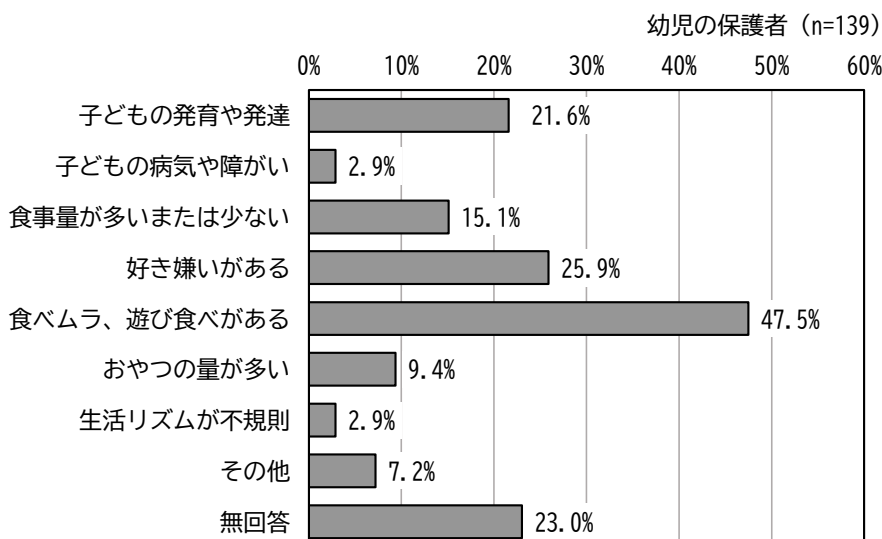
16～19歳では、「仕事・学校のこと」が78.7%と最も多く、次いで、「人間関係」が40.0%、「生きがい・将来のこと」が26.7%となっています。

一般(20歳以上)では、「仕事・学校のこと」が56.5%と最も多く、次いで、「家族のこと」が36.6%、「収入・家計・借金」が34.7%となっています。



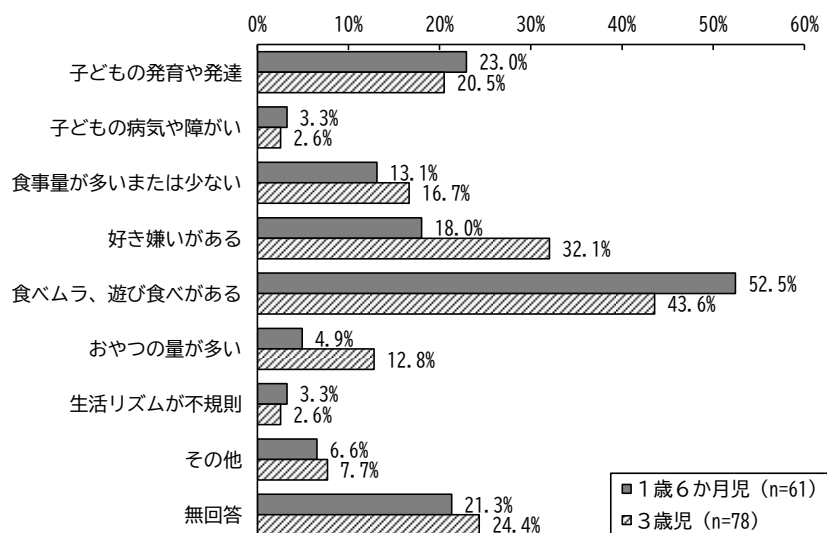
問 お子さんの健康や食事のことで心配ごとや悩みごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)  
【幼児】

幼児の保護者の子どもの健康や食事のことで心配ごとや悩みごとについては、「食ベムラ、遊び食べがある」が47.5%と最も多く、次いで、「好き嫌いがある」が25.9%、「子どもの発育や発達」が21.6%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、1歳6か月と3歳児ともに「食ベムラ、遊び食べがある」の割合が最も多く、1歳6か月で52.5%、3歳児で43.6%となっています。また、3歳児では「好き嫌いがある」の割合も多くなっています。



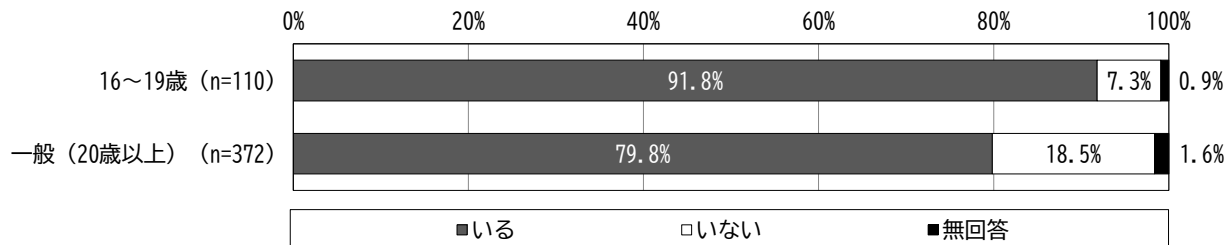
## Ⅱ. 調査結果

### (6) 相談相手

問 あなたは悩み事があるときに、相談できる人がいますか。(○は1つ)【16～19歳・一般】

16～19歳の相談相手の有無については、「いる」が91.8%に対し、「いない」が7.3%となっています。

一般(20歳以上)では、「いる」が79.8%に対し、「いない」が18.5%となっています。



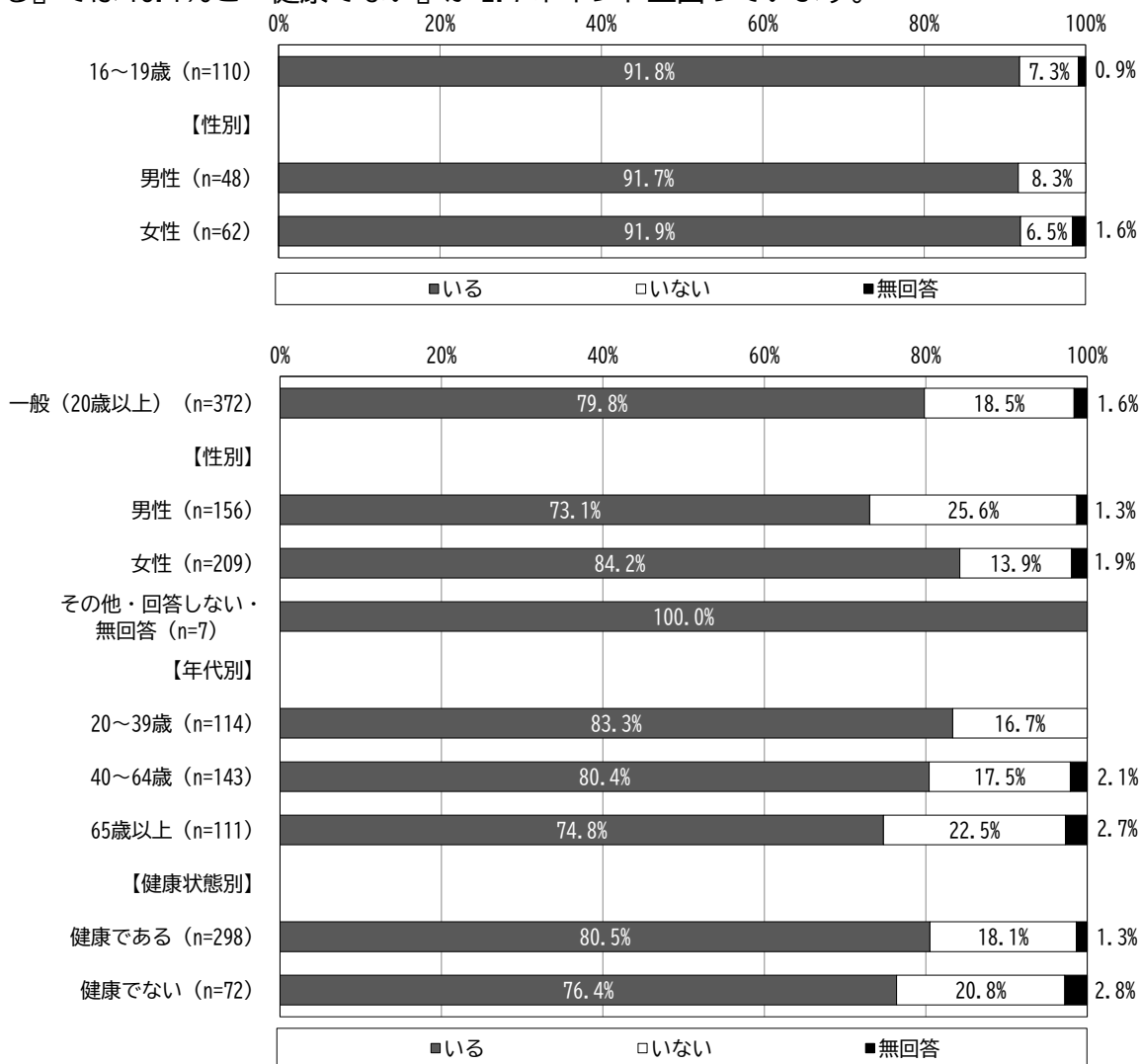
#### 【性別・年代別・健康状態別】

16～19歳を性別にみると男女ともに相談相手が「いる」が9割を超えています。

一般(20歳以上)を性別にみると、相談相手が「いない」が男性で25.6%に対し、女性で13.9%と男性が11.7ポイント上回っています。

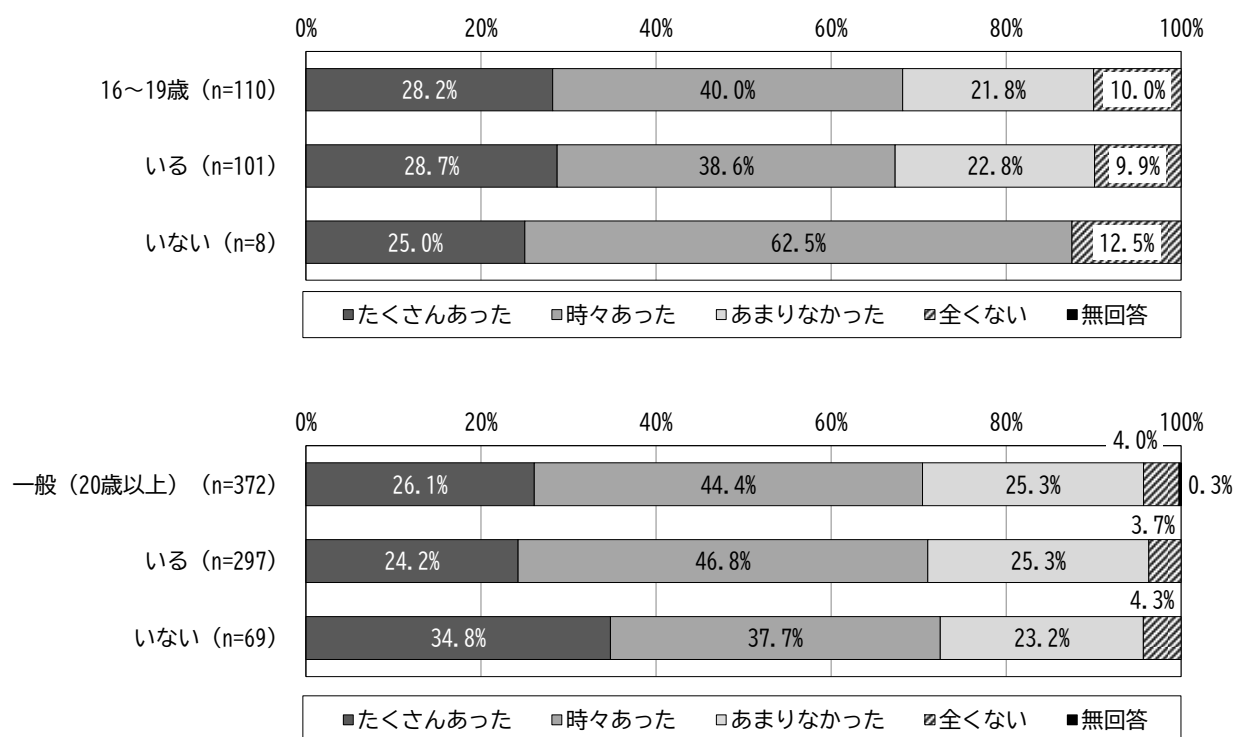
年代別にみると、相談相手が「いない」で65歳以上が2割を超え、他の年代より多くなっています。

健康状態別にみると、相談相手が「いない」で『健康でない』では20.8%に対し、『健康である』では18.1%と『健康でない』が2.7ポイント上回っています。



【相談相手の有無とストレス状況】

相談相手の有無別のストレス状況について、相談相手が「いない」では16～19歳、一般（20歳以上）いずれも『ストレスを感じる』が相談相手が「いる」よりも多くなっており、16～19歳では8割を超えて多くなっています。

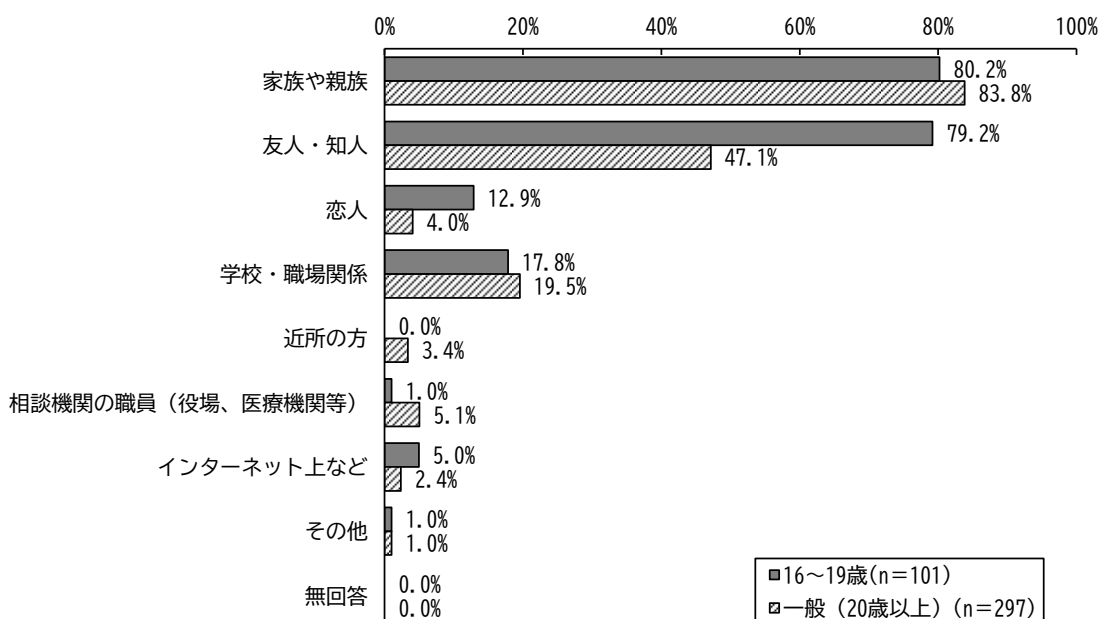


相談相手が「いる」を選択した方のみ回答

問 相談相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)【16～19歳・一般】

16～19歳の相談相手については、「家族や親族」が80.2%と最も多く、次いで、「友人・知人」が79.2%、「学校・職場関係」が17.8%となっています。

一般（20歳以上）では、「家族や親族」が83.8%と最も多く、次いで、「友人・知人」が47.1%、「学校・職場関係」が19.5%となっています。

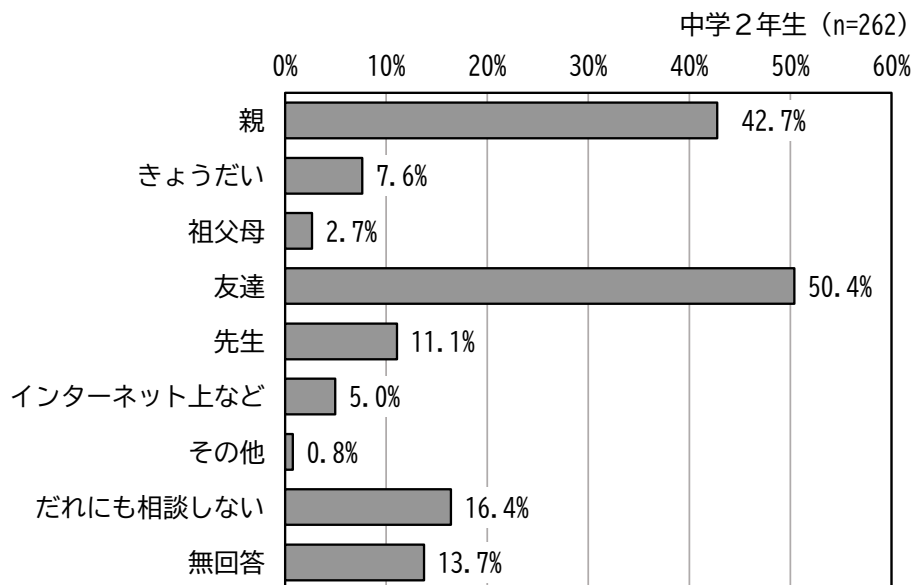
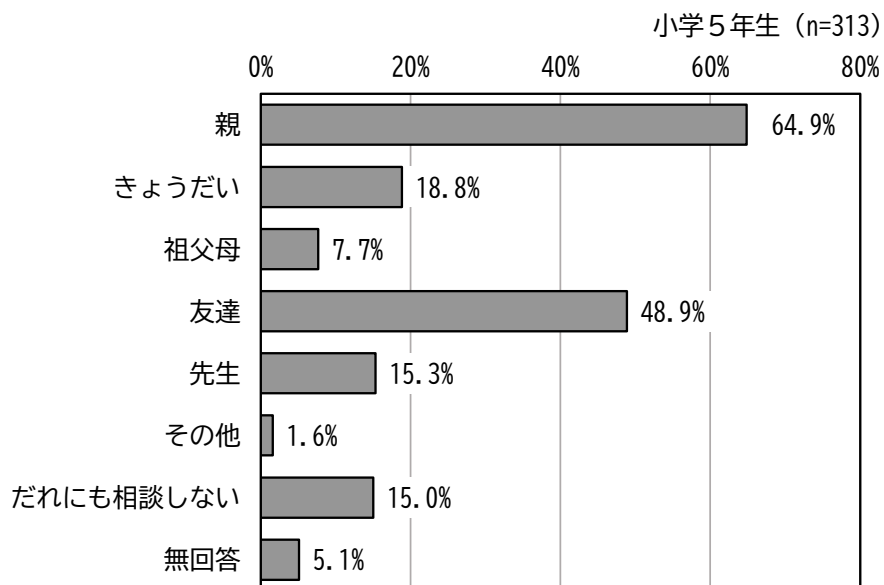


## Ⅱ. 調査結果

問 あなたは悩みごとがあるとき、だれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)【小学生・中学生】

小学5年生の悩みの相談相手については、「親」が64.9%と最も多く、次いで、「友達」が48.9%、「きょうだい」が18.8%となっています。

中学2年生では、「友達」が50.4%と最も多く、次いで、「親」が42.7%、「だれにも相談しない」が16.4%となっています。



(7) ストレス解消法

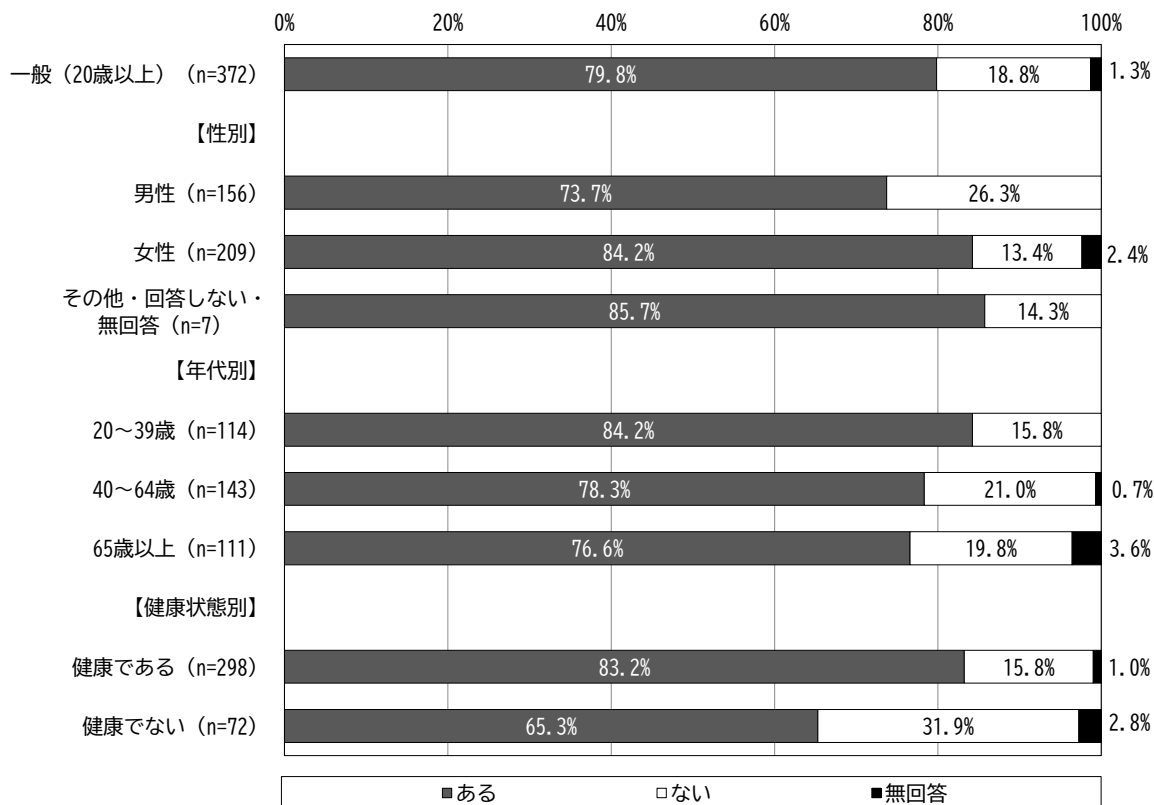
問 あなたは、自分なりのストレス解消法がありますか。(○は1つ)【一般】

一般(20歳以上)の自分なりのストレス解消法の有無については、「ある」が79.8%に対し、「ない」が18.8%となっています。

性別にみると、「ある」で女性が84.2%に対し、男性が73.7%と女性が10.5ポイント上回っています。

年代別にみると、年代が上がるにつれて「ある」の割合が少なくなっています。

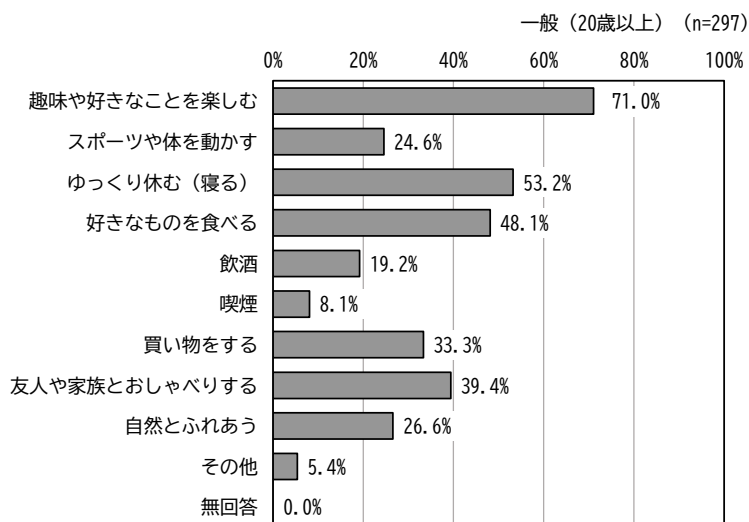
健康状態別にみると、『健康でない』では「ない」が3割を超えて多くなっています。



ストレス解消法が「ある」を選択した方のみ回答

問 ストレス解消法は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般(20歳以上)のストレス解消法については、「趣味や好きなことを楽しむ」が71.0%と最も多く、次いで、「ゆっくり休む(寝る)」が53.2%、「好きなものを食べる」が48.1%となっています。



## Ⅱ. 調査結果

### 9. 自殺について

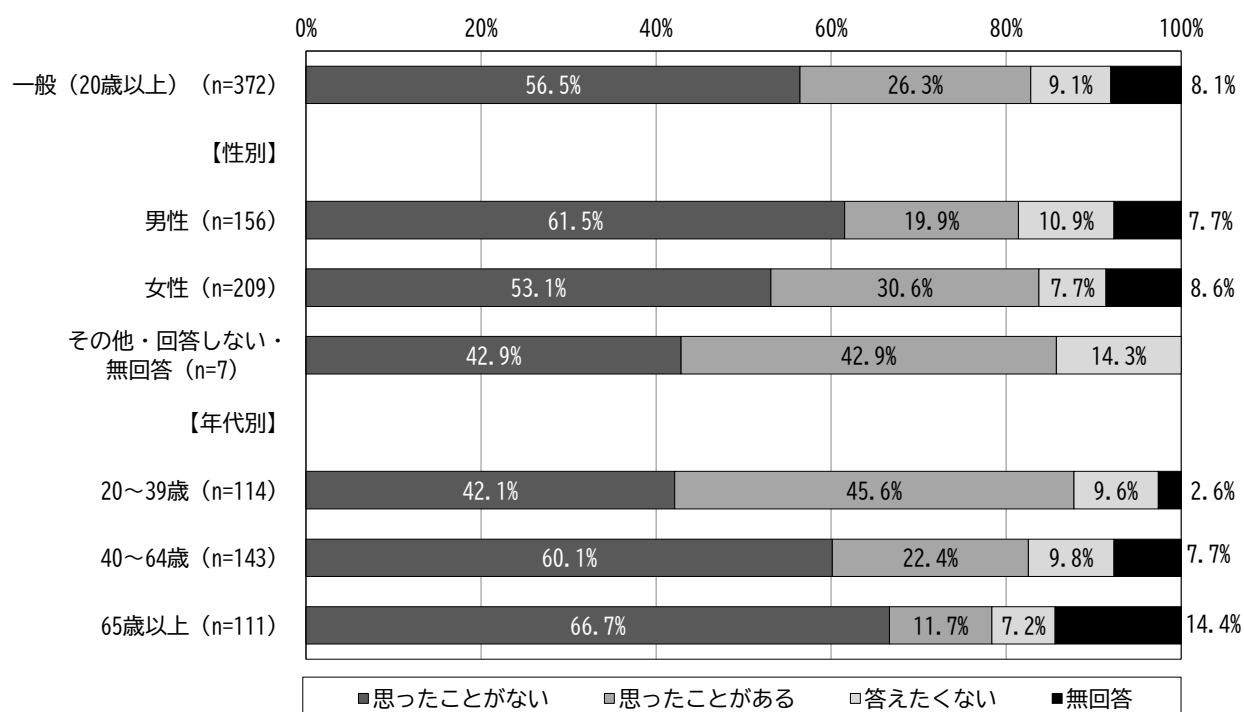
#### (1) 自殺したいと考えたことの有無

問 あなたは、これまでの人生の中で、自殺したい（死にたい）と考えたことがありますか。（○は1つ）【一般】

一般（20歳以上）の自殺したいと考えたことの有無については、「思ったことがない」が56.5%に対し、「思ったことがある」が26.3%となっています。また「答えたくない」が9.1%となっています。

性別にみると、「思ったことがある」で女性が30.6%に対し、男性が19.9%と女性が10.7ポイント上回っています。

年代別にみると、「思ったことがある」が20～39歳で4割を超えて多く、年代が上がるにつれて割合が少なくなっています。



(2) 自殺を考えた理由や原因

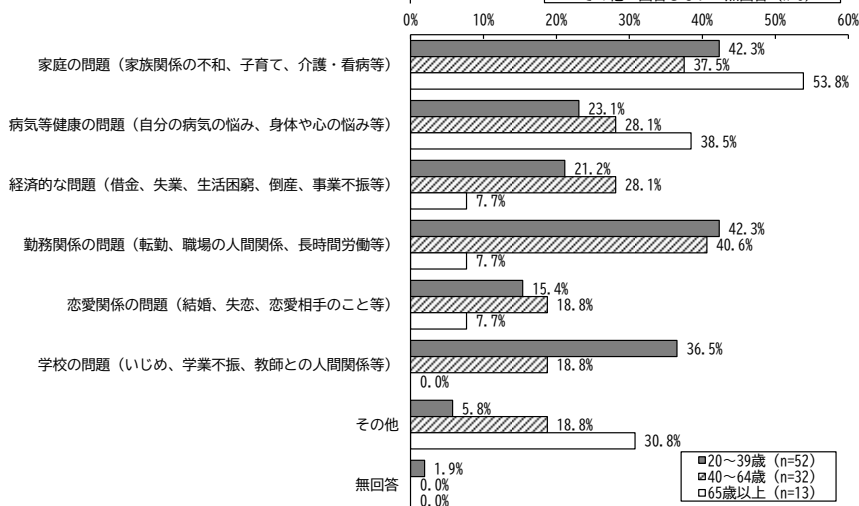
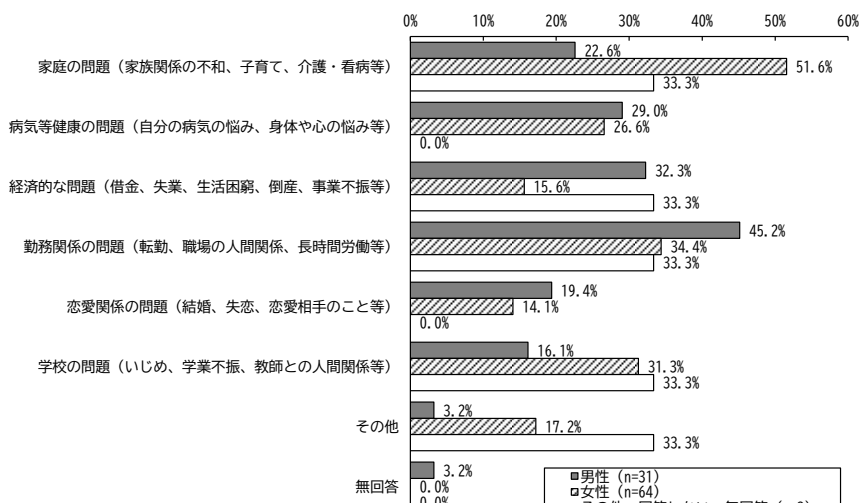
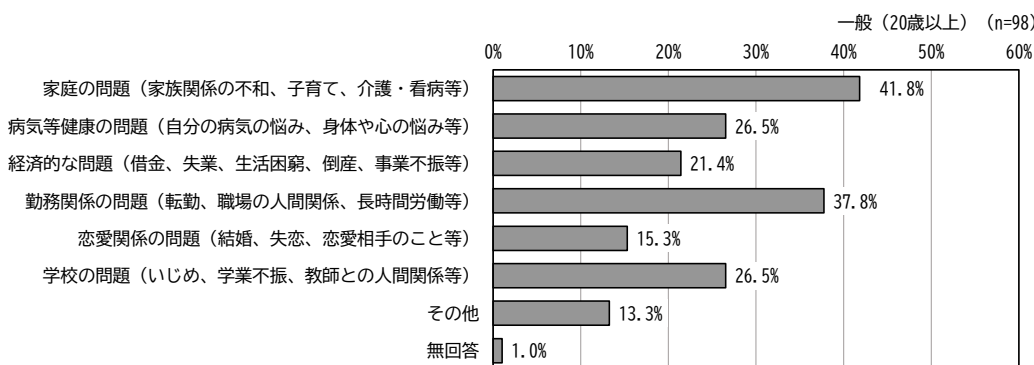
自殺したいと「思ったことがある」を選択した方のみ回答

問 自殺を考えた理由や原因はどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般(20歳以上)の自殺を考えた理由や原因については、「家庭の問題(家族関係の不和、子育て、介護・看病等)」が41.8%と最も多く、次いで、「勤務関係の問題(転勤、職場の人間関係、長時間労働等)」が37.8%、「病気等健康の問題(自分の病気の悩み、身体や心の悩み等)」、「学校の問題(いじめ、学業不振、教師との人間関係等)」がともに26.5%となっています。

性別にみると、女性で「家庭の問題」が5割を超え最も多くなっています。また、男女ともに「勤務関係の問題」の割合も多くなっています。

年代別にみると、64歳以下で「勤務関係の問題」、「学校の問題」の割合が多いほか、どの年代でも「家庭の問題」の割合が多くなっています。



## II. 調査結果

### (3) 自殺をしたいという考えを思いとどまった理由

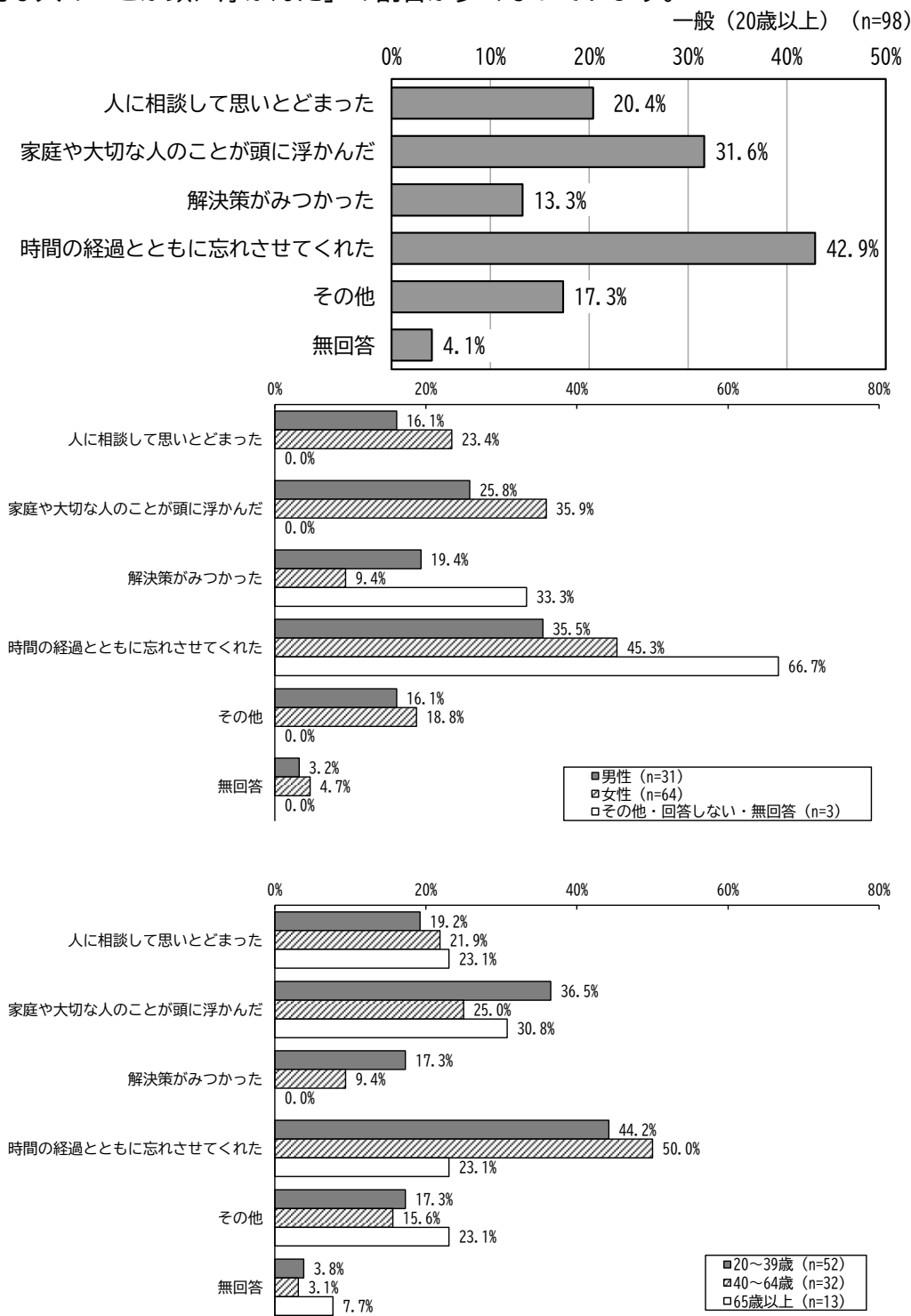
自殺したいと「思ったことがある」を選択した方のみ回答

問 自殺をしたいという考えを思いとどまった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般（20歳以上）の自殺をしたいという考えを思いとどまった理由については、「時間の経過とともに忘れさせてくれた」が42.9%と最も多く、次いで、「家庭や大切な人のことが頭に浮かんだ」が31.6%、「人に相談して思いとどまった」が20.4%となっています。

性別にみると、男女ともに「時間の経過とともに忘れさせてくれた」の割合が多くなっています。

年代別にみると、64歳以下で「時間の経過とともに忘れさせてくれた」、65歳以上では「家庭や大切な人のことが頭に浮かんだ」の割合が多くなっています。



## (4) 相談相手

自殺をしたいという考えを思いとどまった理由で「人に相談して思いとどまった」を選択した方のみ回答

問 相談相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般(20歳以上)の相談相手については、「家族や親族」が12件と最も多く、次いで、「友人・知人」が9件、「恋人」、「学校・職場関係」、「相談機関の職員(役場、医療機関等)」がそれぞれ3件となっています。

項目	件数	比率
家族や親族	12	60.0%
友人・知人	9	45.0%
恋人	3	15.0%
学校・職場関係	3	15.0%
近所の方	0	0.0%
相談機関の職員(役場、医療機関等)	3	15.0%
インターネット上など	1	5.0%
その他	1	5.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	20	
非該当	352	
合計	372	

※回答者数が少数のためグラフを省略

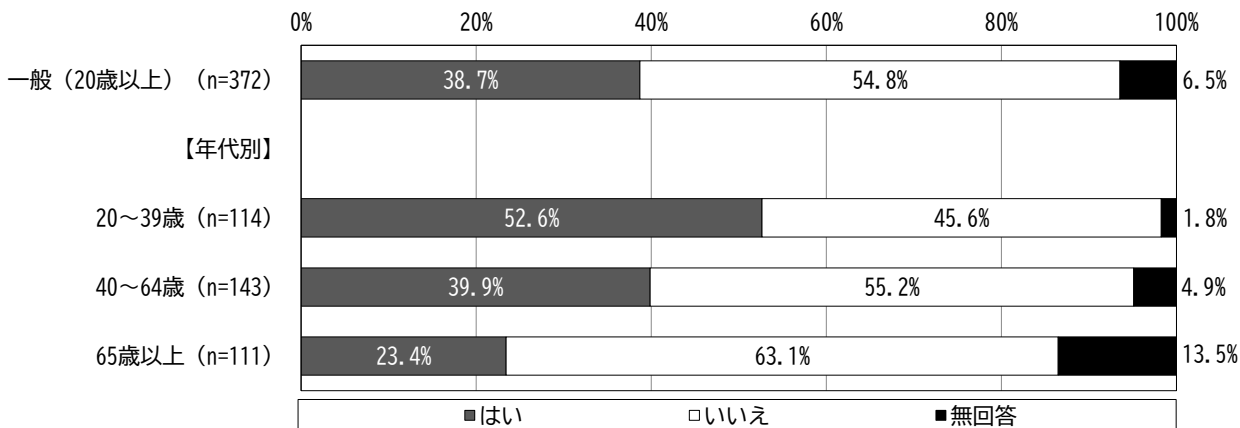
## Ⅱ. 調査結果

### (5) 専門的な相談先の認知度

問 あなたは、専門的な相談先（埼玉いのちの電話等）を知っていますか。（○は1つ）【一般】

一般（20歳以上）の専門的な相談先を知っているかについては、「はい」が38.7%に対し、「いいえ」が54.8%となっています。

年代別にみると、20～39歳で「はい」が5割を超えていますが、年代が上がるにつれて少なくなっていく、65歳以上では2割になっています。



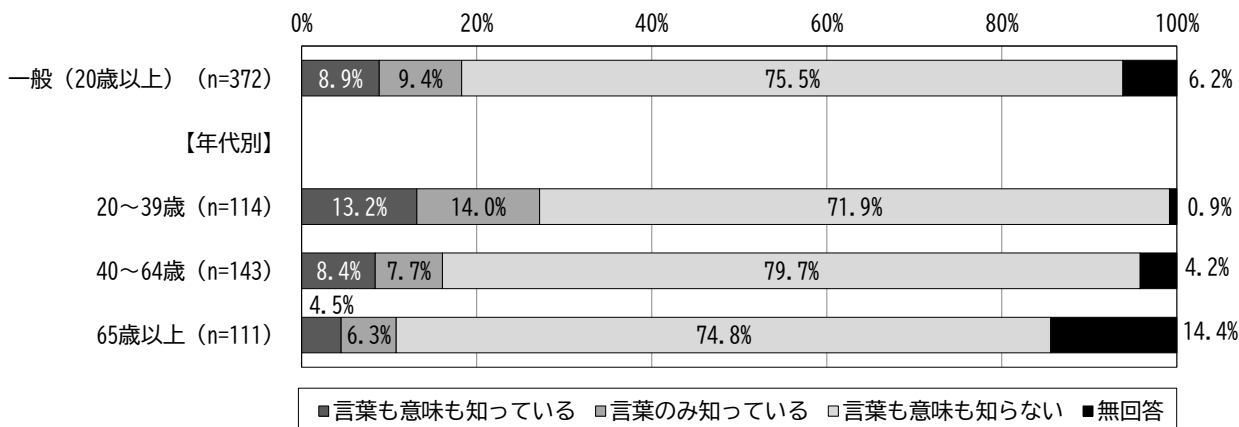
### (6) ゲートキーパーの認知度

問 ゲートキーパー※という言葉やその意味を知っていますか。（○は1つ）【一般】

※ゲートキーパーとは・・・自殺の危険を示すサインに「気づき」、「相手の気持ちに寄り添って話を聴き」、「適切な支援につなげ」、「見守っていく」人のことで、命の門番とも言われています。

一般（20歳以上）のゲートキーパーという言葉の認知度については、「言葉も意味も知らない」が75.5%と最も多く、次いで、「言葉のみ知っている」が9.4%、「言葉も意味も知っている」が8.9%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「言葉も意味も知らない」が7割を超えて多くなっています。

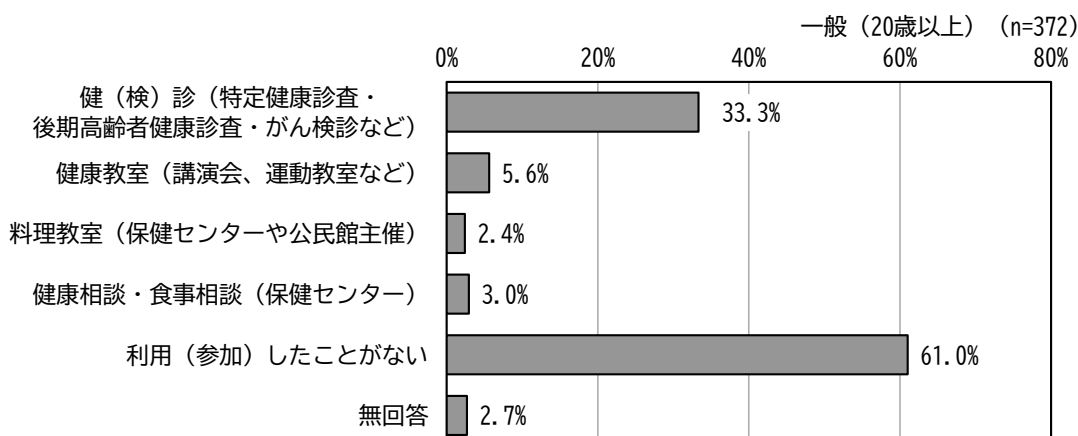


## 10. 町の健康づくり事業等について

## (1) 健康づくり事業の利用状況

問 今まで町の健康づくり事業を利用(参加)したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

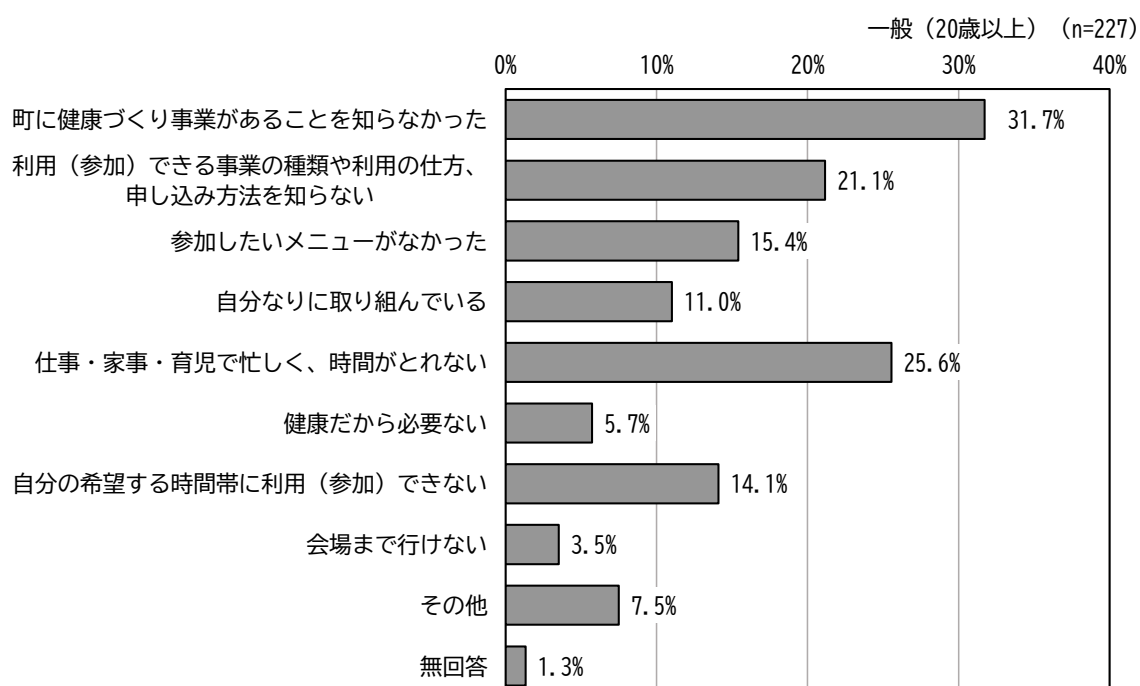
一般(20歳以上)の町の健康づくり事業の利用については、「利用(参加)したことがない」が61.0%と最も多く、次いで、「健(検)診(特定健康診査・後期高齢者健康診査・がん検診など)」が33.3%、「健康教室(講演会、運動教室など)」が5.6%となっています。



町の健康づくり事業を「利用(参加)したことがない」を選択した方のみ回答

問 利用(参加)したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【一般】

一般(20歳以上)の町の健康づくり事業を利用したことがない理由については、「町に健康づくり事業があることを知らなかった」が31.7%と最も多く、次いで、「仕事・家事・育児で忙しく、時間がとれない」が25.6%、「利用(参加)できる事業の種類や利用の仕方、申し込み方法を知らない」が21.1%となっています。



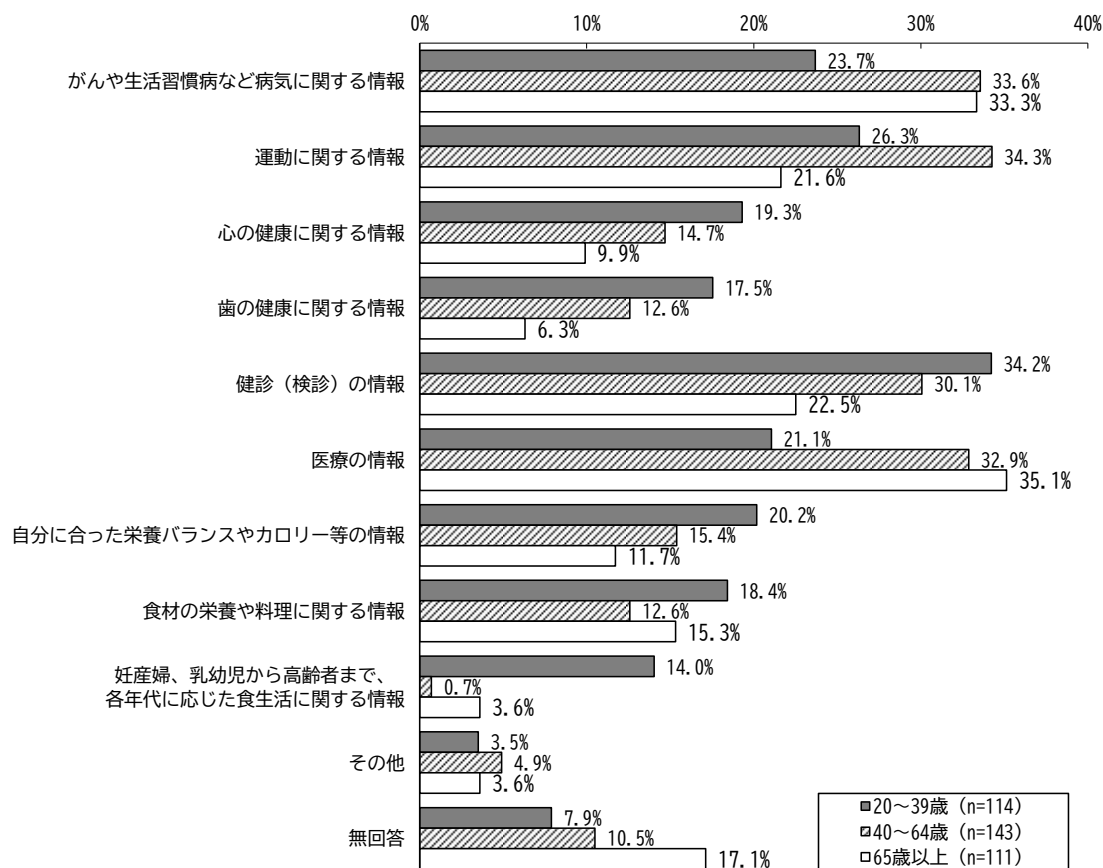
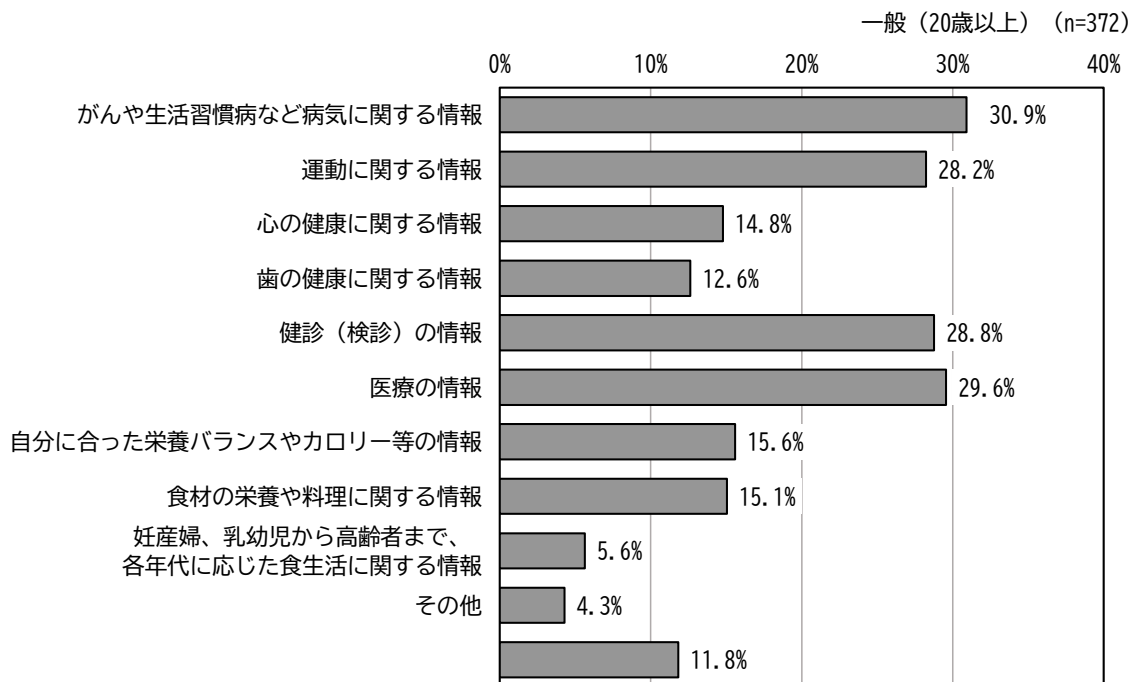
## Ⅱ. 調査結果

### (2) 健康に関する情報

問 健康に関するどのような情報がほしいですか。(〇は3つまで)【一般】

一般(20歳以上)の健康に関するどのような情報がほしいかについては、「がんや生活習慣病など病気に関する情報」が30.9%と最も多く、次いで、「医療の情報」が29.6%、「健診(検診)の情報」が28.8%となっています。

年代別にみると、20~39歳で「健診(検診)の情報」、40~64歳で「運動に関する情報」、65歳以上で「医療の情報」の割合が最も多くなっています。

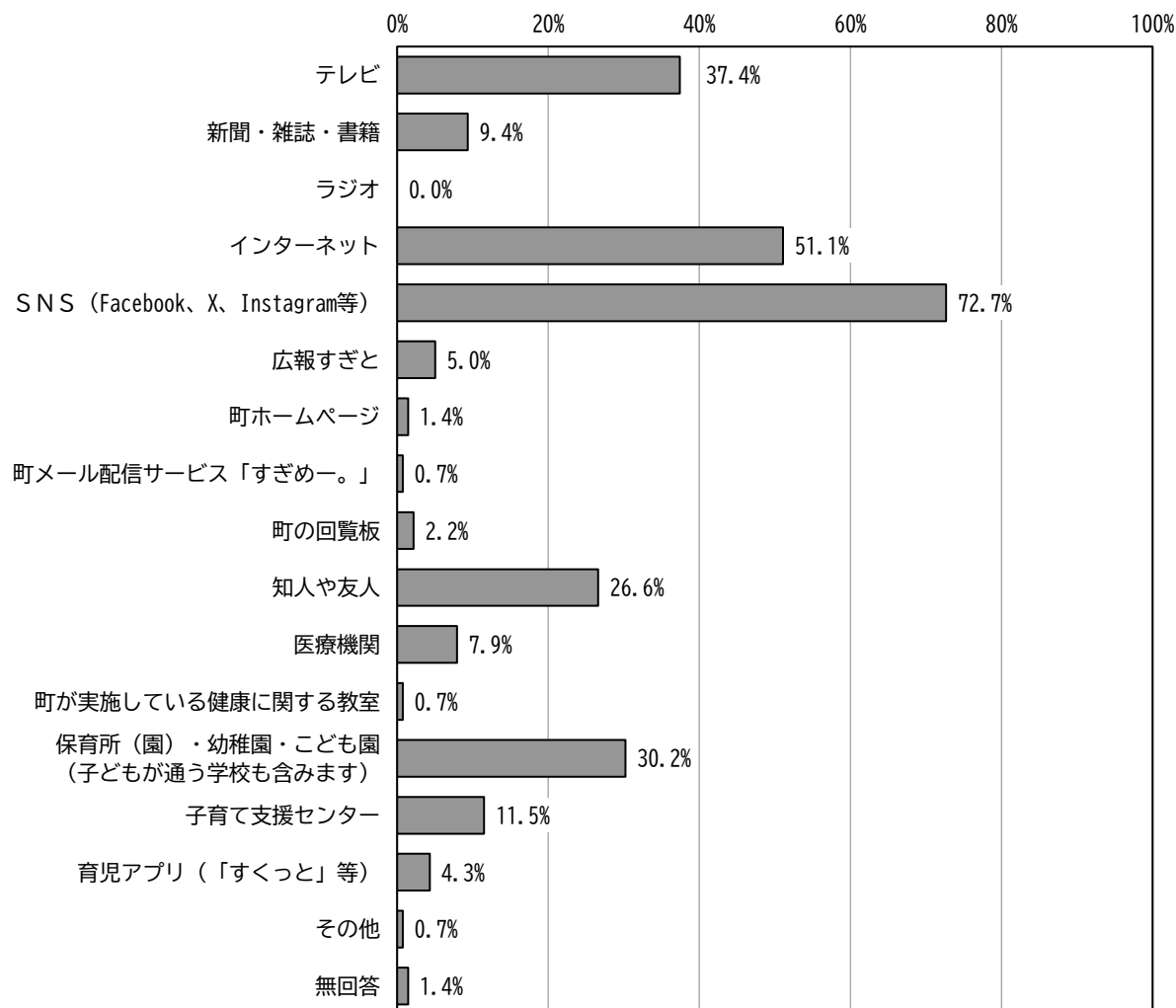


問 あなたは、健康づくりや食育に関する情報をどのようなところで入手していますか。(あてはまるものすべてに○)【幼児・16～19歳・一般】

【幼児の保護者】

幼児の保護者の健康づくりや食育に関する情報の入手先については、「SNS (Facebook、X、Instagram等)」が72.7%と最も多く、次いで、「インターネット」が51.1%、「テレビ」が37.4%となっています。

幼児の保護者 (n=139)

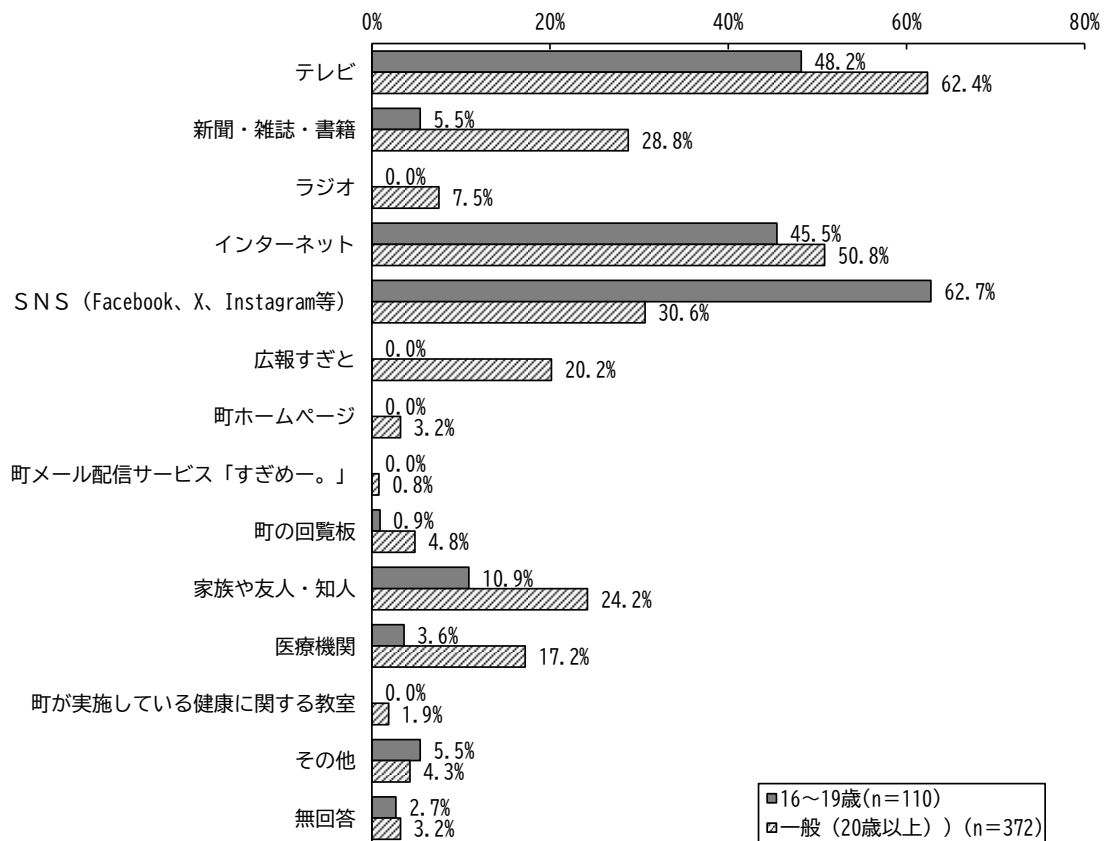


## II. 調査結果

### 【16～19 歳・一般】

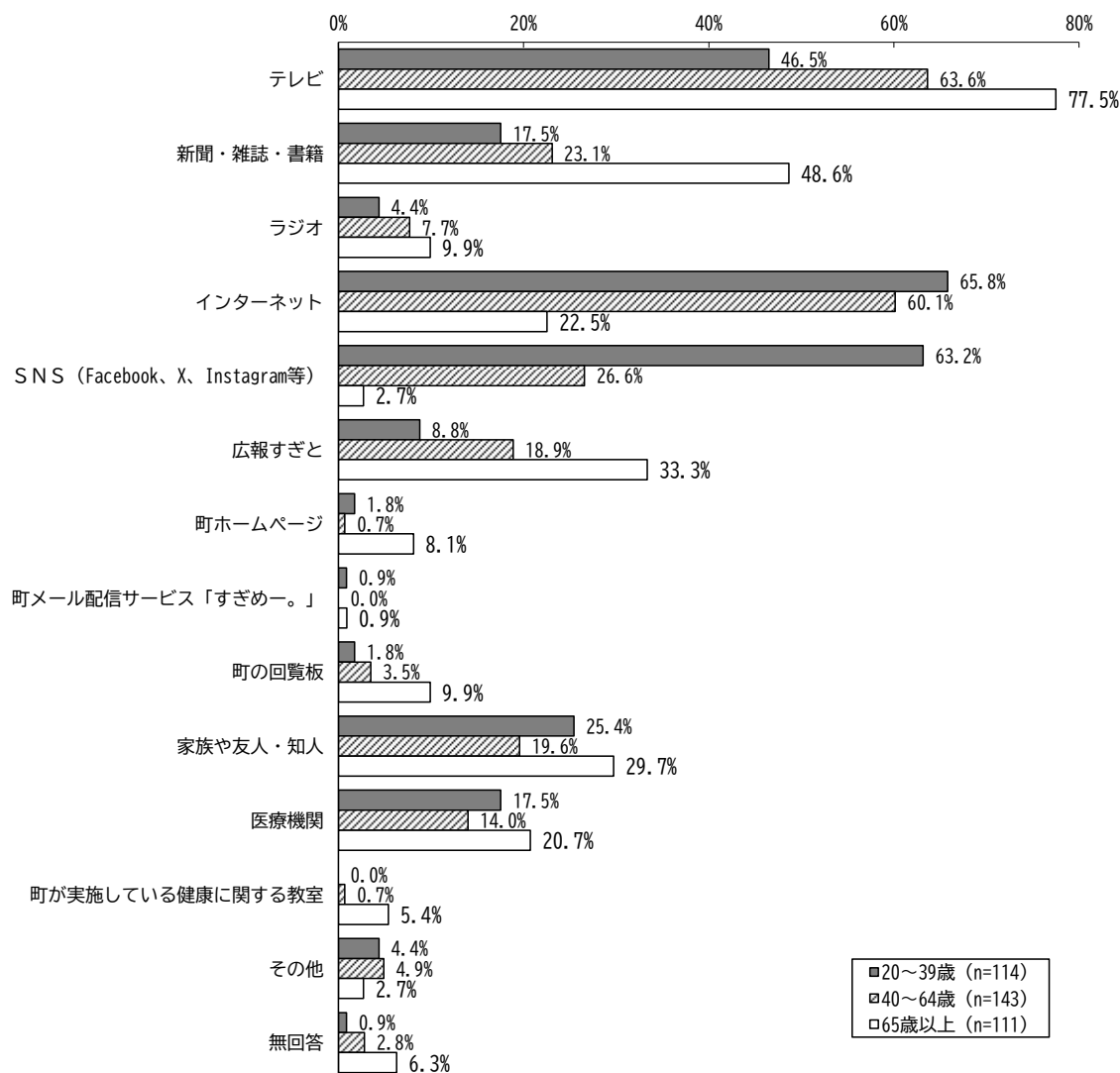
16～19 歳の健康づくりや食育に関する情報の入手先については、「SNS（Facebook、X、Instagram 等）」が 62.7%と最も多く、次いで、「テレビ」が 48.2%、「インターネット」が 45.5%となっています。

一般(20 歳以上)では、「テレビ」が 62.4%と最も多く、次いで、「インターネット」が 50.8%、「SNS（Facebook、X、Instagram 等）」が 30.6%となっています。



【年代別】

一般（20歳以上）を年齢別にみると、40歳以上で「テレビ」の割合が最も多く、20～39歳は「インターネット」、「SNS」が6割を超えて多くなっています。一方、65歳以上は「新聞・雑誌・書籍」、「広報すぎと」といった印刷物の割合が他年代より多くなっています。



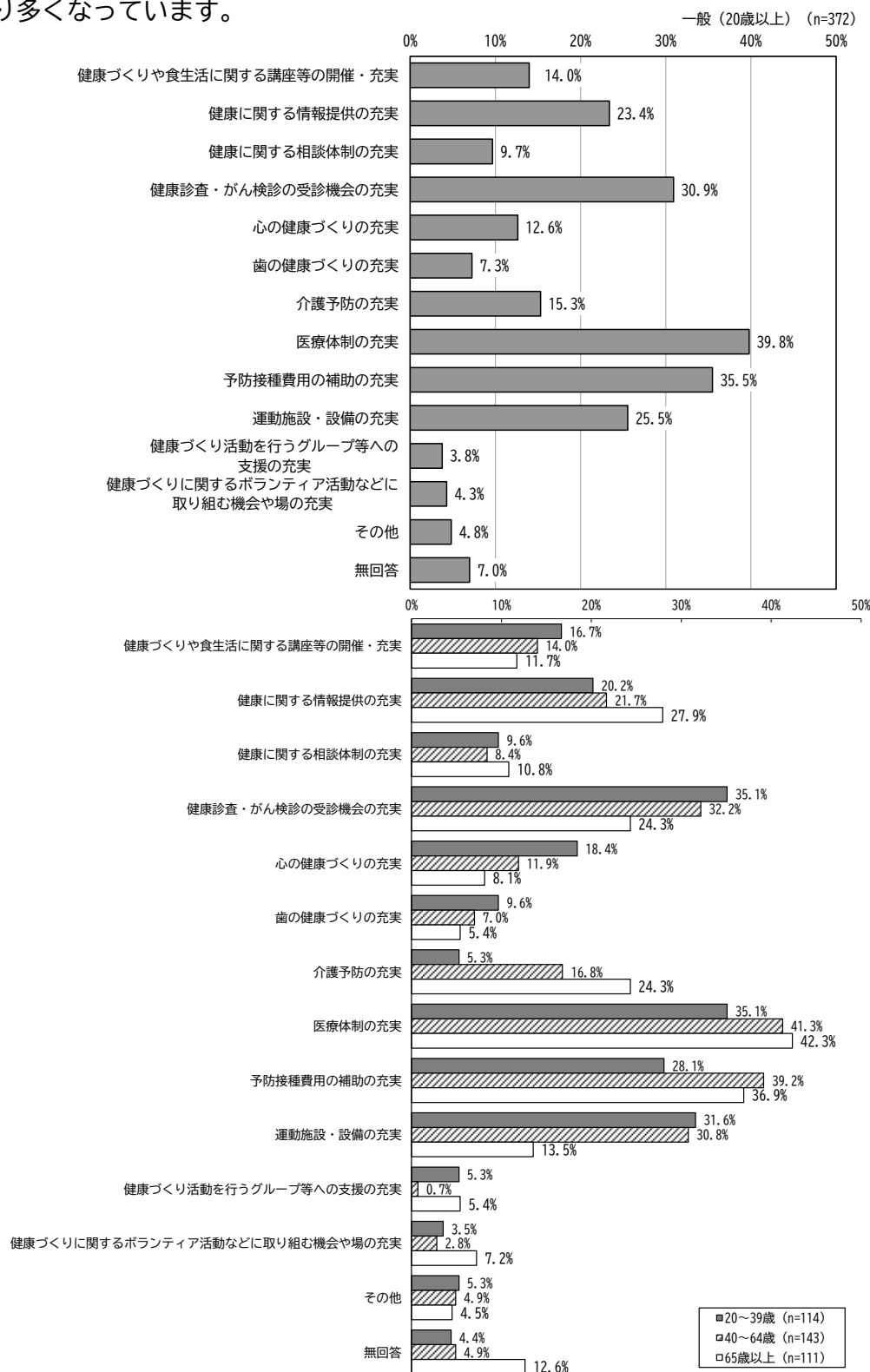
## II. 調査結果

### (3) 町の事業について

問 町の事業に対し、あなたが健康な生活を送っていく上で、どのようなことが充実するとよいと思いますか。(〇は3つまで)【一般】

一般(20歳以上)の健康な生活を送る上で町の事業に希望することについては、「医療体制の充実」が39.8%と最も多く、次いで、「予防接種費用の補助の充実」が35.5%、「健康診査・がん検診の受診機会の充実」が30.9%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「医療体制の充実」の割合が最も多く、20～39歳で「健康診査・がん検診の受診機会の充実」、40歳以上で「予防接種費用の補助の充実」の割合が他年代より多くなっています。



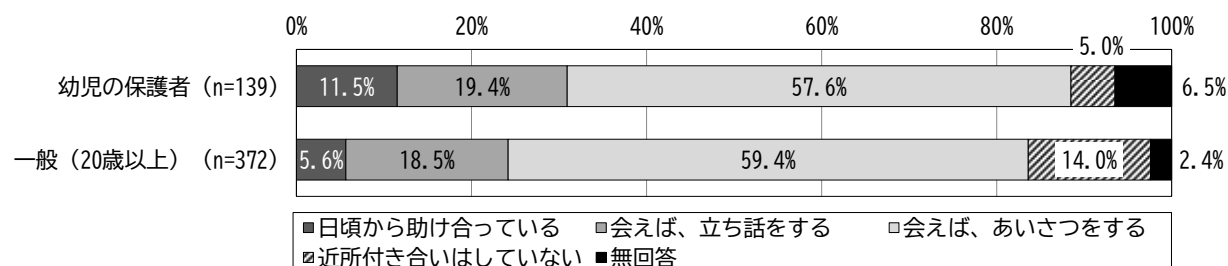
## 11. グループ活動の取組について

### (1) 近所の人との付き合いの状況

問 あなたは、近所の人と、どの程度の付き合いをしていますか。(〇は1つ)【幼児・一般】

幼児の保護者の近所の人との付き合いについては、「会えば、あいさつをする」が57.6%と最も多く、次いで、「会えば、立ち話をする」が19.4%、「日頃から助け合っている」が11.5%となっています。

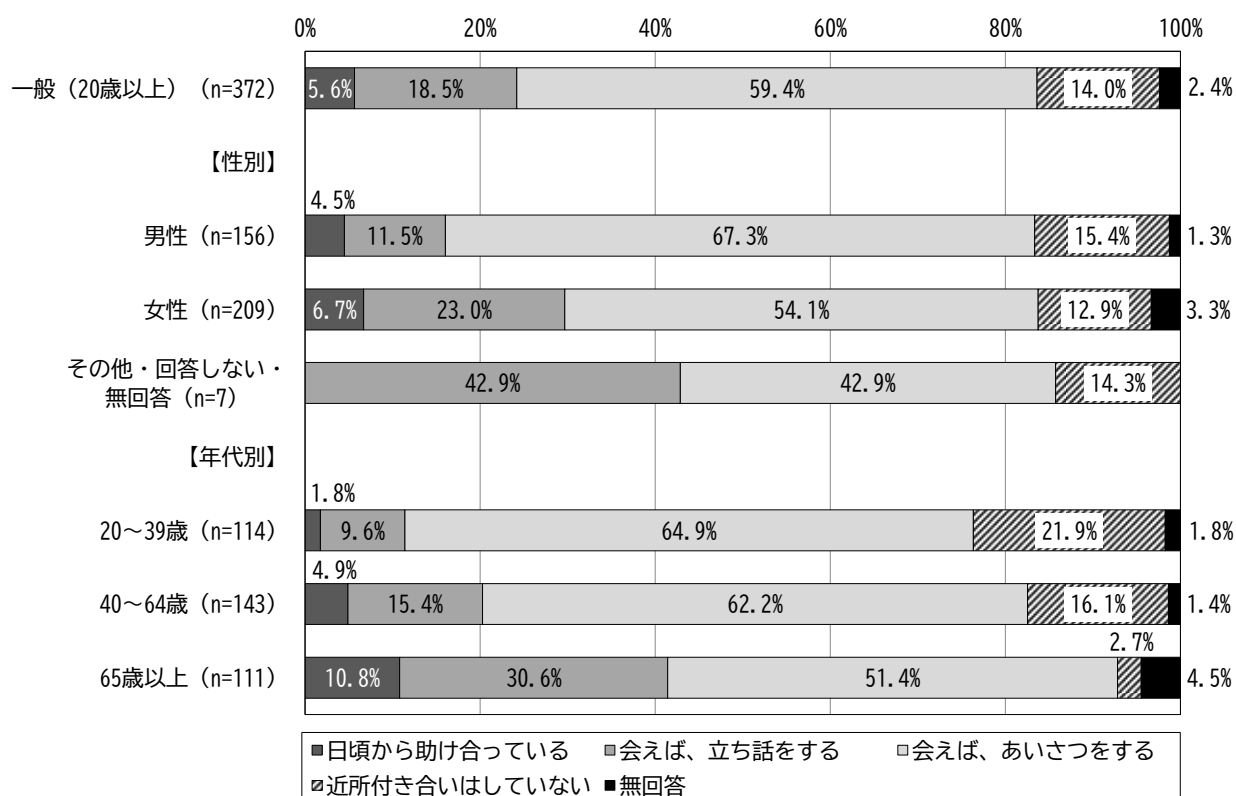
一般(20歳以上)の近所の人との付き合いについては、「会えば、あいさつをする」が59.4%と最も多く、次いで、「会えば、立ち話をする」が18.5%、「近所付き合いはしていない」が14.0%となっています。



#### 【性別・年代別】

一般(20歳以上)を性別にみると、「日頃から助け合っている」、「会えば、立ち話をする」が女性の方が多くなっており、男性より女性の方が近所の人と親密に付き合っている傾向となっています。

年代別にみると、64歳以下の「近所付き合いはしていない」が多くなっており、20~39歳は2割を超えています。



## Ⅱ. 調査結果

### (2) グループ活動の参加状況

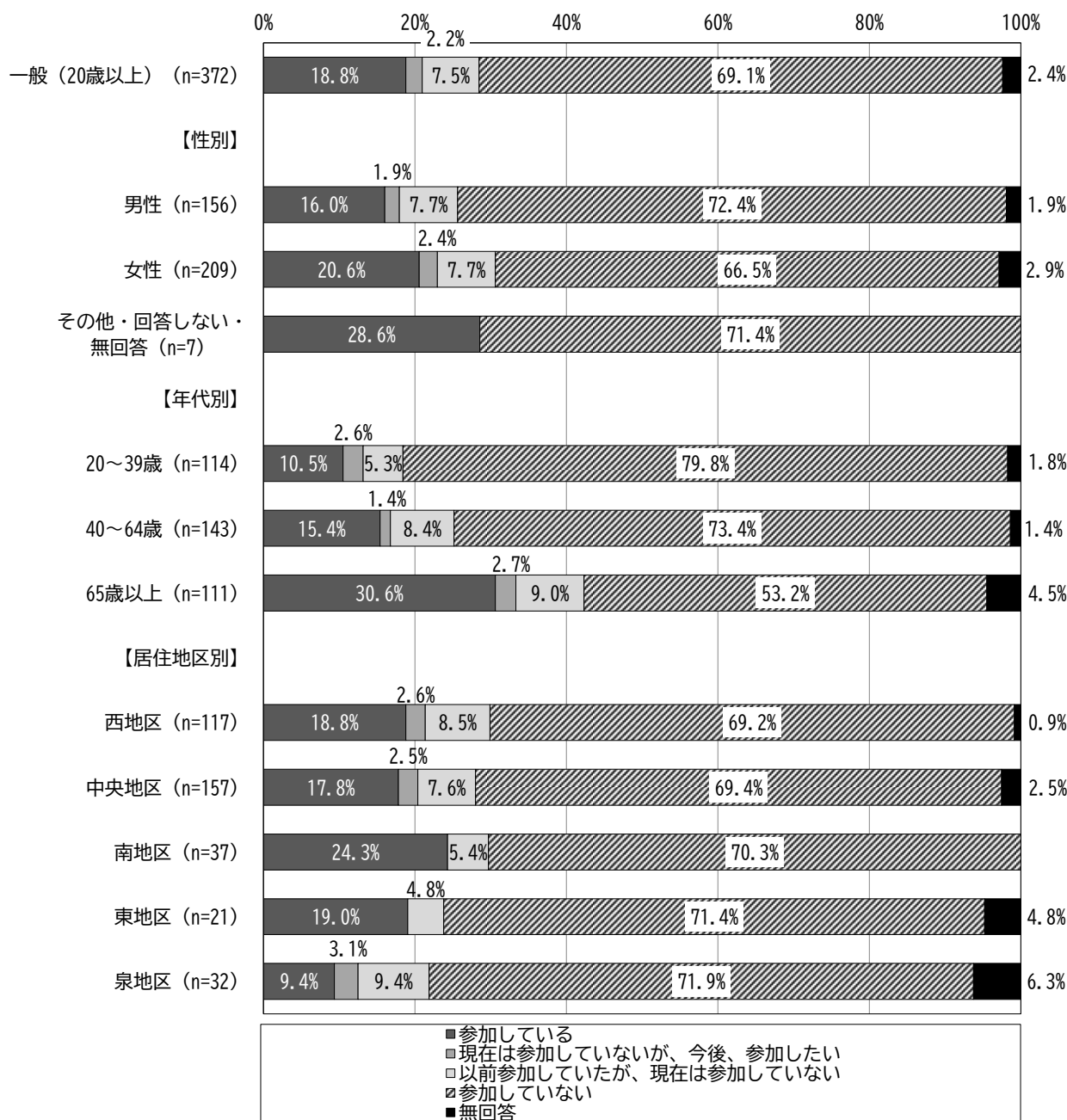
問 あなたは、グループ活動（町内会、ボランティア、サークルなど）に参加していますか。（○は1つ）  
【一般】

一般（20歳以上）のグループ活動の参加状況については、「参加していない」が69.1%と最も多く、次いで、「参加している」が18.8%、「以前参加していたが、現在は参加していない」が7.5%となっています。

性別にみると、「参加している」は女性が20.6%と2割を超えており、男性の16.0%を4.6ポイント上回っています。

年代別にみると、「参加している」が年代が上がるにつれて多くなっており、65歳以上で3割となっています。

居住地区別にみると、「参加している」では「南地区」が24.3%と最も多く、次いで「東地区」が19.0%、「西地区」が18.8%となっています。



### (3) グループ活動に参加する条件

グループ活動の参加状況で「現在は参加していないが、今後、参加したい」を選択した方のみ回答

問 あなたが、グループ活動に参加するにはどのような条件が必要だと思いますか。(〇は3つまで)  
【一般】

グループ活動に参加するのに必要な条件については、「自分の興味・関心のある活動である」が6件と最も多く、次いで、「経験、知識が得られる」、「身近な場所で参加できる」、「気の合う人や、同年代の人が多く参加している」がそれぞれ4件となっています。

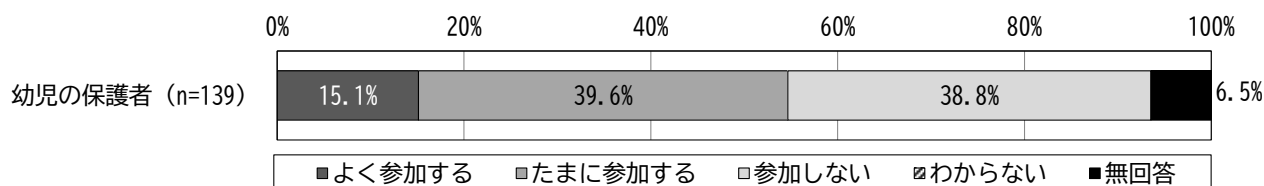
項目	件数	比率
自分の興味・関心のある活動である	6	75.0%
経験、知識が得られる	4	50.0%
夜間、土日でも参加できる	3	37.5%
身近な場所で参加できる	4	50.0%
気の合う人や、同年代の人が多く参加している	4	50.0%
費用が手ごろである	2	25.0%
子どもや介護の必要な家族をあずかってもらえる	1	12.5%
その他	0	0.0%
特になし	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	8	
非該当	364	
合計	372	

※回答者数が少数のためグラフを省略

### (4) 子育て支援センター、子育てサークルや教室の参加状況

問 子育て支援センターに行ったり、子育てサークルや教室などに参加したりしていますか。(〇は1つ)【幼児】

幼児の保護者の子育て支援センター、子育てサークルや教室の参加状況については、「よく参加する」、「たまに参加する」を合わせた『参加する』が54.7%に対し、「参加しない」が38.8%となっています。



## Ⅱ. 調査結果

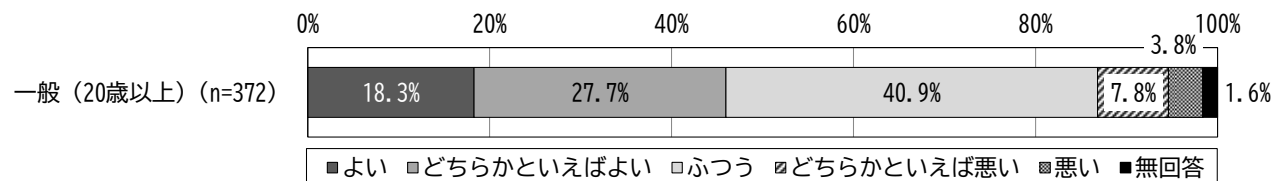
### 12. 生活状況について

#### (1) 杉戸町の住み心地

問 杉戸町の住み心地はいかがですか。(○は1つ)【一般】

一般(20歳以上)の杉戸町の住み心地については、「よい」、「どちらかといえばよい」を合わせた『よい』が46.0%に対し、「どちらかといえば悪い」、「悪い」を合わせた『悪い』が11.6%となっています。

また、「ふつう」が40.9%となっています。

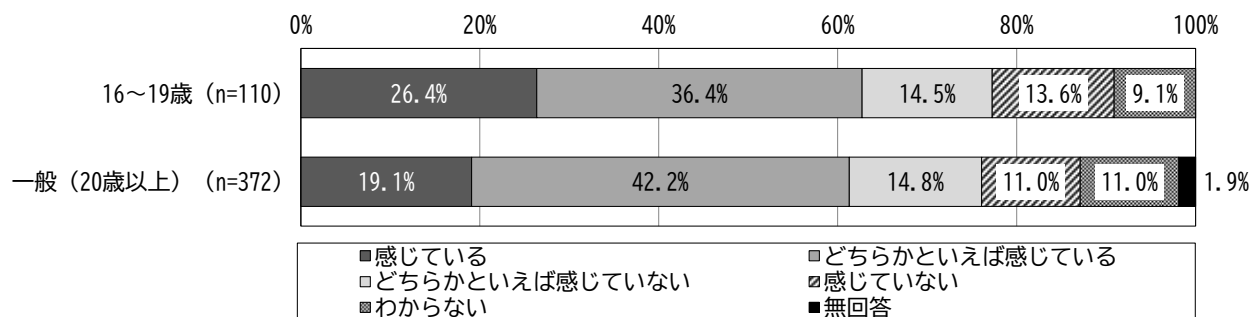


#### (2) 杉戸町への愛着

問 あなたは、杉戸町に「自分のまち」といった愛着や親しみを感じていますか。(○は1つ)【16~19歳・一般】

16~19歳の杉戸町への愛着については、「感じている」、「どちらかといえば感じている」を合わせた『感じている』が62.8%に対し、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」を合わせた『感じていない』が28.1%となっています。

一般(20歳以上)では、『感じている』が61.3%に対し、『感じていない』が25.8%となっています。

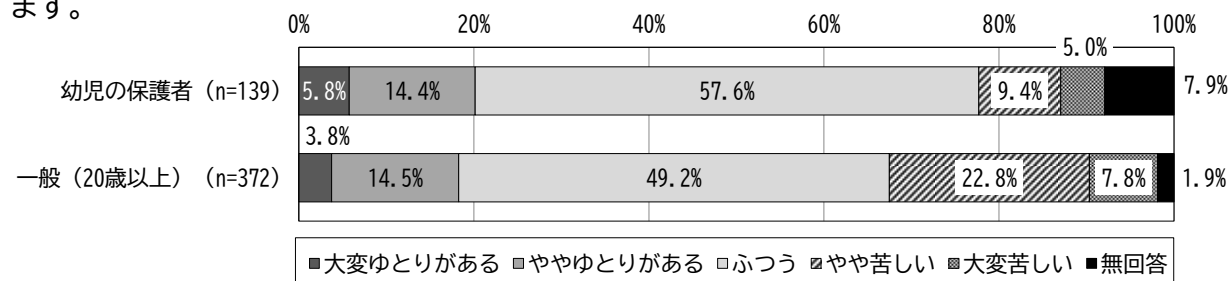


(3) 現在の暮らしの経済的な状況

問 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)【幼児・一般】

幼児の保護者の現在の暮らしの経済的な状況については、「大変ゆとりがある」、「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が20.2%に対し、「やや苦しい」、「大変苦しい」を合わせた『苦しい』が14.4%となっています。

一般(20歳以上)では、『ゆとりがある』が18.3%に対し、『苦しい』が30.6%となっています。

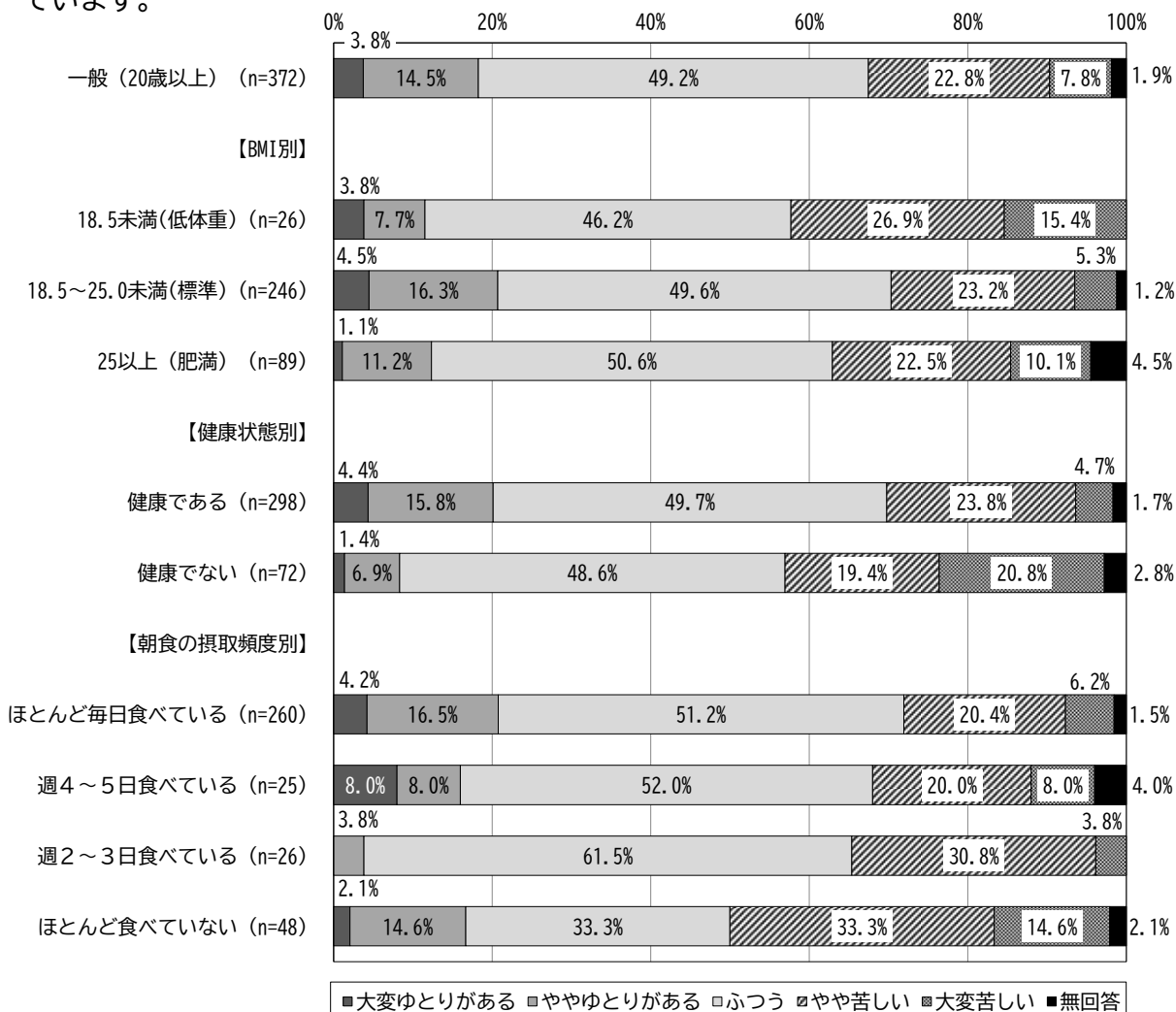


【BMI別・健康状態別・朝食の摂取頻度別】

一般(20歳以上)をBMI別にみると、『苦しい』がBMI18.5未満で4割を超えて多くなっています。

健康状態別にみると、『苦しい』が『健康でない』で40.2%に対し、『健康である』が28.5%と『健康でない』が11.7ポイント上回っています。

朝食の摂取頻度別にみると、朝食の欠食率が上がるにつれて、『苦しい』の割合が多くなっています。



## II. 調査結果

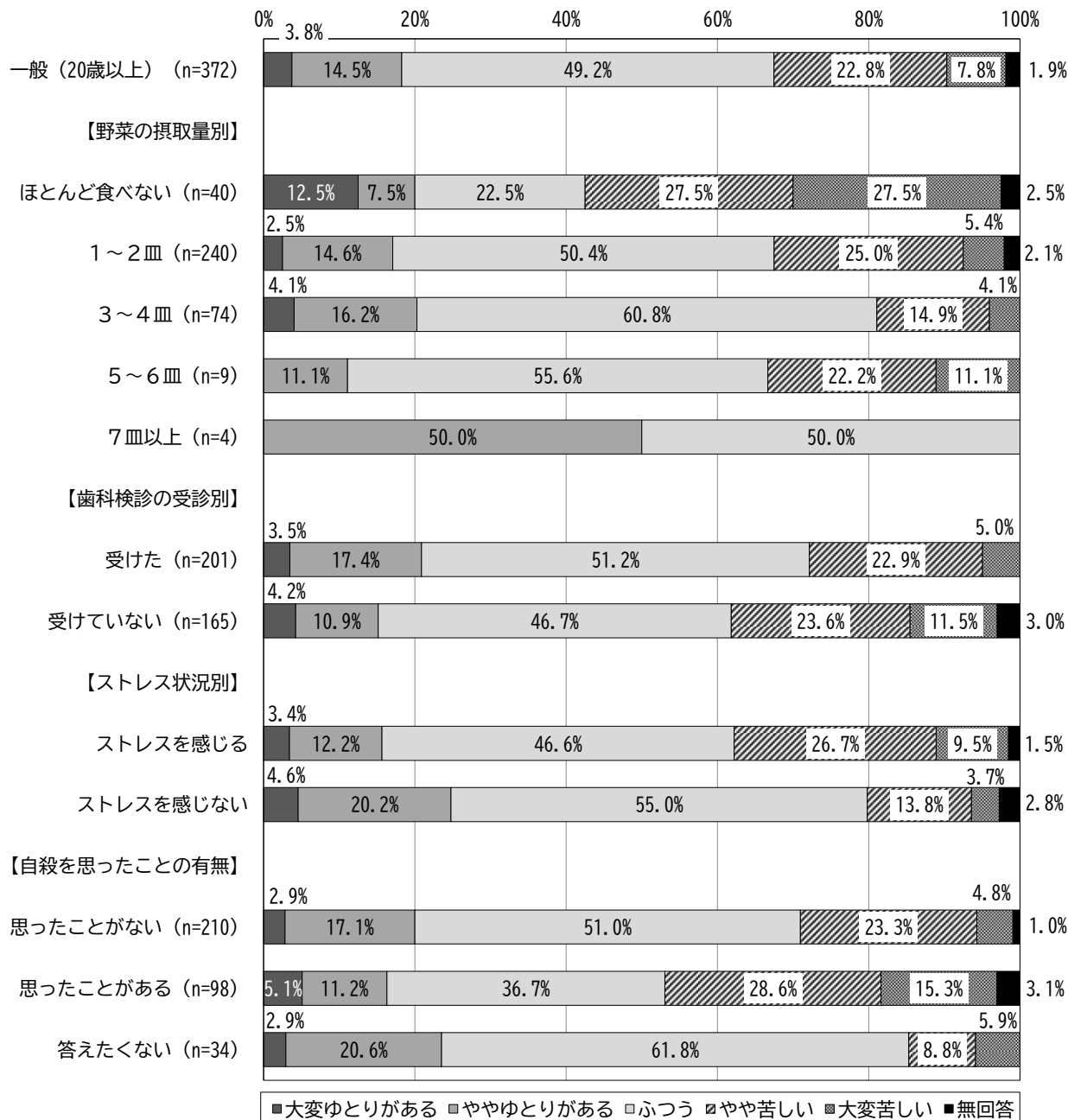
### 【野菜の摂取量別・歯科検診の受診別・ストレス状況別・自殺を思ったことの有無】

野菜の摂取量別にみると、「ほとんど食べない」で『苦しい』が5割を超えて多くっており、ゆとりの割合が上がるにつれて摂取量も増える傾向となっています。

歯科検診の受診別にみると、『苦しい』で「受けていない」が35.1%と3割を超えています。

ストレス状況別にみると『苦しい』では、『ストレスを感じる』が36.2%に対し、『ストレスを感じない』が17.5%と『ストレスを感じる』が18.7ポイント上回っています。

自殺を思ったこととみると『苦しい』では、「思ったことがある」が43.9%に対し、「思ったことがない」が28.1%と「思ったことがある」が15.8ポイント上回っています。



## 13. 医療ニーズについて

### (1) かかりつけ医の有無

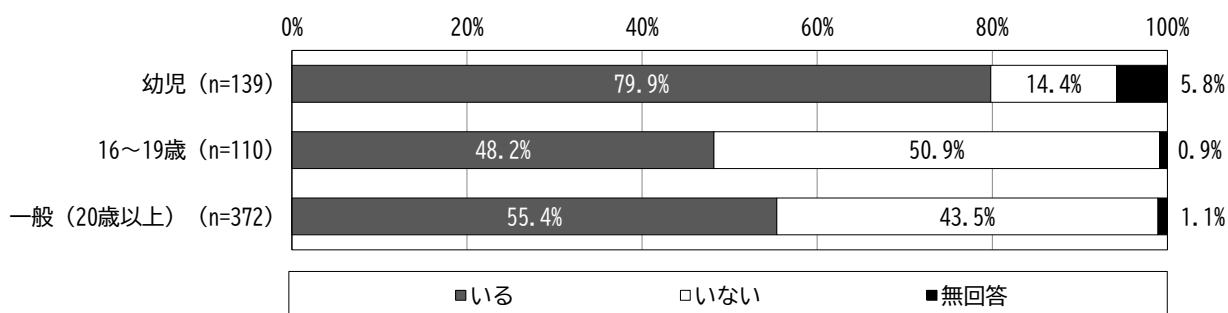
問 かかりつけ医\*はいますか。(○は1つ)【幼児・16～19歳・一般】

※かかりつけ医とは・・・健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと。

幼児のかかりつけ医の有無については「いる」が79.9%に対し、「いない」が14.4%となっています。

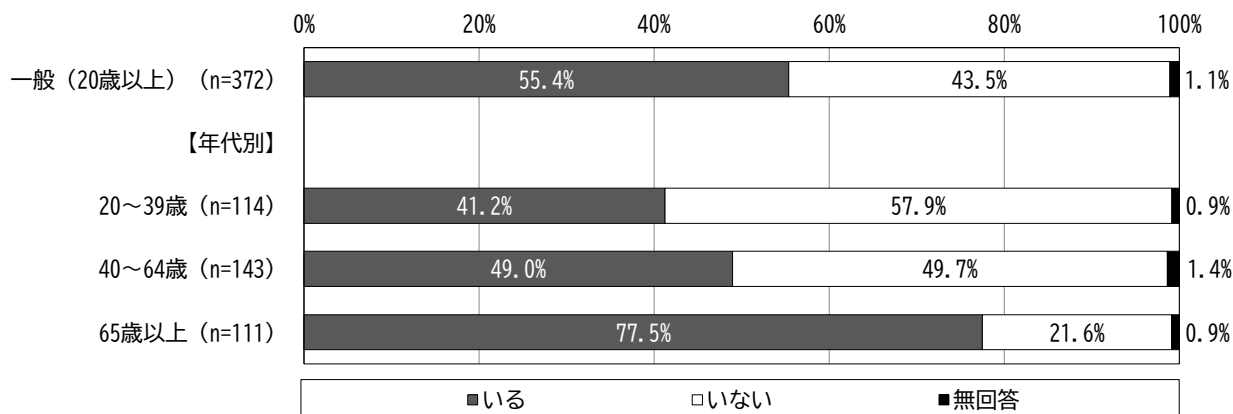
16～19歳では「いる」が48.2%に対し、「いない」が50.9%となっています。

一般(20歳以上)では「いる」が55.4%に対し、「いない」が43.5%となっています。



#### 【年代別】

一般(20歳以上)を年代別にみると、65歳以上で「いる」の割合が7割を超えており、年代が上がるにつれて多くなっています。



## Ⅱ. 調査結果

### (2) かかりつけ医の場所

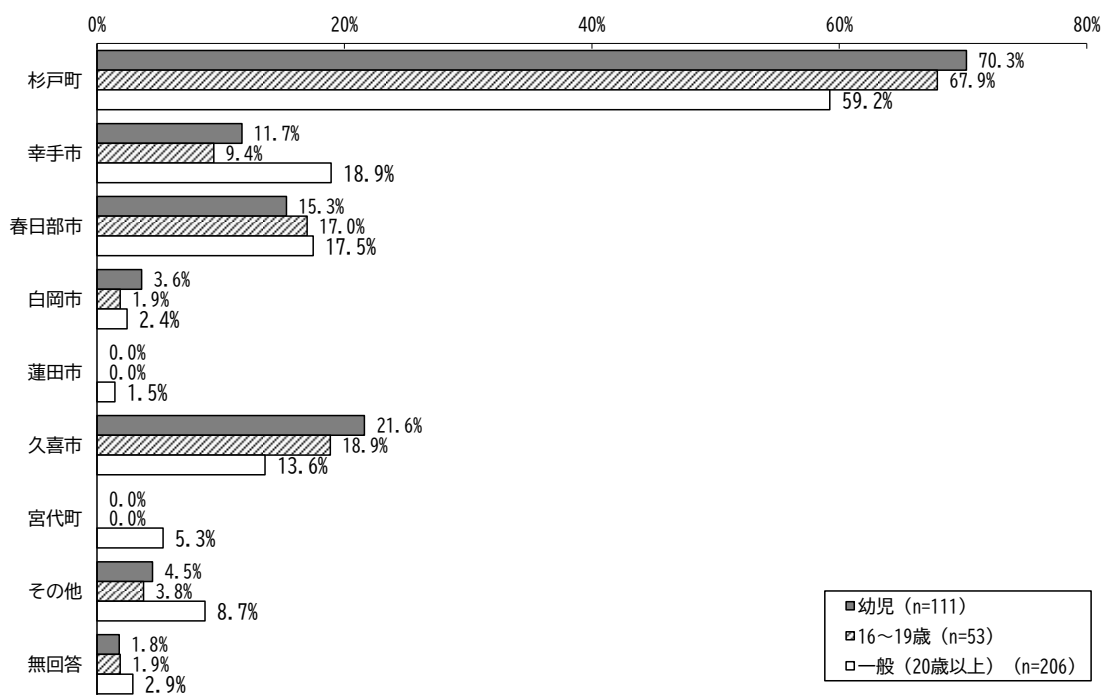
かかりつけ医が「いる」を選択した方のみ回答

問 かかりつけ医はどちらですか。(あてはまるものすべてに○)【幼児・16～19歳・一般】

幼児のかかりつけ医の場所については、「杉戸町」が70.3%と最も多く、次いで、「久喜市」が21.6%、「春日部市」が15.3%となっています。

16～19歳でも、「杉戸町」が67.9%と最も多く、次いで、「久喜市」が18.9%、「春日部市」が17.0%となっています。

一般(20歳以上)でも、「杉戸町」が59.2%と最も多く、次いで、「幸手市」が18.9%、「春日部市」が17.5%となっています。



### (3) かかりつけ医に望むこと

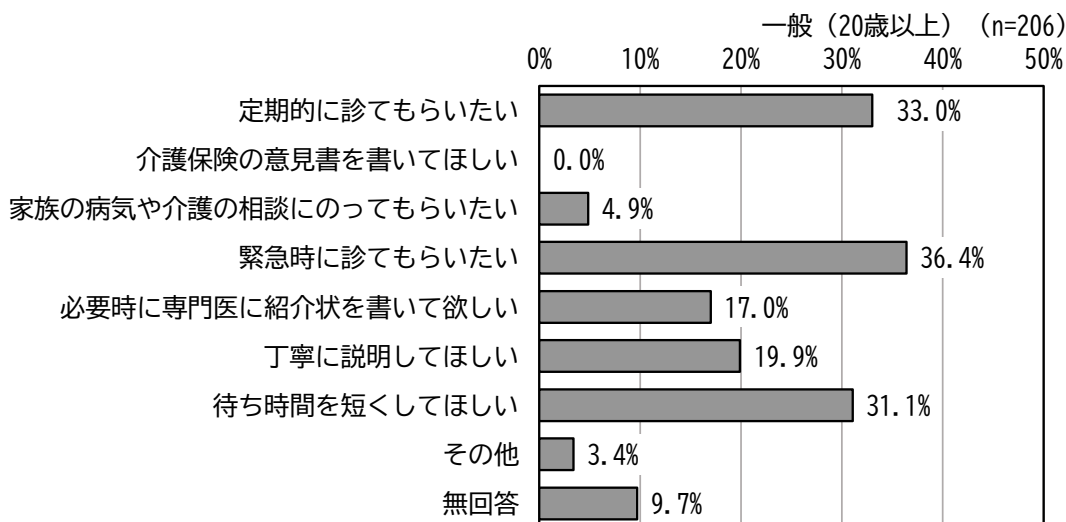
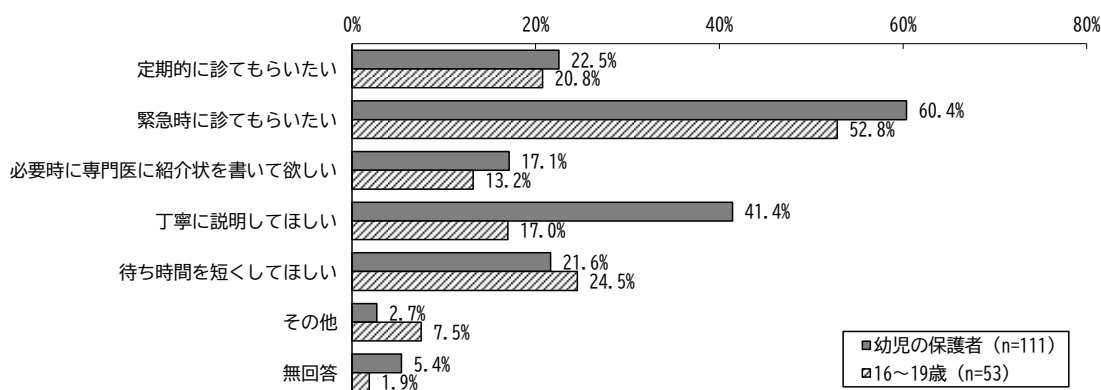
でかかりつけ医が「いる」を選択した方のみ回答

問 かかりつけ医に何を望みますか。(〇は2つまで)【幼児・16～19歳・一般】

幼児の保護者のかかりつけ医に望むことについては、「緊急時に診てほしい」が60.4%と最も多く、次いで、「丁寧に説明してほしい」が41.4%、「定期的に診てほしい」が22.5%となっています。

16～19歳では、「緊急時に診てほしい」が52.8%と最も多く、次いで、「待ち時間を短くしてほしい」が24.5%、「定期的に診てほしい」が20.8%となっています。

一般(20歳以上)では、「緊急時に診てほしい」が36.4%と最も多く、次いで、「定期的に診てほしい」が33.0%、「待ち時間を短くしてほしい」が31.1%となっています。



## Ⅱ. 調査結果

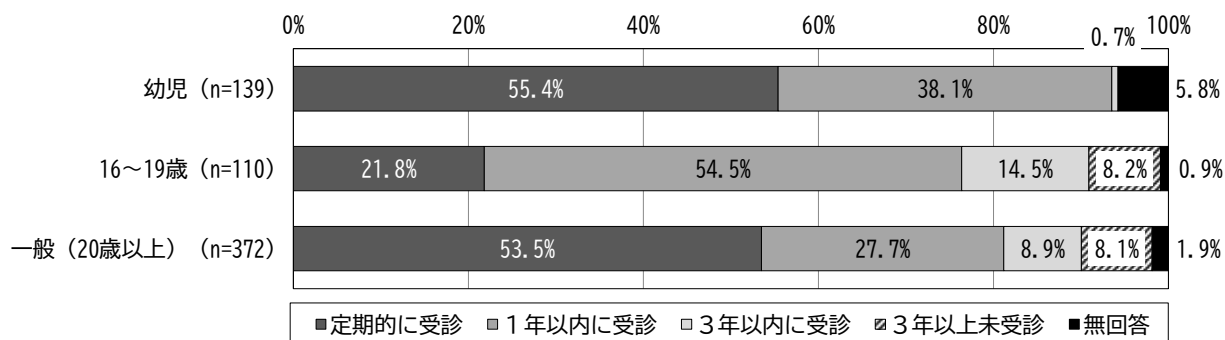
### (4) 医療機関の受診頻度

問 あなたは、どのくらいの頻度でクリニックや病院等の医療機関を受診していますか。(○は1つ)  
【幼児・16～19歳・一般】

幼児の医療機関の受診頻度については、「定期的に受診」が55.4%と最も多く、次いで、「1年以内に受診」が38.1%、「3年以内に受診」が0.7%となっています。

16～19歳では、「1年以内に受診」が54.5%と最も多く、次いで、「定期的に受診」が21.8%、「3年以内に受診」が14.5%となっています。

一般(20歳以上)では、「定期的に受診」が53.5%と最も多く、次いで、「1年以内に受診」が27.7%、「3年以内に受診」が8.9%となっています。



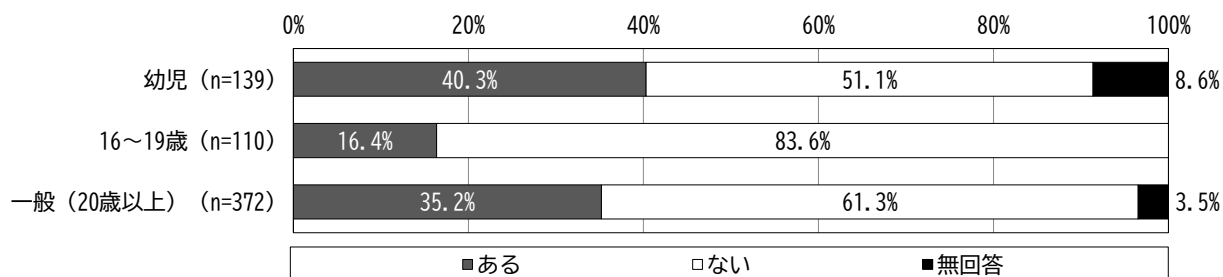
### (5) 医療機関を受診する際の困りごと

問 医療機関を受診する際、困っていることはありますか。(○は1つ)【幼児・16～19歳・一般】

幼児の医療機関を受診する際の困り事の有無については、「ある」が40.3%に対し、「ない」が51.1%となっています。

16～19歳では、「ある」が16.4%に対し、「ない」が83.6%となっています。

一般(20歳以上)では、「ある」が35.2%に対し、「ない」が61.3%となっています。

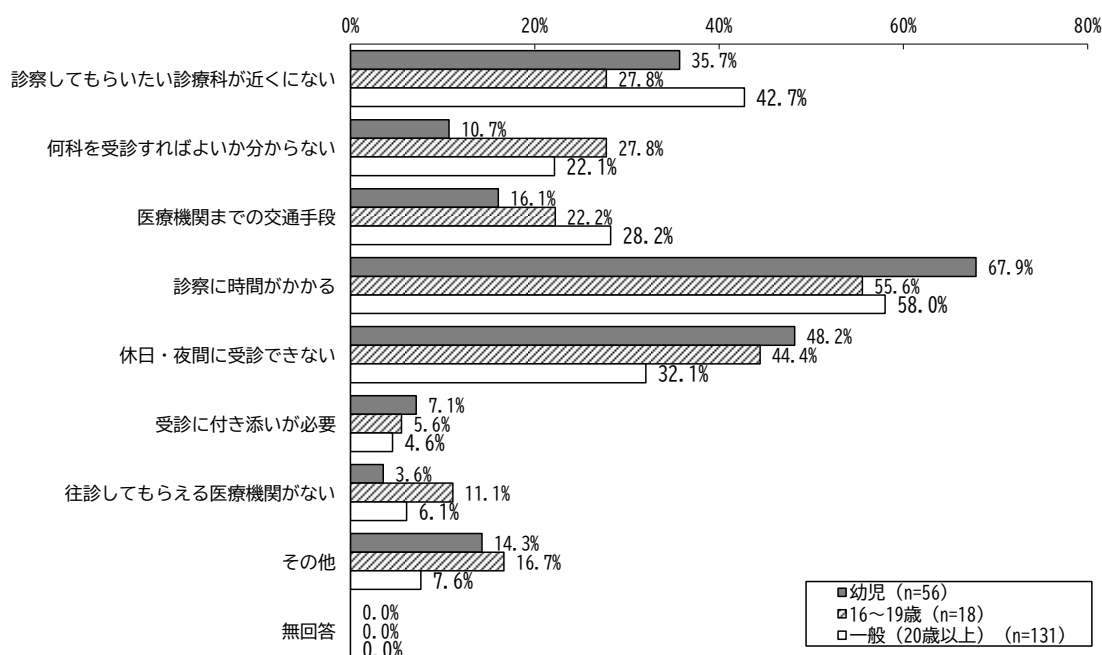


医療機関を受診する際の困り事が「ある」を選択した方のみ回答

問 どのようなことに困っていますか。(あてはまるものすべてに○)【幼児・16～19歳・一般】

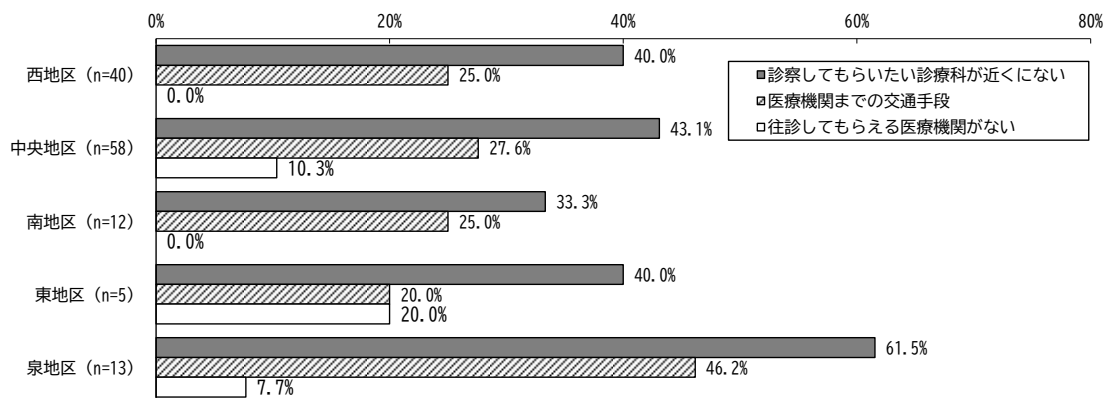
すべての調査対象で「診察に時間がかかる」の割合が最も多く、幼児が67.9%、16～19歳が55.6%、一般(20歳以上)が58.0%となっています。

また「診察してもらいたい診療科が近くにない」、「休日・夜間に受診できない」の割合が多くなっており、「診察してもらいたい診療科が近くにない」では、幼児が35.7%、16～19歳が27.8%、一般(20歳以上)が42.7%、「休日・夜間に受診できない」では、幼児が48.2%、16～19歳が44.4%、一般(20歳以上)が32.1%となっています。



【居住地区別】

一般(20歳以上)で居住地区別にみると、「泉地区」の受診の際の移動で困り事がある割合が他地区より多くなっており、「診察してもらいたい診療科が近くにない」が61.5%、「医療機関までの交通手段」が46.2%となっています。



## Ⅱ. 調査結果

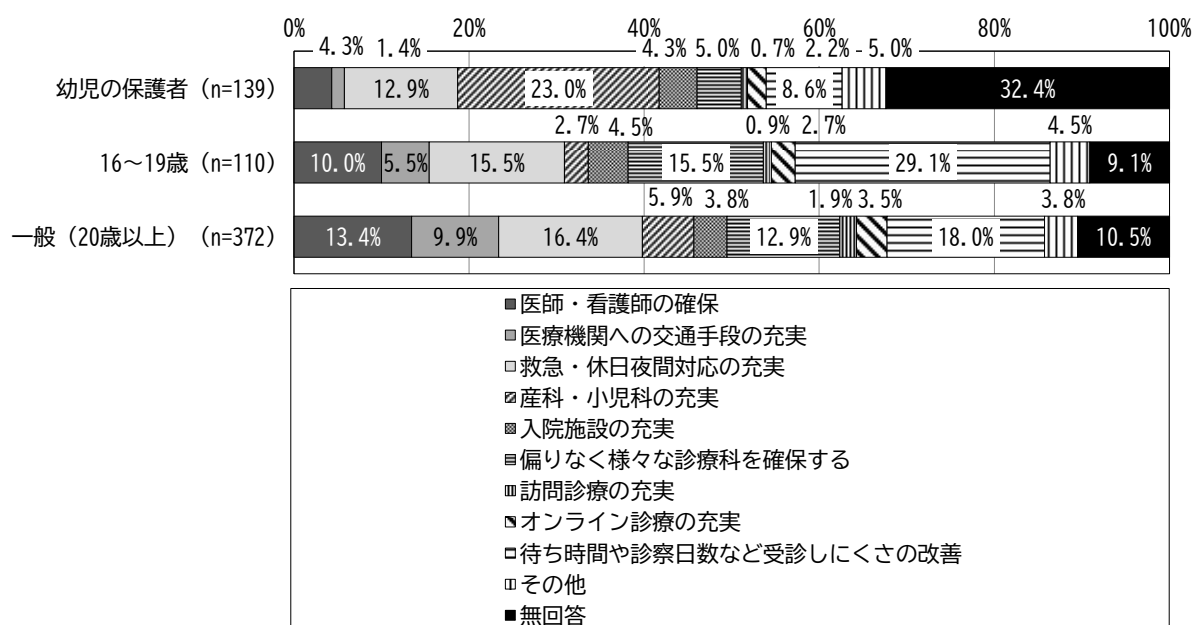
### (6) 地域医療について充実させる必要がある取組

問 杉戸町の地域医療について、今後どのような取組を充実させる必要があると思いますか。(最も必要だと思うもの1つに○)【幼児・16～19歳・一般】

幼児の保護者の杉戸町の地域医療で充実する必要がある取組については、「産科・小児科の充実」が23.0%と最も多く、次いで、「救急・休日夜間対応の充実」が12.9%、「待ち時間や診察日数など受診しにくさの改善」が8.6%となっています。

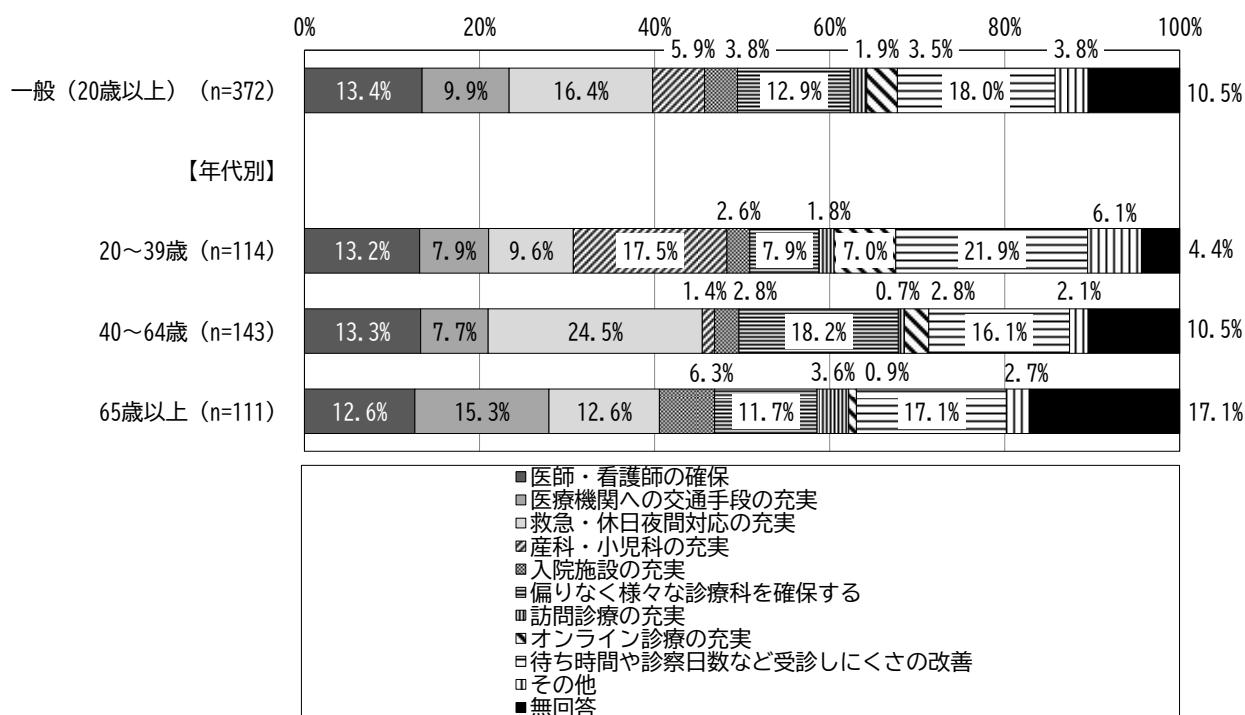
16～19歳では、「待ち時間や診察日数など受診しにくさの改善」が29.1%と最も多く、次いで、「救急・休日夜間対応の充実」、「偏りなく様々な診療科を確保する」がともに15.5%となっています。

一般(20歳以上)では、「待ち時間や診察日数など受診しにくさの改善」が18.0%と最も多く、次いで、「救急・休日夜間対応の充実」が16.4%、「医師・看護師の確保」が13.4%となっています。



【年代別】

一般（20歳以上）を年代別にみると、40～64歳では「救急・休日夜間対応の充実」の割合が24.5%と最も多く、それ以外の年代では「待ち時間や診察日数など受診しにくさの改善」の割合が最も多くなっています。



（7）埼玉県救急電話相談（#7119）の認知度

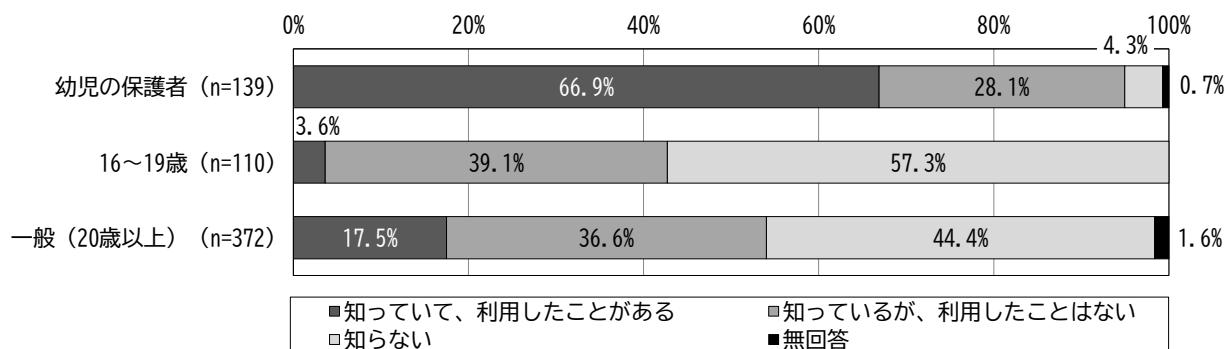
問 「埼玉県救急電話相談（#7119）」※を知っていますか。また、利用したことはありますか。（○は1つ）【幼児・16～19歳・一般】

※子どもの相談は#8000でも可

幼児の保護者の「埼玉県救急電話相談（#7119）」の認知度については、「知っていて、利用したことがある」が66.9%と最も多く、次いで、「知っているが、利用したことはない」が28.1%、「知らない」が4.3%となっています。

16～19歳では、「知らない」が57.3%と最も多く、次いで、「知っているが、利用したことはない」が39.1%、「知っていて、利用したことがある」が3.6%となっています。

一般（20歳以上）では、「知らない」が44.4%と最も多く、次いで、「知っているが、利用したことはない」が36.6%、「知っていて、利用したことがある」が17.5%となっています。



### 14. 自由記述

健康あるいは健康づくりについて、日頃考えていることや杉戸町へのご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。【幼児・一般】

#### (1) 幼児の保護者

- もう少し病院を作ってほしい。あるにはあると思うがかなり古くからの病院が多い。もう一人ほしいとなっても、近くに良い産婦人科がないのもつらい。あと、大きくてきれいな公園をもう少し作ってほしい。家ばかり建っていて、子どもが増えるのは良いが、遊ぶ場所が限られている。
- 近隣の小児科クリニックの先生（医師）は、年配の方々が多い印象で、数年で廃院しないか、気になることがある。小児科に限ったことではないと思うが、埼玉県内の医師不足は深刻なのではと感じています。
- 健康づくりとは違うかもしれませんが、土曜日保育の時間を平日と同じにしてほしい。たまにやむを得ず利用したい時に早退しなければならず不便。全ての保育園でなくても、1、2ヶ所でそういったところがあるだけでありがたい家庭も多いのではないかと思います。
- 健康づくりの事業について何をしているのかよくわからないため、広報等で周知してもらいたい。働いていると子育てサークルにも参加できない。
- 子育て支援センターのイベントの予約枠を増やしてもらいたい。利用するのがとても楽しいので、予約を取れなかっただけで、とても残念な気持ちになってしまうくらい。もし可能ならば、昨年度までの3クラス編成などにしてもらえると、予約を取りやすいのではと思う。
- 子供の入院施設がない。
- 事業の説明があまりないからわからない。このアンケートの質を考えると特に期待できない。
- 耳鼻科、眼科、小児科、産科が少ないと感じるので、増やしてほしい。そして、病児保育施設も多くあると良い。
- 小児科の休日診療が全然ない。他の町に行く事が多い。春日部、幸手、久喜、茨城。（西南）親の精神面、ストレス緩和で0歳児でも預かれる制度を作ってほしい。産院で午前中だけとかでもあると全然違うと思う。
- 小児科医の不足と、耳鼻科、眼科の連携が杉戸町内でできると良い。
- 杉戸町で子供を育てていく中で、近隣の市町村へ行かないと受診できない場合が数多くあり、産科、小児科を充実してほしいと思います。
- 杉戸町には、かかりやすい小児科はない。子どもが少ないから小児科を造るのは難しいかもしれないが、近隣の市町村にも良い小児科はない。杉戸町は子育てしたい、しやすい町ではない。春日部、幸手に頑張ってもらうのを期待するか、予算をかけてでも良い小児科を造り、子育て世代の住みやすさを充実するか。
- 町に公園が少なく不便だと感じている。最近駅前にできたが小さく、もっと近隣の市のような大型（駐車場有）公園があると子育て世代にとってはありがたい。倉松公園へよく行くが、0～3歳向けの遊具を増やしてほしい。
- 町内で活動しているスポーツ団体と連携を強めて健康づくりのきっかけを増やせたら良いと思います。
- 定期的に子どもの流行り病の情報や対策などのチラシなどを送って下さると日々の生活の参考になると思います。
- 日・祝日も1日預ってほしい。
- 病院の待ち時間削減のために、前日・当日予約枠を作る。順番がきたら知らせるシステム等、子どもが居ても受診しやすい環境をすることにより、受診しようと思える。静かすぎる待合室や、掲示物のない待合室は、子どもが待つのが大変。医師の質の向上は難しいが、施設内を整備し、キッズスペースなど子どもが居ても大丈夫と思えるような場所作りをしてほしい。兄弟が付添いでいる時は、周りのスタッフが一時的に診察時に兄弟を見てくれるなど配慮してほしい。
- 病児保育施設を増やしてほしい。利用できる、し易さを広めてほしいです。働きたくても子どもの体調不良などで働けず、精神的に負担が多い。

- 保育料の無償化。
- 保健センターの定期検診で来てくれている医師の方が、毎回ちゃんと診てくれているのかと不安になるくらい雑。聴診器をあてて子どもを診て、1分も経たないうちに終わりなんて。質問しても返答も曖昧だし、詳しく話をするのは診療後のスタッフの人。たくさん子どもがいて大変なのと、無料で診てもらうから何も言えないけど、もやもやしました。スタッフの人、皆アドバイスがバラバラで、決めつけみたいなのが多くて、あまり参考にならない。

## (2) 一般 (20 歳以上)

- 情報はネットに大量にあるので、実践する機会の提供の方が意味はあると思う。広報紙を見るが、子ども向け・平日実施のものばかりで、平日勤務の人は結局地域から外されていると感じる。
- 県の広報や町の広報は必ず目を通してあるので、これからも内容の充実をお願いします。近隣市町村の公園や行事の季節のたよりを充実して手軽に出かける場所がわかるとうれしいです。宜しくをお願いします。
- このアンケートを記入して、自分の健康（心も体も）ふりかえる良い機会となった。みんな毎年アンケートを記入するだけでも、健康づくりにつながると思った。杉戸町に求める健康づくりの希望は1つです。アグリパークだけでなく、公園をきれいにしてほしいです。子どもが思い切り遊べる環境をたくさん作っていただきたいです。以前久しぶりに倉松公園に行き、がっかりしました。カラスとネコがたくさんいてこわかったです。子どもが思い切り遊べる環境づくりをお願いしたいです。
- 予防と治療を最大限的確にできる町にしてください。
- 杉戸町に全科目のある病院があると良いと思います。今は他県に行っています。
- 杉戸町に町営の体育館やプールがないので、子どもたちが気軽に運動できる場所や教室が少ないと思います。共働きで送迎できる時間もとれないので、習い事も限られてしまう。
- 現在大きな障害もなく生活できていることに幸せを感じているが、日々小さな体操でも継続することの大切さを日々感じる立場にいる。介護状態になるにはそれなりの理由があるが全般的にダラダラと生活して来た結果なのだとつくづく思う。体が動くかぎり仕事を続け収入を得て楽しく生活したいといつも考えている。
- 心の健康づくりのために、サロンを作ってほしいです。
- 子どもの夜間受け入れがなかなか見つからなかった。私が乳がんになり母子家庭のため、先々心配事が多い。
- 病気になる前の「予防」や「初期発見」が大切です。人間ドックの補助を充実してもらえると嬉しい。(すでにあるのならば町民全員がわかるように宣伝してほしい)人間ドックも基本健診だけでなくがんや脳ドックみたいに特別なものにも補助を充実してほしい。
- 予約なしでもすぐ診察できるようにしてほしい。
- 夏休み子ども達は朝ラジオ体操やっていました。今はやっていないので子ども達と一緒に親・おじいちゃん・おばあちゃんもやっていただけると有難いです。
- まだ行動ができるので大丈夫ですが、これから先心配になってきます。
- 町に総合病院を確保していただきたい。(救急対応)
- 突然の病気やケガの時に夜間でも対応してくれる緊急病院が町内にあると良いのでは。
- 杉戸町の中に総合病院を作ってほしい。
- 近くに自転車で行ける精神科がない。薬局で、タダで利用できる健康診断(簡単な)やりたいけどない。
- 杉戸町内でも4号線から江戸川沿いに住んで30年余り、何も変わらずお年寄りばかり(私を含め)もっと近くに病院があれば皆さんバスにのって病院、買い物に行かずに住めるようにしてほしい、私もそろそろ家売って、病院の近くを探そうと思っています。
- 総合病院が杉戸にはないので受診の際少し不安になる。できれば大病院を杉戸に作ってほしい。

## II. 調査結果

- 杉戸町に住んで50年になります。年明け早くに88歳になります。がんばります。
- 杉戸には総合病院というものがなく（以前はあったが）、現在は幸手や春日部の病院を受診している。すぐに建てられるものではないが、このままだと小さなクリニックや医療機関だけでは不安である。子どもが小さい頃は保健センターの利用もあったが、年をとった今では健診の場所でしかない。その健診も他でやっているのでもっと利用できる機会があればと思います。
- 東埼玉総合病院が幸手に移転後、杉戸町に総合病院がなく、現在動物公園駅の近くに建設予定の病院が1日も早く実現することを希望しています。町内を回っているバスですが接続が悪く、帰りの便を利用するには長い時間待つことになり、行きは利用できても帰りの便に乘車することができず不便に感じます。
- 町内に出産を扱っている病院がほしい。子宮頸がん検診を白岡の病院でもできるようにしてほしい。周囲も山王クリニックに通っている人が多いのでついでに検査できると良い。
- 適度な運動を心掛けている。
- 総合病院があると生活しやすいです。
- がん検診をもっと安く簡単にできるようにしてほしいです。
- 公園や遊具など子どもから大人まで体を動かすことができる器具や施設を充実させてほしい。
- 総合病院があるといい。
- 東中跡地にウォーキングやランニングができる運動公園を作ってほしいです。
- 杉戸町には耳鼻科や小児科、皮膚科を受診できるところが非常に少なく感じます。子どもが小さい頃は小児科も限られてしまい、受診する際はどこも混み合っていて大変でした。コロナ後は、予約しないと受診できなかつたり幸手や久喜、春日部まで行かなくてはいけなかつたりと、病院の先生も高齢化が進み、先生が亡くなってしまったらこの病院に行けばいいのかと思ってしまいます。高齢化が進んでいるのもとても感じていて、高齢者ドライバーの危険な運転を見たりすると、車がないと不便な町だからなかなか免許返納しないのかとも思います。自分もこれから老いていく身であり、車を運転できなくなった時を思うととても不安ではあります。お隣の宮代町はどんどん新しい町づくりをしているのに対して、杉戸町は少し遅れを感じます。使用されていない田んぼも、もったいないとも思います。何か活用できるのではないかと？若い人たちがどんどん住みたいと思える町を、どうか作っていただきたいです。そして子どもたちが大人になってもこの町に帰って来たいと思える町になれば、とても素敵だと思います。
- かかりつけ医療の充実していただきたい。その先7専門医（病院）が理想ですが、オールマイティーなかかりつけ医療は不可能と感じます。
- 小児科が少ないため、駅の近くに必要と感じる。車を運転できない妻が子どもを連れて行かず不便に感じているため。
- 水中ウォーキングが健康増進に効果の大きいことを広く広報し、プールを復活させ、利用率を高める。
- おおよっぱで申し訳ありませんが、お年寄り（65歳以上）を対象にした運動、健康のサポートを町主催で実施してほしいです。
- 杉戸町に移住し2年目になりますが、住みやすいです。ただ、医療機関が少なくかかりつけというものはないので、その点は不便です。受診したい時に、新患を受け付けていない、午後休診が多いなどで診療体制が整っていないように感じます。慢性的な医師不足だとは思いますが、小児科も町に2院ほどなので、いつも混雑している印象です。今後はオンライン診療などの充実を期待したいです。待ち時間の短縮化や受診できる病院がない時に利用したいと思っています。
- 子育てしやすいように携帯で予約が取れて近くに待っていられる2～3人座れるソファと本や除菌アルコールが置いてあり一個ずつ隔離された場所があったり、緊急でない方はオンラインも可になったり空いてる病院の待ち時間が町役場とかからのネットですぐに見れると助かります！体調悪い人優先的タクシーや町バスがあってもいいかなと思います。杉戸町は病院が少ないので。子どもがボール遊びや宿題を気兼ねなくできる施設があるといいと思います。あるとしたら知らないなので、もっと小学校とかのアプリで見れるといいと思います！

- 杉戸町は路上喫煙について規制する条例がなく、今時駅でタバコを吸っていたり道でタバコを吸いながら歩いている人間が多く、避け様がないためその点だけ気になっている。どうにかならないものか。

---

---

杉戸町  
健康づくりと食育に関するアンケート  
調査報告書

令和8年3月

杉戸町 健康支援課  
〒345-0024 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字堤根 4745-1  
TEL : 0480-34-1188

---

---